

中小企業・小規模企業振興計画のための
アンケート調査
集計報告書

平成 30 年 10 月

久喜市中小企業・小規模企業振興会議

目次

I. 調査の目的と実施概要	1
1. 調査の概要	1
2. 報告書のみかた	1
3. 結果の概要	3
II. 事業所アンケート	6
問1 経営形態	6
問2 資本金の額	7
問3 常用従業員数	9
問4 常用従業員のうち非正規社員数	10
問5 本社所在地	11
問6 事業所所在地区	12
問7 営業年数	13
問8 主な業種	15
問9 経営者・事業主の年代	17
問10 商工会への加入状況	19
問11 商店会への加入状況	20
問12 ホームページについて	21
問13 インターネットを利用した受発注について	22
問14 主な取引先の所在地	23
問15 他社にない強み	24
問16 具体的な強み	25
問17 熟練技能者（社員）への依存度	27
問18 直近の年間売上高	28
問19 5年前の売上高との比較	30
問20 収益状況	32
問21 事業承継（後継者）について	34
問22 事業承継者について	35
問23 経営課題について	36
問24 今後の事業展開の方針	38
問25 事業活動を継続するために必要としている支援策	39
問26 健康経営について	41
問27 建物内での従業員に対する受動喫煙防止の取り組みについて	42
問28 建物内でのお客様に対する受動喫煙防止の取り組みについて	43
問29 高齢者（60歳以上）、障がい者の雇用について	44
＜自由記述＞ 今後、中小企業・小規模企業の振興を進めるにあたり、行政に期待することなど	45

Ⅲ. 消費者アンケート	50
問1 性別	50
問2 年代	50
問3 居住地区	51
問4 居住年数	52
問5 職業	53
問6 世帯人数	54
問7 家族に高齢者（65歳以上）がいるか	55
問8 家族に就学前児童がいるか	56
問9 日常の買い物でよく利用するもの	57
問10 よく利用する市内の店舗	58
問11 よく利用する市内の店舗への交通手段	62
問12 日常の買い物の利便性について	63
問13 本市商業がにぎわい、魅力あるものとなるために	64
問14 地産地消の認知度	66
問15 地産地消を進めるために	67
<自由記述> 日常の消費生活に関するご要望やご意見	68

I. 調査の目的と実施概要

1. 調査の概要

○ 調査対象：

事業所アンケート…平成 26 年経済センサス基礎調査の市内中小企業数 5,152 件中、平成 30 年 4 月 1 日時点の企業所有データによる 2,330 件

消費者アンケート…平成 30 年 4 月 1 日現在、久喜市の住民基本台帳に登録された 18 歳以上の方から男女各 1,000 人、計 2,000 人(無作為抽出)

○ 調査期間：平成 30 年 4 月 13 日 ~ 平成 30 年 5 月 31 日

○ 調査方法：郵送配付・回収

○ 配付・回収：

種別	配付数	回収数	回収率
事業所	2,330 票	717 票	30.8%
消費者	2,000 票	781 票	39.1%

2. 報告書のみかた

この調査の分析結果を読む際の留意点は以下のとおりです。

- 「調査結果」の図表は、原則として回答者の構成比(百部率)で表現しています。
- 「n」は、「Number of case」の略で、構成比算出の母数を示しています。
- 百分比による集計では、回答者数(該当質問においては該当者数)を 100%として算出し、本文および図表の数字に関しては、すべて小数点第 2 位以下を四捨五入し、小数点第 1 位までを表記します。また、複数回答の設問では、すべての比率の合計が 100%を超えることがあります。
- 設問のなかには前問に答えた人のみが答える「限定設問」があり、表中の「回答者数」が全体より少なくなる場合があります。
- 図表中の「0.0」は四捨五入の結果または回答者が皆無であることを表します。
- 母数が 100 未満の場合の百分率は、統計的誤差が大きい可能性が高いので数値の取扱いには特に注意が必要となります。
- 文中の「 」は選択肢の内容を示し、『 』は複数の選択肢を合わせた表現に用いています。

- 選択肢の語句が長い場合、本文中及び図表中では省略した表現を用いる場合があります。
- 本調査の集計における、「大企業」、「中小企業（小規模除く）」、「小規模企業」については、各事業所の回答から、中小企業法に示された以下の定義に基づき分類をしています。

【中小企業】

業種分類	中小企業基本法の定義
製造業その他	資本金の額又は出資の総額が 3 億円以下の会社又は常時使用する従業員の数が 300 人以下の会社及び個人
卸売業	資本金の額又は出資の総額が 1 億円以下の会社又は常時使用する従業員の数が 100 人以下の会社及び個人
小売業	資本金の額又は出資の総額が 5 千万円以下の会社又は常時使用する従業員の数が 50 人以下の会社及び個人
サービス業	資本金の額又は出資の総額が 5 千万円以下の会社又は常時使用する従業員の数が 100 人以下の会社及び個人

【小規模企業】

業種分類	中小企業基本法の定義
製造業その他	従業員 20 人以下
商業・サービス業	従業員 5 人以下

3. 結果の概要

(1) 事業所アンケート

■回答事業所の属性

- 回答事業所の経営形態は、「法人」が89.7%、「個人」が8.9%となっています。
- 資本金及び常用従業員数により「大企業」「中小企業（小規模除く）」「小規模企業」に分類したところ、「大企業」が81事業所（11.3%）、「中小企業（小規模除く）」が225事業所（31.4%）、「小規模事業所」が399事業所（55.6%）となっています。
- 回答事業所の主な業種は、「建設業」が23.6%で最も高く、次いで「製造業」（19.0%）、「小売業」（11.7%）と続いています。小規模企業では「建設業」が、中小企業（小規模除く）では「製造業が」、大企業では「小売業」がそれぞれ最も多くなっています。

■事業所が持つ強み

- 他社にない強みを「有している」事業所が58.7%、「特にない」事業所が37.7%となっています。規模別にみると、大企業及び中小企業（小規模除く）では7割以上の事業所で「有している」と回答していますが、小規模企業では5割弱となっています。
- 他社にない強みを有していると回答した事業所にその内容についてうかがったところ、「品質」が43.9%で最も高く、次いで「技術力」（42.3%）、「顧客等への迅速対応力」（39.0%）と続いています。小規模企業や中小企業（小規模除く）では、大企業と比べて「技術力」や「顧客等への迅速対応力」、「アフターサービスの充実」、「特注品」等で高い割合となっており、技術力に加え、きめ細かなニーズへの対応で競争力を高めている状況がうかがえます。
- 一方、「営業力」や「品揃え」、「接客サービス」、「企画・開発力」、「資金力」等では大企業の割合が高く、小規模企業の弱みとなっており、限られた人材、資源の中でそれらを補っていくための創意工夫や支援が求められています。

■売上・収支について

- 売上高について、5年前と比較して「増加した」事業所は36.3%、「減少した」事業所は34.2%となっています。規模が小さくなるほど「増加した」の割合は低くなっており、大企業では58.0%が「増加した」と回答しているのに対し、中小企業（小規模除く）では44.0%、小規模企業では28.3%となっています。
- 収支については、直近の決算で「黒字」の事業所は54.0%、「赤字」の事業所は18.3%となっています。規模別にみると、大企業及び中小企業（小規模除く）では約7割が「黒字」と回答していますが、小規模企業では約4割となっており、差がみられます。
- 業種別にみると、近年の流通形態の変化を反映してか、運輸業では、売上高が「増加した」事業所が約6割、収支が「黒字」の事業所が約7割と高い一方で、小売業では、売上高が「減少した」事業所が5割強、収支が「赤字」の事業所が3割弱となっており、厳しい状況に置かれていることがうかがえます。

■経営課題について

- 事業所が抱える経営課題について、「人材の不足」が58.0%で最も高く、次いで「売上げの低下」（29.8%）、「原価高騰」（20.1%）と続いています。
- 規模別にみると、特に大企業及び中小企業（小規模除く）で人材不足を課題として挙げる事業所の割合が7割以上と高くなっています。小規模企業では、5割の事業所が「人材の不足」と回答しているほか、大企業、中小企業（小規模除く）と比べて「後継者不足」や「資金の不足」を挙げる事業所の割合が高くなっており、事業承継及び資金面での支援が求められています。
- 一方、大企業では「消費者ニーズの多様化」を課題とする事業所が多くなっています。中小企業はその強みを活かし、消費者ニーズにきめ細かに対応した特色ある事業展開を図っていくことが競争力を高めることにつながると考えられます。

■事業承継について

- 事業承継（後継者）が「決まっている」事業所は33.6%、「検討中」の事業所が21.6%、「未定」の事業所が35.3%となっています。規模別にみても、いずれも「決定している」、「未定」がそれぞれ3~4割程度となっており、特徴的な差はみられません。
- 後継者が「決定している」と回答している小規模企業の後継者は、「親族」が約9割を占めています。
- 経営者・事業主が70歳代の事業所は、小規模企業で2割を超えており、大企業、中小企業（小規模除く）と比べて高く、高齢化がうかがえます。また、小規模企業では、1割強の事業所が「廃業予定」としており、円滑な事業承継のための支援が必要です。

■今後の事業展開

- 今後の事業展開の方針について、「拡大」が32.8%、「現状維持」が53.3%、「縮小」が4.5%、「廃業予定」が6.7%となっています。規模が小さくなるほど「拡大」の割合は低く、「現状維持」の割合が高くなっており、小規模企業では「現状維持」が約6割、「拡大」が約2割となっています。
- 業種別にみると、運輸業では「拡大」が約6割と高くなっています。一方、建設業、小売業、飲食業では約1割の事業所が「廃業予定」と回答しています。

■事業活動の継続に必要な支援策

- 事業活動の継続に必要な支援策について、「人材確保と人材育成」が58.3%で最も高く、6割近くの事業所が人材の確保・育成に対する支援策を求めています。特に規模が大きい企業ほどその割合が高くなっています。
- 小規模企業では、約5割が「人材確保と人材育成」と回答しているほか、大企業等と比べて「税負担の軽減」や「事業承継」等の割合が高くなっており、事業の持続的発展において必要な支援の充実が求められています。

(2) 消費者アンケート

■回答者の属性

- 回答者の性別は「男性」が38.0%、「女性」が60.9%となっています。
- 回答者の年代は、「60歳代」が25.2%で最も高く、次いで「70歳代」(22.3%)、「50歳代」(16.6%)と続いており、60歳代以上が全体の半数近くを占めています。
- 回答者の居住地区は、「久喜地区」が42.4%で最も高く、次いで「鷲宮地区」(25.5%)、「栗橋地区」(18.2%)、「菖蒲地区」(13.8%)と続いています。

■日常の買い物について

- 日常の買い物は、「市内の店舗」が86.7%、「市外の店舗」が11.5%となっています。
- よく利用する市内の店舗について、食料品では「スーパーマーケット」、衣料品では「ショッピングモール」、日用品では「ドラッグストア」、外食では「飲食チェーン店」の割合がそれぞれ最も高くなっています。
- 年代別にみると、食料品、外食では30歳代以下の世代で「コンビニ」の割合が高くなっています。衣料品では、40歳代以下の5割以上が「インターネット・通信販売」と回答しています。
- 日常の買い物の利便性について、「非常によい」(13.4%)と「よい」を合わせた『よい』が44.0%、「不便」(10.8%)と「非常に不便」(3.5%)を合わせた『不便』が14.3%となっており、肯定的な意見の割合が高くなっています。

■にぎわい・魅力ある商業にするために

- 本市商業がにぎわい、魅力あるものとなるための取り組みについて、「魅力ある飲食店の誘致」が39.8%で最も高く、次いで「既存商店街の活性化」、「使いやすい駐車場・駐輪場の設置」(各28.3%)と続いています。
- 年代別にみると、「魅力ある飲食店の誘致」はどの年代においても割合が高いほか、若い世代では「大型店の誘致」や「若い世代が集う店舗の誘致」、「専門店の誘致」の割合が高くなっています。一方、「既存商店街の活性化」は60歳代・70歳代で割合が高くなっていますが、30歳代以下では2割以下と低くなっています。

■地産地消について

- 地産地消について、「よく知っている」が30.9%、「少し知っている」が37.4%、「あまり知らない」が22.0%、「全く知らない」が7.2%となっています。
- 地産地消を進めるための取り組みについて、「大型店の中に地元製品の直売所を設置する」が25.1%で最も高く、次いで「地元産品をより低価格で提供する」(22.4%)、「新たに、大規模な地元産品の直売所を設置する」(17.9%)と続いています。

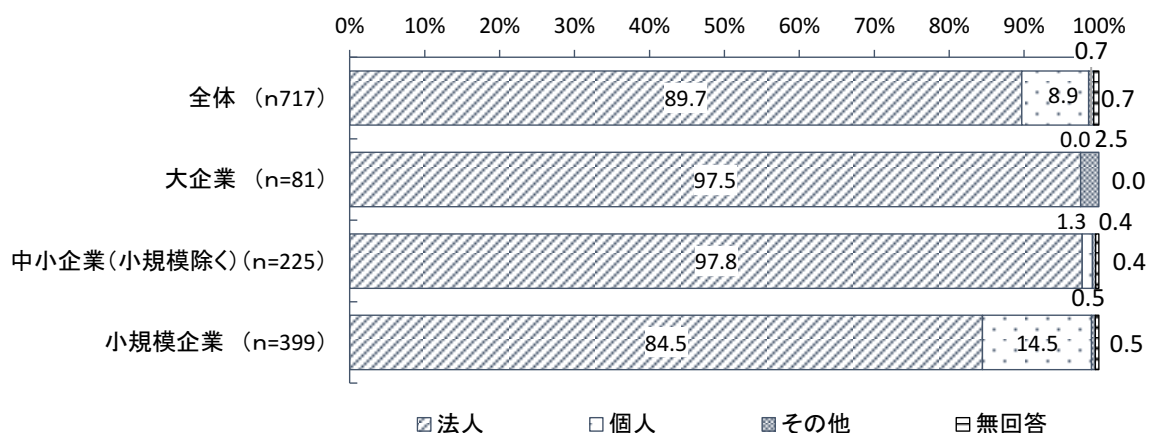
Ⅱ. 事業所アンケート

問1 経営形態について、該当する番号を回答欄にご記入ください。

事業所の経営形態について、「法人」が 89.7%、「個人」が 8.9%、「その他」が 0.7%となっています。

規模別にみると、小規模企業では、「個人」が 14.5%となっています。

業種別では、飲食業、建設業では他の業種と比べて、「個人」の割合が高くなっています。



■業種別

(単位：事業所、%)

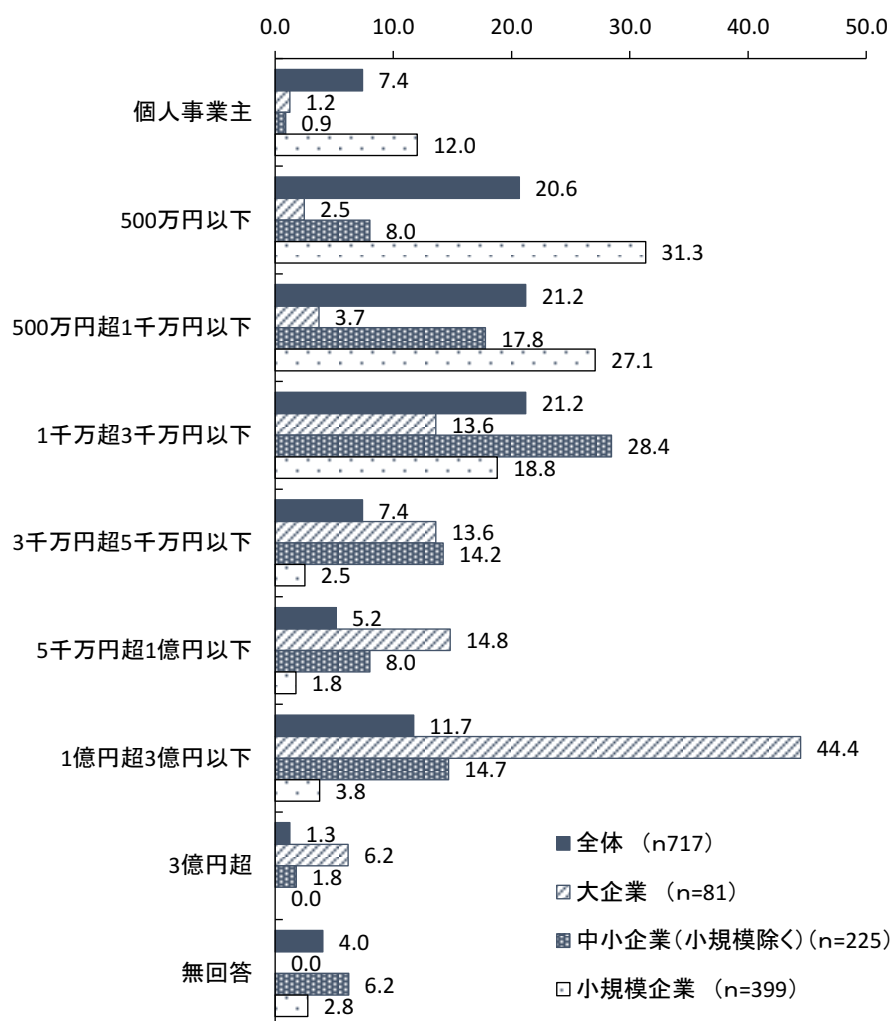
	合計 (n)	法人	個人	その他	無回答
全体	717	89.7	8.9	0.7	0.7
製造業	136	97.8	2.2	0.0	0.0
建設業	169	81.7	16.0	0.6	1.8
運輸業	42	95.2	4.8	0.0	0.0
卸売業	46	97.8	2.2	0.0	0.0
小売業	84	86.9	11.9	1.2	0.0
サービス業	80	92.5	7.5	0.0	0.0
飲食業	20	80.0	20.0	0.0	0.0
不動産業	37	91.9	8.1	0.0	0.0
医療・介護	31	93.5	3.2	3.2	0.0
農林水産業	3	100.0	0.0	0.0	0.0
その他	59	88.1	6.8	3.4	1.7
無回答	10	60.0	30.0	0.0	10.0

問2 資本金の額について、該当する番号を回答欄にご記入ください。

資本金の額について、「500 万円超 1 千万円以下」及び「1 千万超 3 千万円以下」がそれぞれ 21.2%で最も高く、次いで「500 万円以下」(20.6%)、「1 億円超 3 億円以下」(11.7%)と続いています。

規模別にみると、大企業では「1 億円超 3 億円以下」が、中小企業（小規模除く）では 1 千万円超 3 千万円以下」が、小規模企業では「500 万円以下」がそれぞれ最も高くなっています。

業種別では、不動産業で「500 万円以下」の割合が高くなっています。



■業種別

(単位：事業所、%)

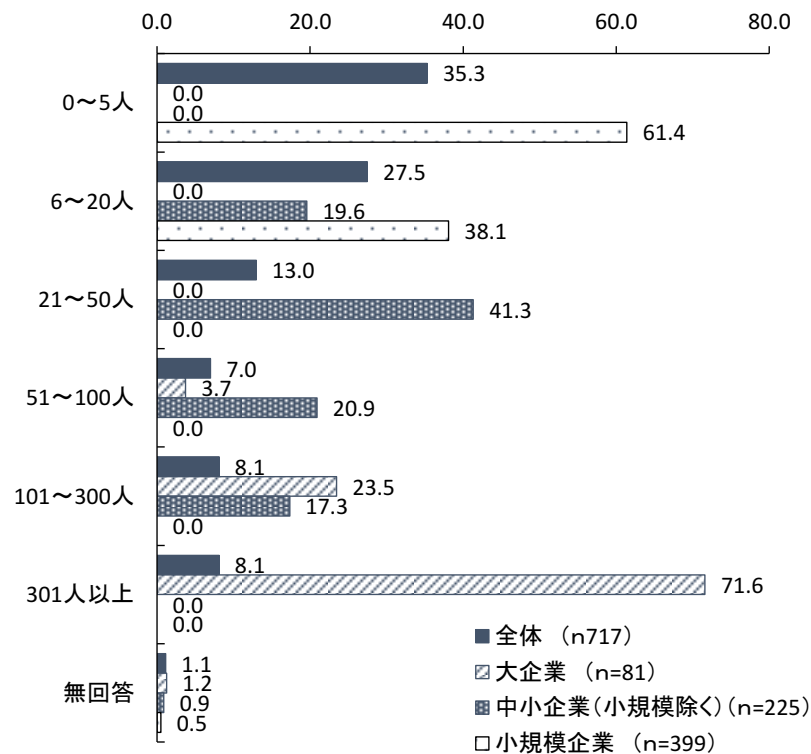
	合計 (n)	個人事業主	500万円 以下	500万円 超1千万 円以下	1千万超 3千万円 以下	3千万円 超5千万 円以下	5千万円 超1億円 以下	1億円超 3億円以 下	3億円超	無回答
全体	717	7.4	20.6	21.2	21.2	7.4	5.2	11.7	1.3	4.0
製造業	136	2.2	14.7	24.3	22.8	11.0	5.9	16.9	2.2	0.0
建設業	169	13.0	29.0	20.7	27.2	4.1	1.8	1.2	0.6	2.4
運輸業	42	0.0	19.0	14.3	26.2	9.5	11.9	16.7	2.4	0.0
卸売業	46	2.2	23.9	15.2	19.6	17.4	6.5	15.2	0.0	0.0
小売業	84	13.1	9.5	27.4	20.2	8.3	3.6	15.5	0.0	2.4
サービス業	80	5.0	15.0	27.5	16.3	5.0	6.3	20.0	1.3	3.8
飲食業	20	15.0	30.0	10.0	5.0	10.0	15.0	10.0	0.0	5.0
不動産業	37	2.7	40.5	21.6	18.9	0.0	5.4	8.1	2.7	0.0
医療・介護	31	3.2	6.5	19.4	19.4	9.7	9.7	9.7	0.0	22.6
農林水産業	3	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0
その他	59	8.5	23.7	13.6	15.3	5.1	3.4	11.9	1.7	16.9
無回答	10	20.0	30.0	10.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0

問3 常用従業員数（役員・事業主を除く。正社員・契約社員・パート・アルバイト・専従者を含む）について、該当する番号を回答欄にご記入ください。

常用従業員数について、「0～5人」が35.3%で最も高く、次いで「6～20人」(27.5%)、「21～50人」(13.0%)と続いています。

規模別にみると、大企業では約7割が「301人以上」となっています。また、小規模企業では「0～5人」が約6割、「6～20人」が約4割となっています。

業種別にみると、建設業及び不動産業では、20人以下の事業所が約9割を占めています。



■業種別

(単位：事業所、%)

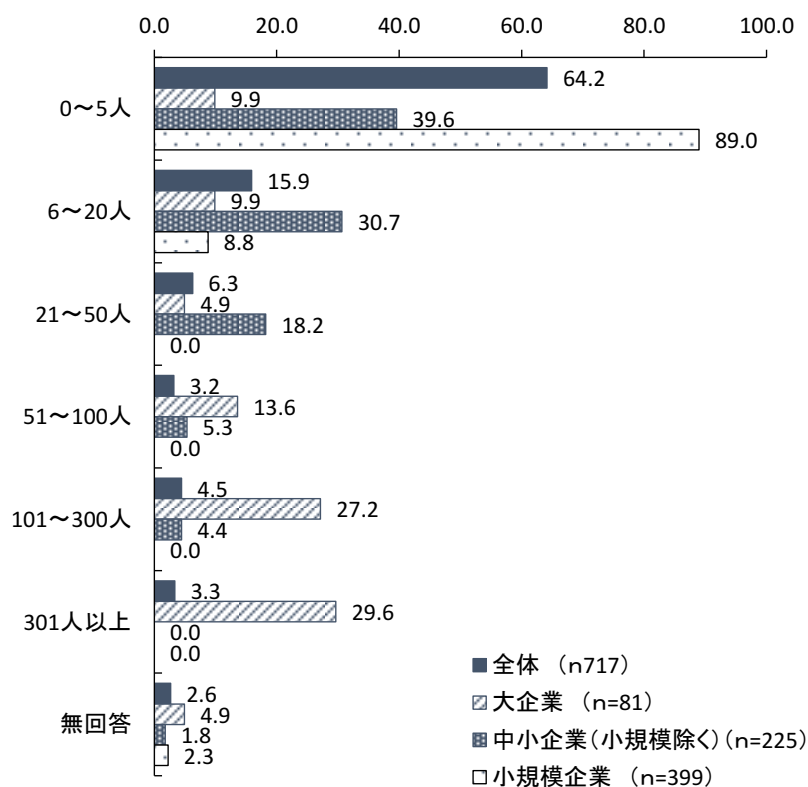
	合計 (n)	0～5人	6～20人	21～50人	51～100人	101～300人	301人以上	無回答
全体	717	35.3	27.5	13.0	7.0	8.1	8.1	1.1
製造業	136	17.6	25.0	20.6	14.0	15.4	6.6	0.7
建設業	169	56.8	34.3	4.7	1.2	1.2	1.2	0.6
運輸業	42	4.8	31.0	19.0	11.9	11.9	21.4	0.0
卸売業	46	41.3	15.2	19.6	6.5	4.3	13.0	0.0
小売業	84	35.7	22.6	9.5	3.6	13.1	13.1	2.4
サービス業	80	36.3	22.5	12.5	6.3	7.5	13.8	1.3
飲食業	20	30.0	20.0	25.0	5.0	5.0	15.0	0.0
不動産業	37	54.1	35.1	2.7	0.0	2.7	5.4	0.0
医療・介護	31	9.7	35.5	16.1	16.1	16.1	6.5	0.0
農林水産業	3	0.0	33.3	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0
その他	59	27.1	30.5	18.6	11.9	3.4	5.1	3.4
無回答	10	80.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0

問4 設問3の常用従業員のうち非正規社員数について、該当する番号を回答欄にご記入ください。

常用従業員のうち非正規社員数について、「0～5人」が64.2%で最も高く、次いで「6～20人」(15.9%)、「21～50人」(6.3%)と続いています。

規模別にみると、大企業では「301人以上」、「101～300人」がそれぞれ約3割と高くなっています。

業種別では、運輸業、小売業で『101人以上』の割合が約2割で、他の業種と比べて高くなっています。



■業種別

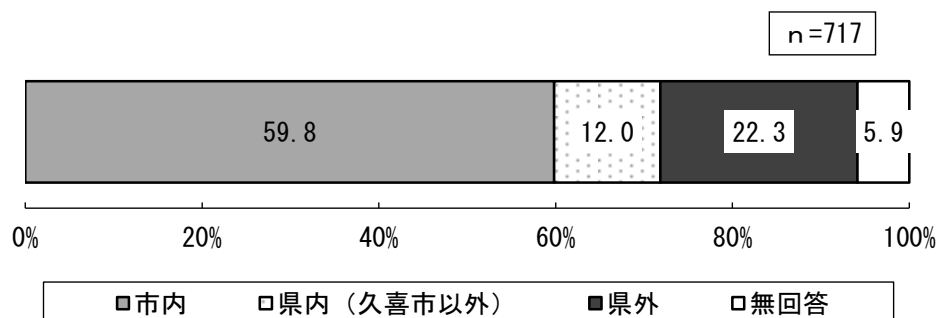
(単位：事業所、%)

	合計 (n)	0～5人	6～20人	21～50人	51～100人	101～300人	301人以上	無回答
全体	717	64.2	15.9	6.3	3.2	4.5	3.3	2.6
製造業	136	55.1	25.0	7.4	5.1	2.9	1.5	2.9
建設業	169	87.0	5.9	3.0	0.0	1.2	0.0	3.0
運輸業	42	31.0	23.8	14.3	9.5	7.1	14.3	0.0
卸売業	46	65.2	19.6	4.3	0.0	6.5	4.3	0.0
小売業	84	60.7	9.5	2.4	3.6	14.3	4.8	4.8
サービス業	80	57.5	17.5	7.5	3.8	3.8	8.8	1.3
飲食業	20	40.0	30.0	10.0	5.0	10.0	5.0	0.0
不動産業	37	86.5	8.1	2.7	0.0	0.0	0.0	2.7
医療・介護	31	45.2	16.1	29.0	3.2	3.2	3.2	0.0
農林水産業	3	33.3	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0
その他	59	59.3	22.0	3.4	6.8	1.7	1.7	5.1
無回答	10	80.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0

問5 本社所在地を回答欄にご記入ください。

本社の所在地について、「市内」が59.8%、「県内(久喜市以外)」が12.0%、「県外」が22.3%となっています。

業種別にみると、建設業、不動産業では「市内」の割合が8割以上と高く、飲食業、運輸業では「県外」の割合が高くなっています。



■業種別

(単位：事業所、%)

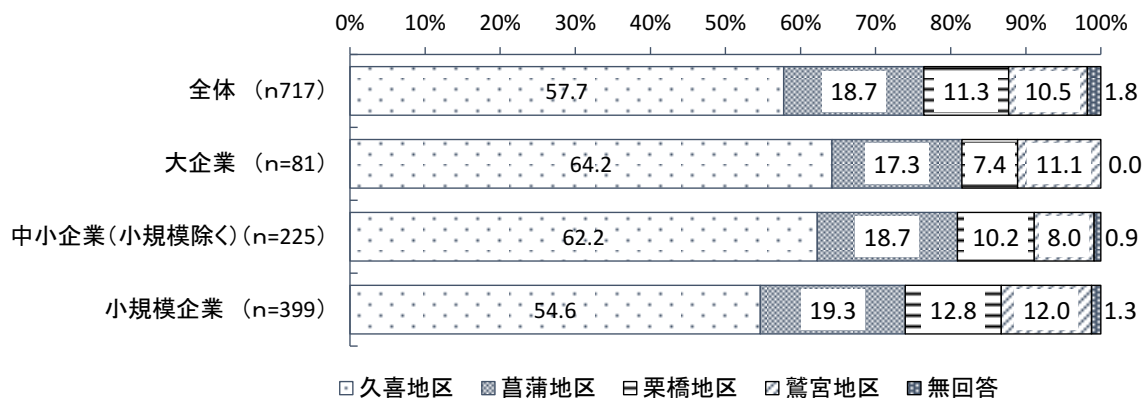
	合計 (n)	市内	県内	県外	無回答
全体	717	59.8	12.0	22.3	5.9
製造業	136	52.2	14.7	30.9	2.2
建設業	169	81.1	5.9	3.6	9.5
運輸業	42	28.6	28.6	40.5	2.4
卸売業	46	52.2	8.7	34.8	4.3
小売業	84	46.4	13.1	34.5	6.0
サービス業	80	56.3	11.3	30.0	2.5
飲食業	20	40.0	10.0	45.0	5.0
不動産業	37	81.1	2.7	10.8	5.4
医療・介護	31	67.7	16.1	12.9	3.2
農林水産業	3	33.3	66.7	0.0	0.0
その他	59	66.1	16.9	15.3	1.7

問6 事業所所在地について、該当する番号を回答欄にご記入ください。

事業所の所在地について、「久喜地区」が 57.7%で最も高く、次いで「菖蒲地区」(18.7%)、「栗橋地区」(11.3%)、「鷲宮地区」(10.5%)となっています。

規模別にみると、小規模企業では大企業、中小企業（小規模除く）に比べて「久喜地区」の割合が低くなっています。

業種別では、飲食業、不動産業で「久喜地区」が7割以上と高く、運輸業では「菖蒲地区」が約5割となっています。



■業種別

(単位：事業所、%)

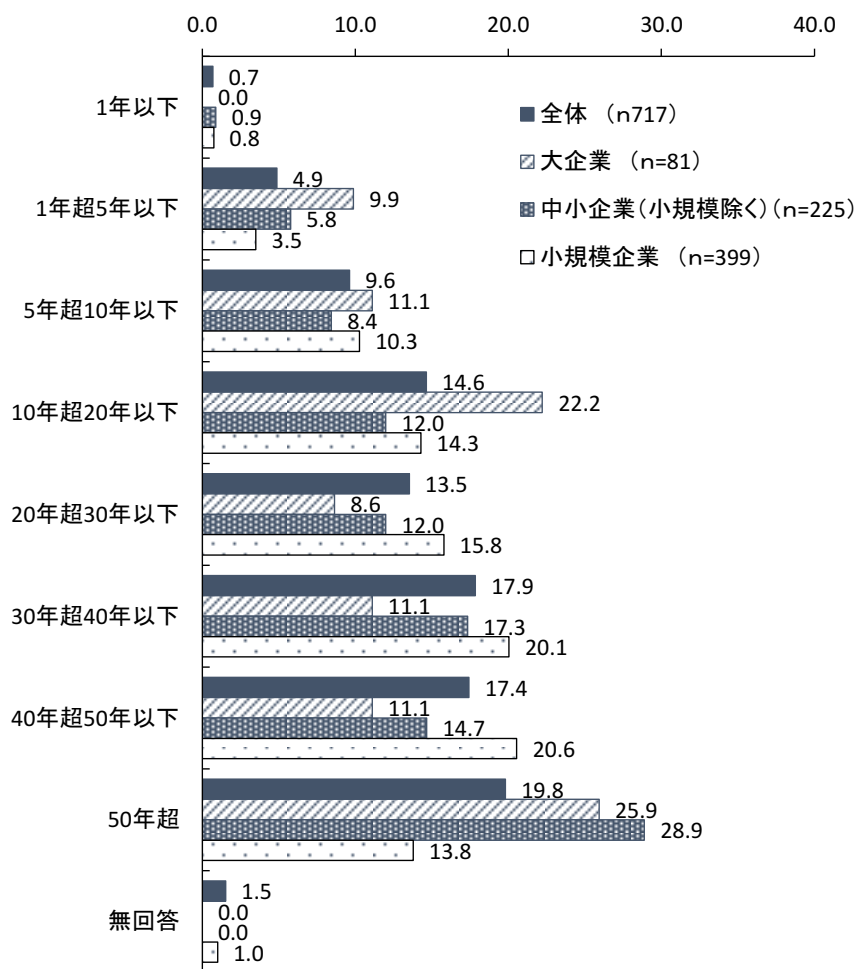
	合計 (n)	久喜地区	菖蒲地区	栗橋地区	鷲宮地区	無回答
全体	717	57.7	18.7	11.3	10.5	1.8
製造業	136	57.4	22.8	8.8	9.6	1.5
建設業	169	48.5	20.7	19.5	10.1	1.2
運輸業	42	57.1	42.9	0.0	0.0	0.0
卸売業	46	63.0	10.9	13.0	8.7	4.3
小売業	84	61.9	21.4	7.1	9.5	0.0
サービス業	80	58.8	16.3	11.3	12.5	1.3
飲食業	20	70.0	10.0	10.0	10.0	0.0
不動産業	37	70.3	8.1	8.1	13.5	0.0
医療・介護	31	58.1	12.9	9.7	19.4	0.0
農林水産業	3	0.0	33.3	33.3	33.3	0.0
その他	59	69.5	6.8	8.5	15.3	0.0
無回答	10	30.0	0.0	10.0	0.0	60.0

問7 営業年数について、該当する番号を回答欄にご記入ください。

営業年数について、「50年超」が19.8%で最も高く、次いで「30年超40年以下」(17.9%)、「40年超50年以下」(17.4%)と続いています。

規模別にみると、中小企業（小規模除く）では「50年超」が約3割と高い一方、小規模企業では「50年超」は他の企業と比べて低くなっています。

業種別では、製造業で「50年超」の割合が4割以上と高くなっています。飲食業、不動産業では『10年以下』の割合が高くなっています。



■業種別

(単位：事業所、%)

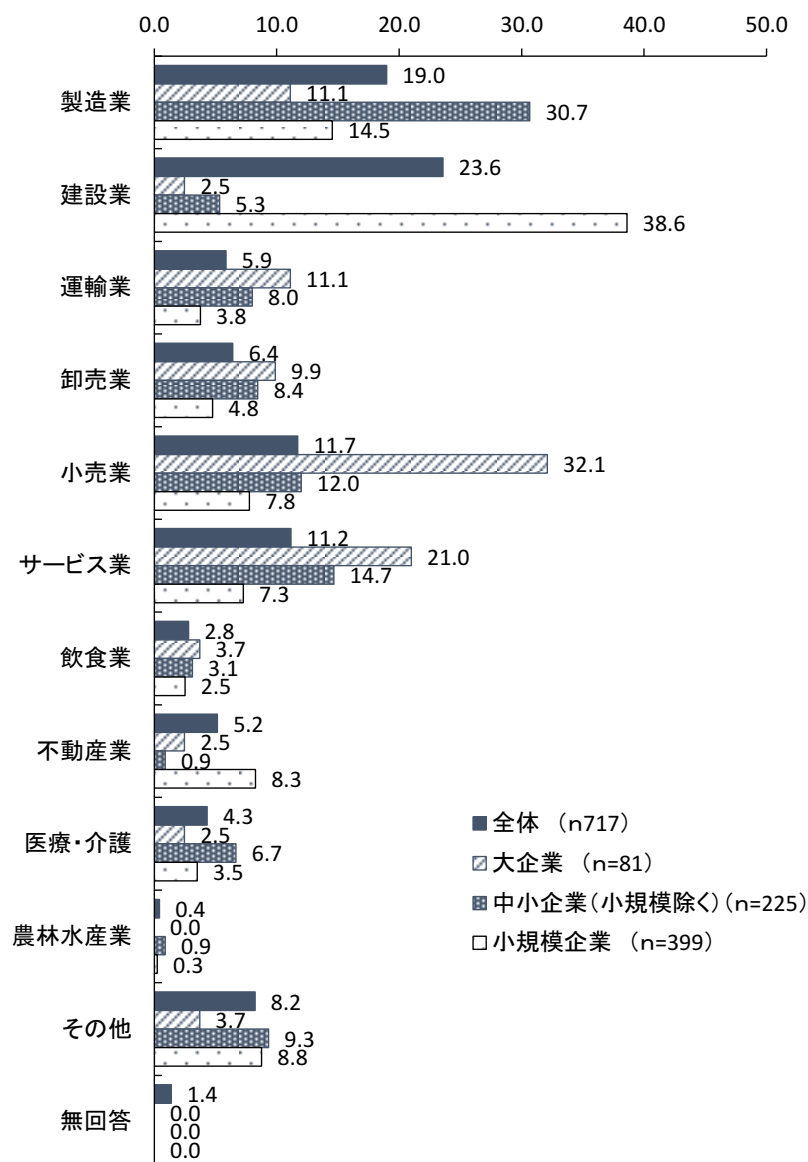
	合計 (n)	1年以下	1年超5 年以下	5年超10 年以下	10年超 20年以 下	20年超 30年以 下	30年超 40年以 下	40年超 50年以 下	50年超	無回答
全体	717	0.7	4.9	9.6	14.6	13.5	17.9	17.4	19.8	1.5
製造業	136	0.0	1.5	5.9	8.8	6.6	17.6	16.2	43.4	0.0
建設業	169	1.8	2.4	7.1	14.2	14.8	23.1	24.9	11.2	0.6
運輸業	42	0.0	7.1	9.5	14.3	23.8	14.3	16.7	14.3	0.0
卸売業	46	0.0	4.3	10.9	17.4	17.4	10.9	13.0	26.1	0.0
小売業	84	0.0	7.1	16.7	10.7	11.9	16.7	19.0	16.7	1.2
サービス業	80	1.3	7.5	11.3	21.3	13.8	15.0	20.0	8.8	1.3
飲食業	20	5.0	15.0	15.0	25.0	0.0	25.0	5.0	10.0	0.0
不動産業	37	0.0	5.4	18.9	16.2	16.2	24.3	16.2	2.7	0.0
医療・介護	31	0.0	9.7	9.7	22.6	25.8	19.4	0.0	12.9	0.0
農林水産業	3	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0	33.3	0.0
その他	59	0.0	6.8	6.8	15.3	13.6	13.6	15.3	27.1	1.7
無回答	10	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	10.0	70.0

問8 主な業種について、該当する番号を回答欄にご記入ください。

主な業種について、「建設業」が 23.6%で最も高く、次いで「製造業」(19.0%)、「小売業」(11.7%)と続いています。

規模別にみると、小規模企業では「建設業」が約 4 割を占めています。中小企業（小規模除く）では「製造業」が、大企業では「小売業」がそれぞれ最も高くなっています。

地区別では、特に栗橋地区で「建設業」の割合が高くなっています。また、菖蒲地区では他の地区に比べて「運輸業」の割合が高くなっています。



■地区別

(単位：事業所、%)

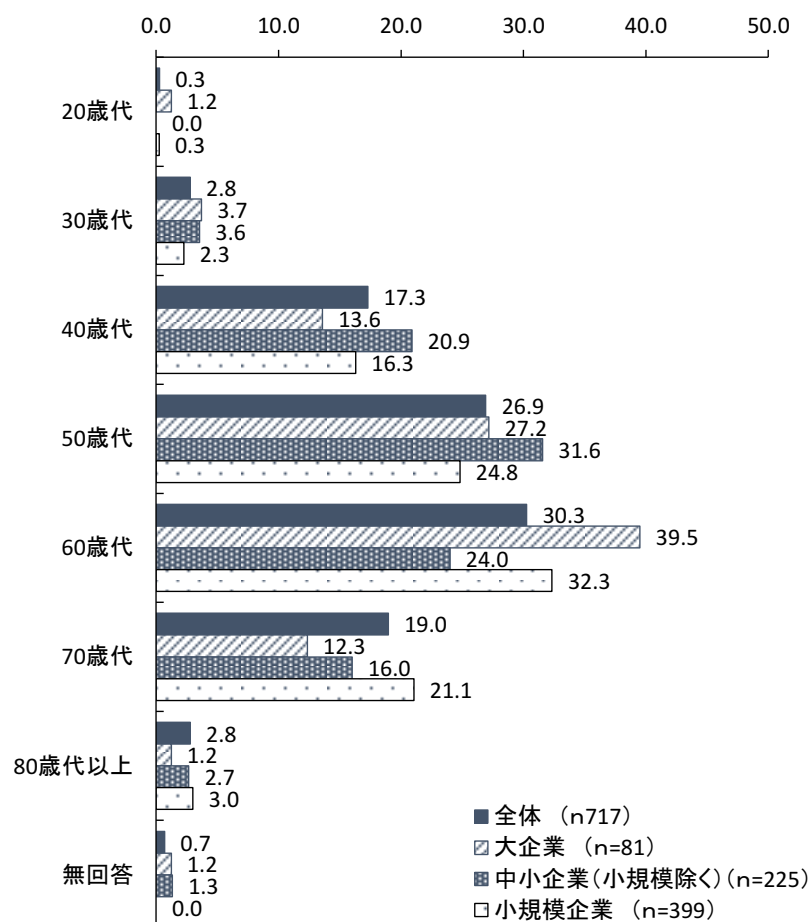
	合計 (n)	製造業	建設業	運輸業	卸売業	小売業	サービス業	飲食業	不動産業	医療・介護	農林水産業	その他	無回答
全体	717	19.0	23.6	5.9	6.4	11.7	11.2	2.8	5.2	4.3	0.4	8.2	1.4
久喜地区	414	18.8	19.8	5.8	7.0	12.6	11.4	3.4	6.3	4.3	0.0	9.9	0.7
菖蒲地区	134	23.1	26.1	13.4	3.7	13.4	9.7	1.5	2.2	3.0	0.7	3.0	0.0
栗橋地区	81	14.8	40.7	0.0	7.4	7.4	11.1	2.5	3.7	3.7	1.2	6.2	1.2
鷺宮地区	75	17.3	22.7	0.0	5.3	10.7	13.3	2.7	6.7	8.0	1.3	12.0	0.0
無回答	13	15.4	15.4	0.0	15.4	0.0	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	46.2

問9 経営者・事業主の方の年代で、該当する番号を回答欄にご記入ください。

経営者・事業主の年代について、「60 歳代」が 30.3%で最も高く、次いで「50 歳代」(26.9%)、「70 歳代」(19.0%)と続いています。

規模別にみると、中小企業（小規模除く）では「50 歳代」の割合が最も高くなっています。また、小規模企業では大企業、中小企業（小規模除く）と比べて「70 歳以上」の割合が高く、『60 歳以上』が5割以上を占めています。

業種別にみると、卸売業、不動産業では「70 歳以上」の割合が最も高くなっています。



■業種別

(単位：事業所、%)

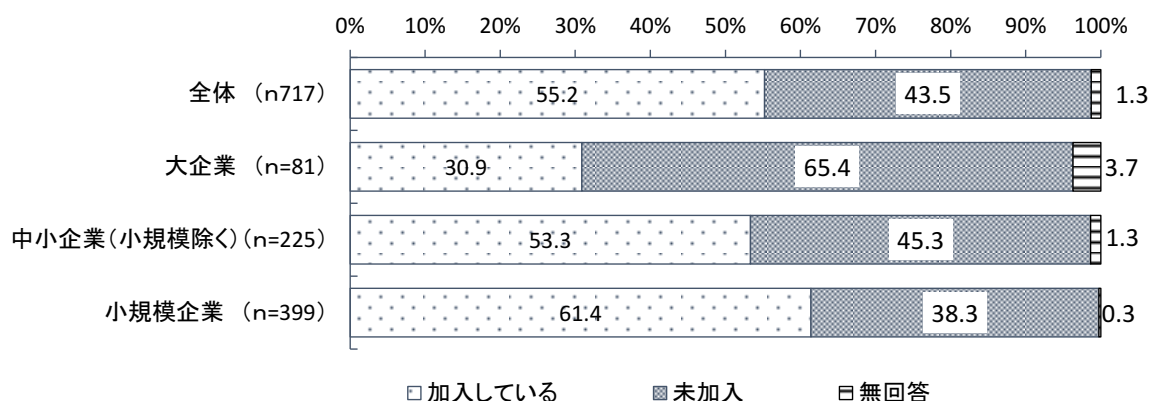
		合計 (n)	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代 以上	無回答
全体		717	0.3	2.8	17.3	26.9	30.3	19.0	2.8	0.7
営業 年数	1年以下	5	0.0	20.0	20.0	40.0	0.0	0.0	0.0	20.0
	1年超5年以下	35	2.9	11.4	28.6	31.4	20.0	5.7	0.0	0.0
	5年超10年以下	69	0.0	4.3	24.6	37.7	23.2	7.2	0.0	2.9
	10年超20年以下	105	0.0	1.9	25.7	24.8	29.5	17.1	1.0	0.0
	20年超30年以下	97	0.0	3.1	15.5	23.7	33.0	20.6	4.1	0.0
	30年超40年以下	128	0.8	0.8	15.6	21.9	40.6	18.8	1.6	0.0
	40年超50年以下	125	0.0	3.2	12.8	24.0	26.4	24.8	8.0	0.8
	50年超	142	0.0	1.4	12.0	31.0	30.3	23.2	2.1	0.0
	無回答	11	0.0	0.0	9.1	27.3	27.3	27.3	0.0	9.1
主な 業種	製造業	136	0.0	0.0	11.8	36.0	32.4	17.6	2.2	0.0
	建設業	169	0.0	3.0	18.9	27.8	31.4	14.2	4.7	0.0
	運輸業	42	0.0	2.4	23.8	31.0	21.4	21.4	0.0	0.0
	卸売業	46	0.0	0.0	15.2	19.6	30.4	32.6	2.2	0.0
	小売業	84	1.2	2.4	14.3	22.6	27.4	25.0	4.8	2.4
	サービス業	80	0.0	6.3	22.5	25.0	27.5	15.0	2.5	1.3
	飲食業	20	0.0	5.0	15.0	10.0	50.0	15.0	0.0	5.0
	不動産業	37	2.7	8.1	16.2	24.3	21.6	27.0	0.0	0.0
	医療・介護	31	0.0	6.5	16.1	29.0	38.7	9.7	0.0	0.0
	農林水産業	3	0.0	0.0	33.3	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0
	その他	59	0.0	1.7	22.0	25.4	30.5	16.9	3.4	0.0
	無回答	10	0.0	0.0	10.0	10.0	20.0	50.0	0.0	10.0

問10 商工会への加入状況について、該当する番号を回答欄にご記入ください。

商工会への加入状況について、「加入している」が55.2%、「未加入」が43.5%となっています。規模別にみると、大企業では約3割、中小企業（小規模除く）では約5割、小規模企業では約6割が「加入している」と回答しています。

営業年数別にみると、年数が長いほど「加入している」の割合が高い傾向がみられます。

業種別では、建設業、製造業で「加入している」が6割以上と高く、医療・介護、運輸業、不動産業では「未加入」のほうが高くなっています。



■ 所在地区・営業年数・業種別

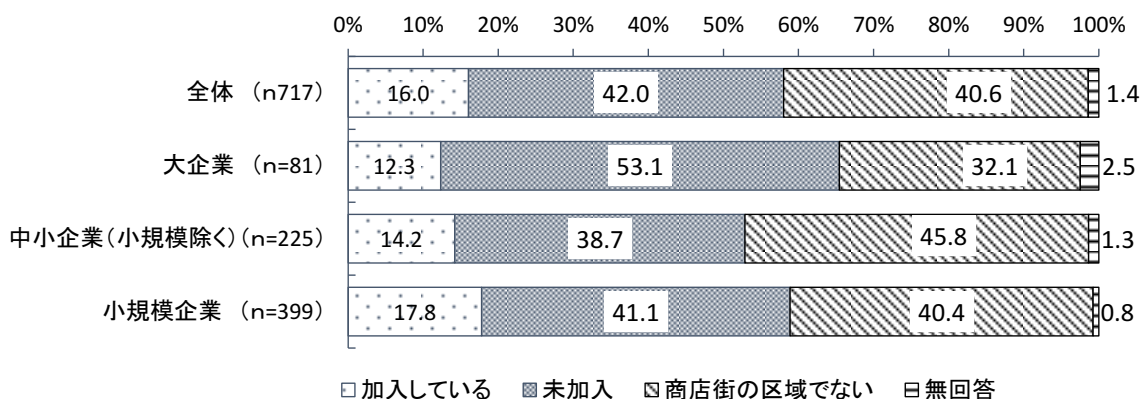
(単位：事業所、%)

		合計 (n)	加入している	未加入	無回答
全体		717	55.2	43.5	1.3
所在 地区	久喜地区	414	53.4	45.2	1.4
	菖蒲地区	134	51.5	47.8	0.7
	栗橋地区	81	64.2	35.8	0.0
	鷲宮地区	75	61.3	38.7	0.0
	無回答	13	61.5	23.1	15.4
営業 年数	1年以下	5	20.0	80.0	0.0
	1年超5年以下	35	34.3	65.7	0.0
	5年超10年以下	69	31.9	66.7	1.4
	10年超20年以下	105	43.8	52.4	3.8
	20年超30年以下	97	61.9	38.1	0.0
	30年超40年以下	128	61.7	37.5	0.8
	40年超50年以下	125	63.2	36.0	0.8
	50年超 無回答	142 11	64.1 54.5	35.2 36.4	0.7 9.1
主な 業種	製造業	136	61.8	37.5	0.7
	建設業	169	65.1	34.9	0.0
	運輸業	42	40.5	59.5	0.0
	卸売業	46	58.7	37.0	4.3
	小売業	84	53.6	44.0	2.4
	サービス業	80	56.3	41.3	2.5
	飲食業	20	50.0	50.0	0.0
	不動産業	37	43.2	56.8	0.0
	医療・介護	31	29.0	71.0	0.0
	農林水産業	3	33.3	66.7	0.0
	その他	59	45.8	54.2	0.0
	無回答	10	50.0	30.0	20.0

問11 商店会への加入状況について、該当する番号を回答欄にご記入ください。

商店会への加入状況について、「加入している」が 16.0%、「未加入」が 42.0%、「商店街の区域ではない」が 40.6%となっています。

営業年数別にみると、『1年超10年以下』では、「未加入」が5割を超えています。
業種別では、小売業で「加入している」が約3割、「未加入」が約4割となっています。



■ 所在地区・営業年数・業種別

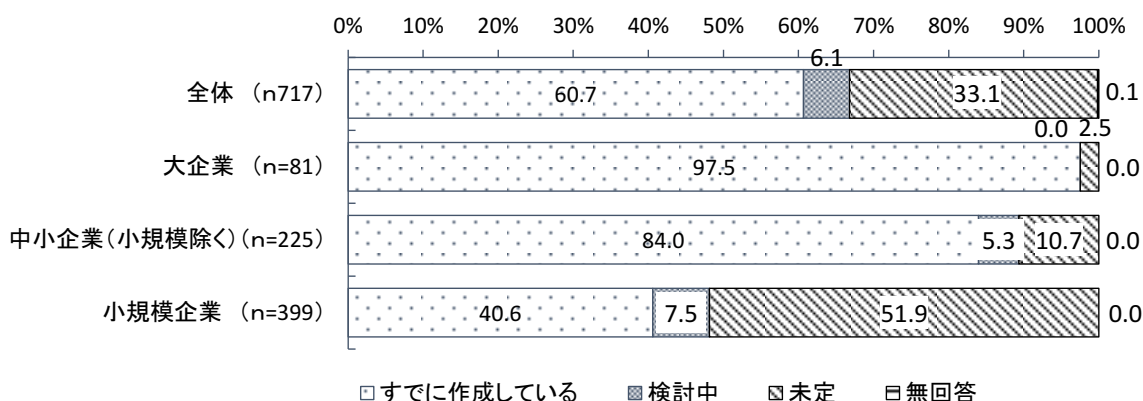
(単位：事業所、%)

		合計 (n)	加入している	未加入	商店街の区域 でない	無回答
全体		717	16.0	42.0	40.6	1.4
所在 地区	久喜地区	414	17.1	40.6	40.6	1.7
	菖蒲地区	134	17.2	46.3	35.8	0.7
	栗橋地区	81	11.1	44.4	44.4	0.0
	鷺宮地区	75	13.3	38.7	48.0	0.0
	無回答	13	15.4	46.2	23.1	15.4
	営業 年数	1年以下	5	0.0	40.0	40.0
1年超5年以下		35	17.1	54.3	28.6	0.0
5年超10年以下		69	8.7	50.7	39.1	1.4
10年超20年以下		105	9.5	44.8	42.9	2.9
20年超30年以下		97	16.5	41.2	42.3	0.0
30年超40年以下		128	14.1	46.9	37.5	1.6
40年超50年以下		125	24.8	37.6	36.8	0.8
50年超 無回答		142 11	16.9 36.4	33.1 36.4	49.3 18.2	0.7 9.1
主な 業種	製造業	136	7.4	33.8	57.4	1.5
	建設業	169	14.2	46.7	38.5	0.6
	運輸業	42	14.3	47.6	38.1	0.0
	卸売業	46	10.9	47.8	37.0	4.3
	小売業	84	29.8	38.1	29.8	2.4
	サービス業	80	20.0	40.0	38.8	1.3
	飲食業	20	25.0	50.0	25.0	0.0
	不動産業	37	27.0	48.6	24.3	0.0
	医療・介護	31	6.5	35.5	58.1	0.0
	農林水産業	3	0.0	66.7	33.3	0.0
	その他	59	16.9	40.7	42.4	0.0
	無回答	10	20.0	50.0	10.0	20.0

問12 ホームページについて、該当する番号を回答欄にご記入ください。

ホームページの作成について、「すでに作成している」が60.7%、「検討中」が6.1%、「未定」が33.1%となっています。

規模別にみると、小規模企業では5割以上が「未定」となっています。また、個人事業主、建設業で「未定」が7割以上と高くなっています。



■経営形態・資本金・業種別

(単位：事業所、%)

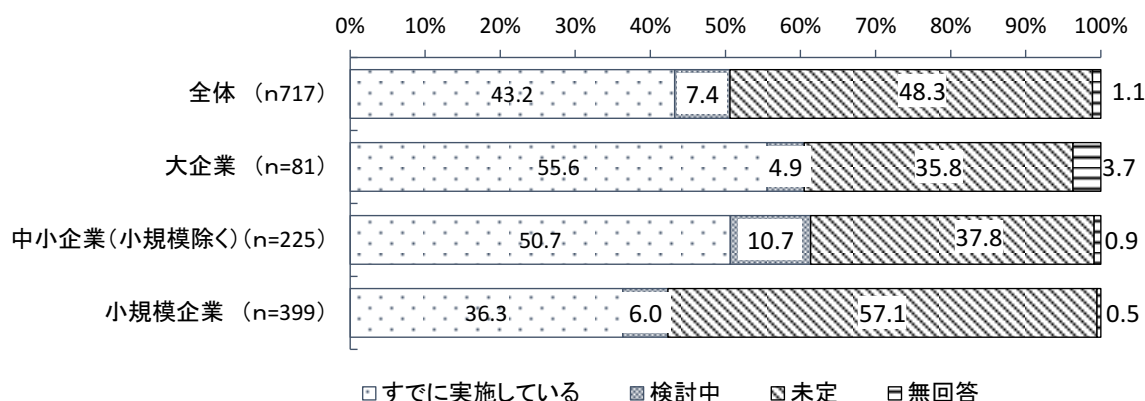
		合計 (n)	すでに作成 している	検討中	未定	無回答
経営 形態	全体	717	60.7	6.1	33.1	0.1
	法人	643	65.2	5.8	29.1	0.0
	個人	64	18.8	10.9	70.3	0.0
	その他	5	60.0	0.0	40.0	0.0
	無回答	5	20.0	0.0	60.0	20.0
資本金	個人事業主	53	17.0	9.4	73.6	0.0
	500万円以下	148	33.8	9.5	56.8	0.0
	500万円超1千万円以下	152	50.0	8.6	41.4	0.0
	1千万超3千万円以下	152	68.4	6.6	25.0	0.0
	3千万円超5千万円以下	53	90.6	1.9	7.5	0.0
	5千万円超1億円以下	37	94.6	0.0	5.4	0.0
	1億円超3億円以下	84	96.4	0.0	3.6	0.0
	3億円超	9	100.0	0.0	0.0	0.0
	無回答	29	79.3	3.4	13.8	3.4
主な 業種	製造業	136	72.8	4.4	22.8	0.0
	建設業	169	33.1	5.9	60.9	0.0
	運輸業	42	76.2	7.1	16.7	0.0
	卸売業	46	71.7	0.0	28.3	0.0
	小売業	84	65.5	7.1	27.4	0.0
	サービス業	80	68.8	6.3	25.0	0.0
	飲食業	20	65.0	10.0	25.0	0.0
	不動産業	37	56.8	5.4	37.8	0.0
	医療・介護	31	83.9	6.5	9.7	0.0
	農林水産業	3	66.7	33.3	0.0	0.0
	その他	59	66.1	8.5	25.4	0.0
	無回答	10	40.0	20.0	30.0	10.0

問13 インターネットを利用した受発注について、該当する番号を回答欄にご記入ください。

インターネットを利用した受発注について、「すでに実施している」が43.2%、「検討中」が7.4%、「未定」が48.3%となっています。

規模別にみると、大企業、中小企業では5割以上が「すでに実施している」と回答していますが、小規模企業では約6割が「未定」となっています。

業種別では、卸売業、不動産業で「すでに実施している」の割合が高く、建設業で「未定」の割合が高くなっています。



■経営形態・資本金・業種別

(単位：事業所、%)

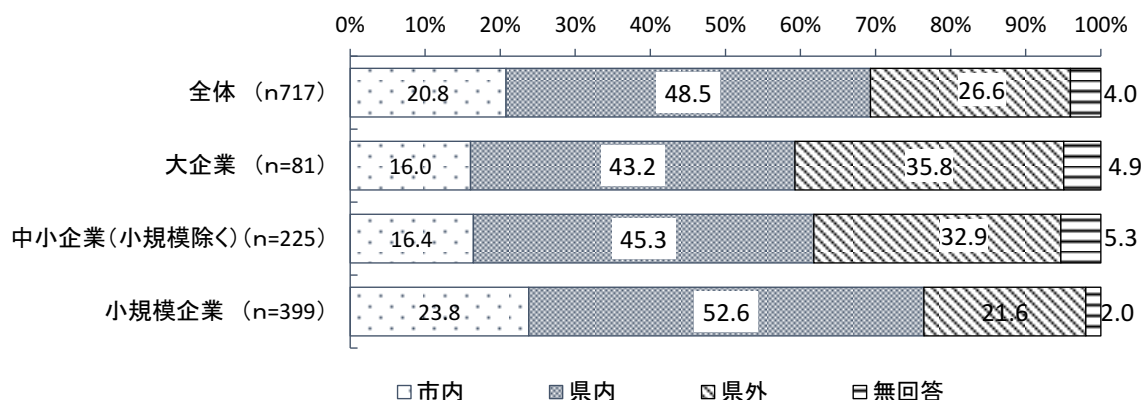
		合計 (n)	すでに実施 している	検討中	未定	無回答
全体		717	43.2	7.4	48.3	1.1
経営 形態	法人	643	45.3	7.0	46.7	1.1
	個人	64	28.1	10.9	60.9	0.0
	その他	5	20.0	20.0	60.0	0.0
	無回答	5	0.0	0.0	80.0	20.0
資本金	個人事業主	53	20.8	11.3	67.9	0.0
	500万円以下	148	33.8	5.4	60.8	0.0
	500万円超1千万円以下	152	36.2	9.2	53.9	0.7
	1千万超3千万円以下	152	57.2	5.3	36.8	0.7
	3千万円超5千万円以下	53	43.4	13.2	41.5	1.9
	5千万円超1億円以下	37	62.2	5.4	32.4	0.0
	1億円超3億円以下	84	52.4	6.0	39.3	2.4
	3億円超	9	66.7	11.1	22.2	0.0
	無回答	29	37.9	6.9	44.8	10.3
主な 業種	製造業	136	47.1	6.6	46.3	0.0
	建設業	169	32.5	6.5	60.9	0.0
	運輸業	42	52.4	7.1	40.5	0.0
	卸売業	46	58.7	6.5	32.6	2.2
	小売業	84	47.6	11.9	36.9	3.6
	サービス業	80	37.5	8.8	52.5	1.3
	飲食業	20	45.0	5.0	50.0	0.0
	不動産業	37	56.8	2.7	40.5	0.0
	医療・介護	31	38.7	6.5	54.8	0.0
	農林水産業	3	66.7	0.0	33.3	0.0
	その他	59	39.0	8.5	49.2	3.4
	無回答	10	50.0	10.0	30.0	10.0

問14 主な取引先の所在地について、該当する番号を回答欄にご記入ください。

主な取引先の所在地について、「市内」が 20.8%、「県内」が 48.5%、「県外」が 26.6%となっています。

規模別にみると、小規模企業では、大企業、中小企業（小規模除く）に比べて「市内」、「県内」の割合が高く、「県外」の割合が低くなっています。

業種別では、医療・介護、不動産業で「市内」の割合が高くなっています。また、建設業は「県内」の割合が高く、製造業では「県外」の割合が高くなっています。



■ 経営形態・業種別

(単位：事業所、%)

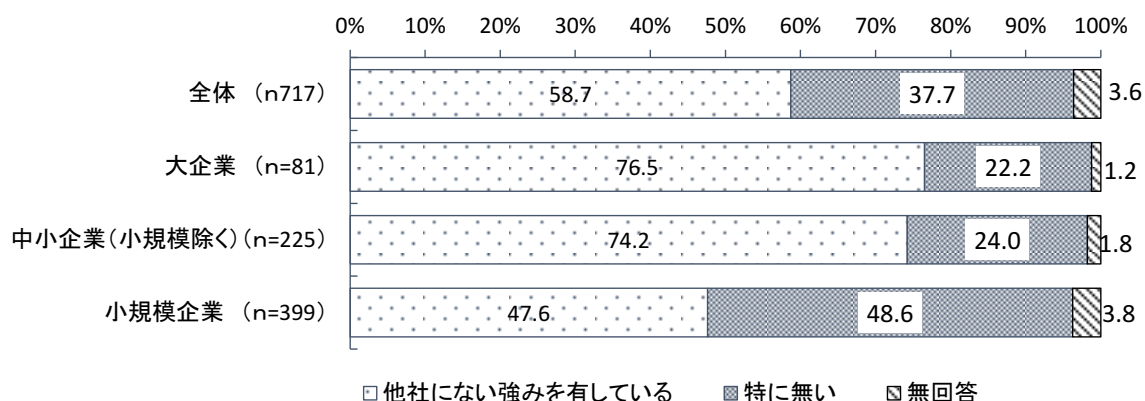
		合計 (n)	市内	県内	県外	無回答
経営形態	全体	717	20.8	48.5	26.6	4.0
	法人	643	18.5	49.5	28.6	3.4
	個人	64	42.2	39.1	10.9	7.8
	その他	5	20.0	80.0	0.0	0.0
	無回答	5	40.0	20.0	0.0	40.0
主な業種	製造業	136	5.9	31.6	60.3	2.2
	建設業	169	16.0	69.2	11.8	3.0
	運輸業	42	21.4	50.0	26.2	2.4
	卸売業	46	13.0	47.8	37.0	2.2
	小売業	84	25.0	42.9	29.8	2.4
	サービス業	80	28.8	46.3	22.5	2.5
	飲食業	20	25.0	40.0	15.0	20.0
	不動産業	37	43.2	48.6	8.1	0.0
	医療・介護	31	54.8	38.7	0.0	6.5
	農林水産業	3	0.0	66.7	0.0	33.3
	その他	59	25.4	52.5	16.9	5.1
	無回答	10	20.0	10.0	20.0	50.0

問15 他社にない強みについて、該当する番号を回答欄にご記入ください。

他社にない強みの有無について、「他社にない強みを有している」が 58.7%、「特に無い」が 37.7%となっています。

規模別にみると、大企業、中小企業（小規模除く）では「他社にない強みを有している」が7割以上となっていますが、小規模企業では5割以下となっています。

業種別では、建設業で「有している」の割合が高く、不動産業で「特に無い」の割合が高くなっています。



■経営形態・資本金・業種別

(単位：事業所、%)

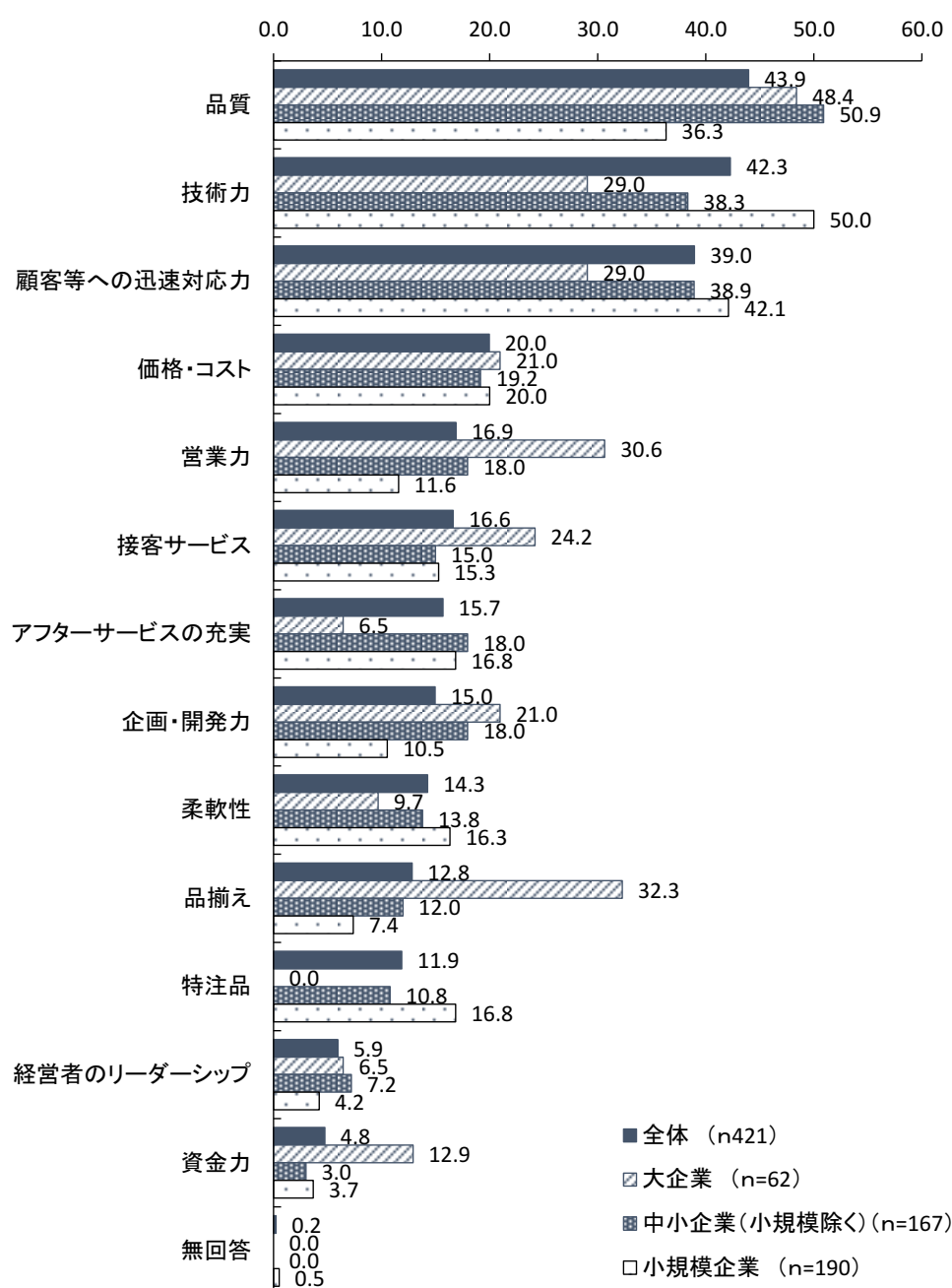
		合計 (n)	他社にない 強みを有し ている	特に無い	無回答
経営 形態	全体	717	58.7	37.7	3.6
	法人	643	61.7	35.0	3.3
	個人	64	32.8	62.5	4.7
	その他	5	40.0	60.0	0.0
	無回答	5	20.0	40.0	40.0
資本 金	個人事業主	53	34.0	58.5	7.5
	500万円以下	148	48.0	48.0	4.1
	500万円超1千万円以下	152	55.3	41.4	3.3
	1千万超3千万円以下	152	62.5	35.5	2.0
	3千万円超5千万円以下	53	69.8	30.2	0.0
	5千万円超1億円以下	37	81.1	18.9	0.0
	1億円超3億円以下	84	81.0	16.7	2.4
	3億円超	9	88.9	11.1	0.0
	無回答	29	34.5	44.8	20.7
主な 業種	製造業	136	77.2	20.6	2.2
	建設業	169	46.2	50.9	3.0
	運輸業	42	57.1	35.7	7.1
	卸売業	46	73.9	26.1	0.0
	小売業	84	63.1	35.7	1.2
	サービス業	80	67.5	31.3	1.3
	飲食業	20	65.0	25.0	10.0
	不動産業	37	35.1	64.9	0.0
	医療・介護	31	41.9	54.8	3.2
	農林水産業	3	66.7	33.3	0.0
	その他	59	52.5	40.7	6.8
	無回答	10	10.0	30.0	60.0

問16 設問 15 の強みについて、「1. 他社にない強みを有している」と回答した方のみ該当する番号を最大3つまで回答欄にご記入ください。

他社にない強みを有していると回答した企業に、その内容をうかがったところ、「品質」が43.9%で最も高く、次いで「技術力」(42.3%)、「顧客等への迅速対応力」(39.0%)と続いています。

規模別にみると、中小企業では、大企業に比べて、「技術力」や「顧客等への迅速対応力」、「特注品」、「柔軟性」等で高い割合となっています。一方、大企業では中小企業に比べて「品揃え」や「営業力」、「接客サービス」、「資金力」等で高い割合となっています。

業種別では、飲食業、製造業で「品質」、不動産業、運輸業で「顧客等への迅速対応力」、医療・介護、飲食業で「接客サービス」の割合が高くなっています。



■業種別

(単位：事業所、%)

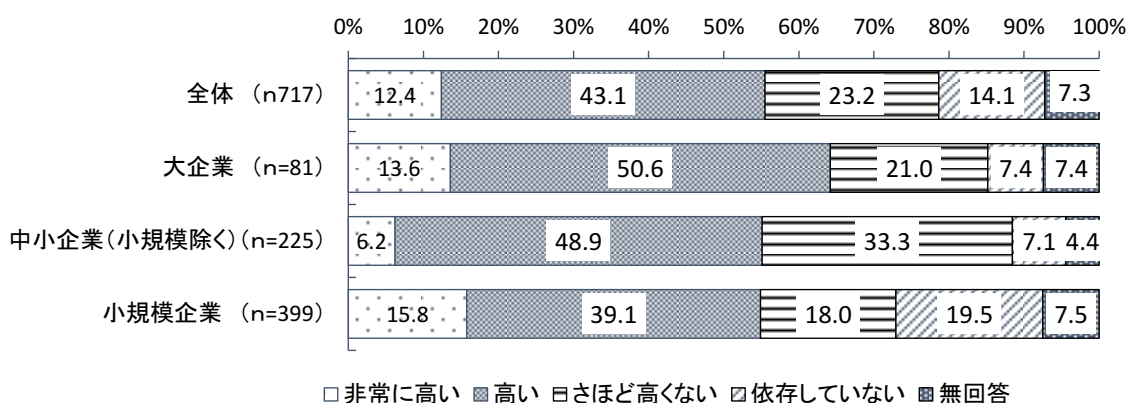
		合計 (n)	品質	価格・ コスト	特注品	技術力	企画・ 開発力	顧客等 への迅速 対応力	営業力
全体		421	43.9	20.0	11.9	42.3	15.0	39.0	16.9
主な 業種	製造業	105	65.7	15.2	29.5	59.0	21.0	32.4	10.5
	建設業	78	34.6	25.6	5.1	75.6	11.5	37.2	6.4
	運輸業	24	50.0	16.7	4.2	25.0	12.5	58.3	20.8
	卸売業	34	41.2	20.6	20.6	8.8	11.8	50.0	32.4
	小売業	53	45.3	22.6	1.9	13.2	15.1	34.0	18.9
	サービス業	54	31.5	27.8	5.6	31.5	14.8	38.9	25.9
	飲食業	13	69.2	30.8	0.0	7.7	0.0	15.4	7.7
	不動産業	13	15.4	7.7	0.0	15.4	30.8	61.5	38.5
	医療・介護	13	7.7	15.4	0.0	38.5	0.0	53.8	7.7
	農林水産業	2	100.0	0.0	0.0	50.0	50.0	50.0	50.0
	その他	31	25.8	9.7	9.7	45.2	12.9	38.7	22.6
	無回答	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0
		合計 (n)	柔軟性	アフター サービスの 充実	資金力	経営者の リーダー シップ	品揃え	接客サ ービス	無回 答
全体		421	14.3	15.7	4.8	5.9	12.8	16.6	0.2
主な 業種	製造業	105	10.5	7.6	1.0	2.9	11.4	1.0	0.0
	建設業	78	12.8	26.9	2.6	3.8	2.6	5.1	1.3
	運輸業	24	33.3	4.2	12.5	16.7	4.2	8.3	0.0
	卸売業	34	11.8	11.8	14.7	0.0	17.6	5.9	0.0
	小売業	53	7.5	24.5	7.5	5.7	39.6	32.1	0.0
	サービス業	54	20.4	14.8	0.0	9.3	9.3	31.5	0.0
	飲食業	13	0.0	0.0	0.0	0.0	23.1	61.5	0.0
	不動産業	13	15.4	23.1	23.1	0.0	7.7	30.8	0.0
	医療・介護	13	30.8	7.7	0.0	15.4	0.0	69.2	0.0
	農林水産業	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	31	19.4	22.6	6.5	12.9	9.7	19.4	0.0
	無回答	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0

問17 熟練技能者（社員）への依存度について、該当する番号を回答欄にご記入ください。

熟練技能者（社員）への依存度について、「非常に高い」が 12.4%、「高い」が 43.1%、「さほど高くない」が 23.2%、「依存していない」が 14.1%となっています。

規模別にみると、大企業では「非常に高い」と「高い」を合わせた『高い』が6割以上と高く、小規模企業では大企業や中小企業（小規模除く）に比べて「依存していない」の割合が高くなっています。

業種別では、製造業、建設業、医療・介護で『高い』の割合が6割以上と高くなっています。



■ 従業員・業種別

(単位：事業所、%)

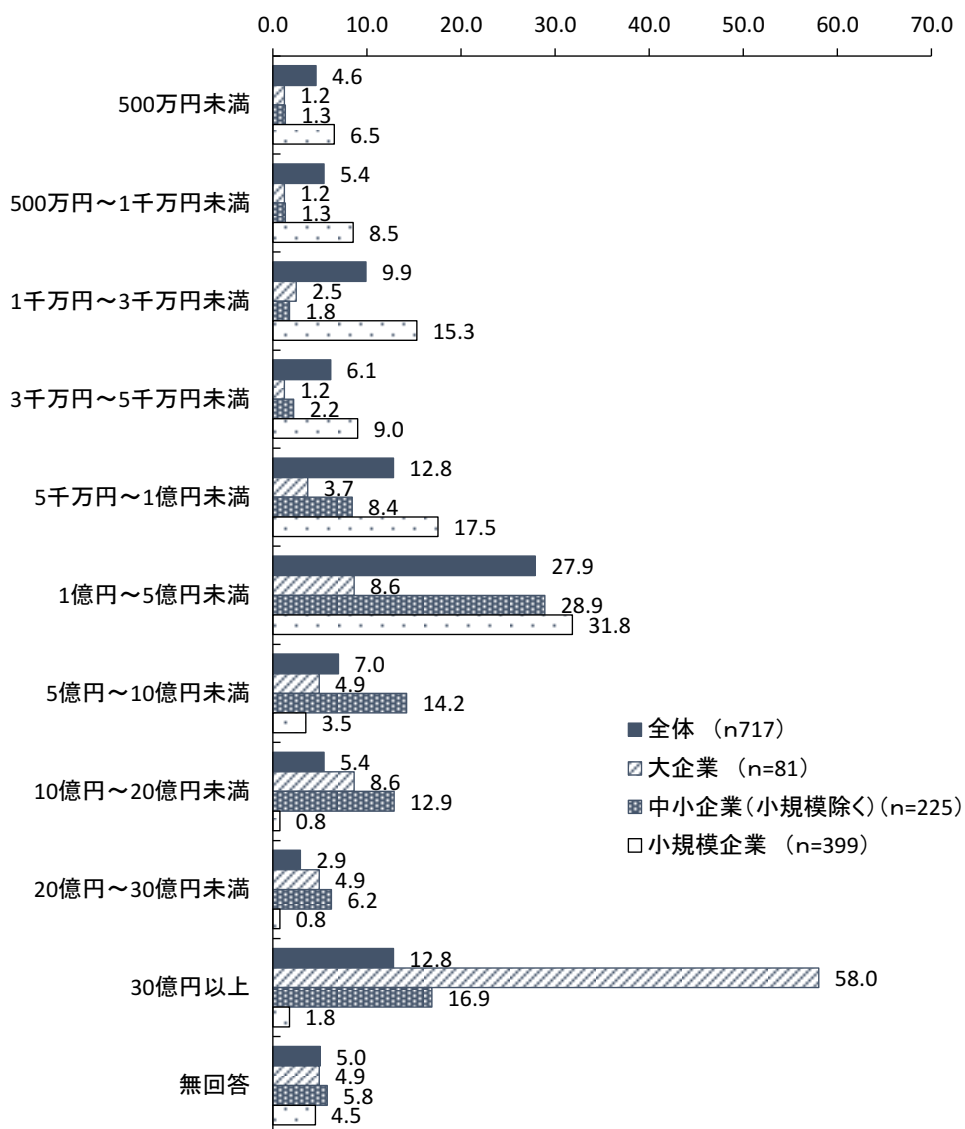
		合計 (n)	非常に高い	高い	さほど高くない	依存していない	無回答
全体		717	12.4	43.1	23.2	14.1	7.3
常用従業員数	0～5人	253	14.6	30.8	18.2	26.9	9.5
	6～20人	197	16.2	46.7	19.3	10.7	7.1
	21～50人	93	7.5	55.9	29.0	2.2	5.4
	51～100人	50	4.0	40.0	50.0	6.0	0.0
	101～300人	58	5.2	53.4	32.8	3.4	5.2
	301人以上	58	13.8	55.2	13.8	8.6	8.6
	無回答	8	0.0	50.0	37.5	0.0	12.5
主な業種	製造業	136	13.2	52.2	24.3	7.4	2.9
	建設業	169	14.2	48.5	17.8	13.6	5.9
	運輸業	42	4.8	52.4	26.2	9.5	7.1
	卸売業	46	4.3	37.0	34.8	21.7	2.2
	小売業	84	17.9	34.5	19.0	20.2	8.3
	サービス業	80	12.5	37.5	31.3	11.3	7.5
	飲食業	20	10.0	40.0	35.0	5.0	10.0
	不動産業	37	13.5	13.5	24.3	35.1	13.5
	医療・介護	31	9.7	54.8	22.6	9.7	3.2
	農林水産業	3	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0
	その他	59	10.2	42.4	18.6	16.9	11.9
	無回答	10	10.0	10.0	10.0	10.0	60.0

問18 直近の年間売上高について、該当する番号を回答欄にご記入ください。

直近の年間売上高について、「1億円～5億円未満」が27.9%で最も高く、次いで「5千万円～1億円未満」、「30億円以上」(各12.8%)と続いています。

規模別にみると、大企業では約6割が「30億円以上」となっています。

業種別では、すべての業種で、「1億円～5億円未満」の割合が最も高くなっています。



■資本金・業種別

(単位：事業所、%)

		合計 (n)	満5 00 万円未 満	15 千0 万0 円未 満	1千 万0 円未 満	3千 万0 円未 満	5億 円未 満	1億 円未 満	5億 円未 満	20 億 円未 満	30 億 円未 満	30 億 円未 満	無回 答
	全体	717	4.6	5.4	9.9	6.1	12.8	27.9	7.0	5.4	2.9	12.8	5.0
資本 金	個人事業主	53	22.6	28.3	24.5	3.8	7.5	3.8	0.0	0.0	0.0	0.0	9.4
	500万円以下	148	8.1	7.4	19.6	15.5	18.2	25.7	2.7	0.0	0.0	0.0	2.7
	500万円超1千万円以下	152	1.3	3.9	11.2	9.2	21.7	38.8	5.9	3.3	1.3	1.3	2.0
	1千万超3千万円以下	152	0.7	4.6	3.3	2.0	9.9	46.1	12.5	7.2	5.9	6.6	1.3
	3千万円超5千万円以下	53	1.9	0.0	3.8	1.9	7.5	11.3	15.1	18.9	7.5	30.2	1.9
	5千万円超1億円以下	37	0.0	0.0	5.4	2.7	8.1	18.9	0.0	13.5	8.1	40.5	2.7
	1億円超3億円以下	84	2.4	0.0	1.2	0.0	3.6	13.1	10.7	8.3	3.6	50.0	7.1
	3億円超	9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0	66.7	22.2
	無回答	29	10.3	0.0	6.9	0.0	10.3	24.1	3.4	0.0	0.0	3.4	41.4
	主な 業種	製造業	136	2.2	1.5	4.4	3.7	7.4	28.7	13.2	8.8	5.9	22.8
建設業		169	5.3	8.3	12.4	9.5	20.1	29.6	5.3	1.2	0.0	3.6	4.7
運輸業		42	2.4	2.4	2.4	7.1	7.1	35.7	4.8	7.1	7.1	23.8	0.0
卸売業		46	2.2	0.0	4.3	4.3	10.9	30.4	2.2	8.7	4.3	28.3	4.3
小売業		84	6.0	8.3	9.5	7.1	14.3	21.4	4.8	9.5	4.8	10.7	3.6
サービス業		80	2.5	6.3	13.8	2.5	15.0	23.8	7.5	6.3	1.3	17.5	3.8
飲食業		20	5.0	5.0	20.0	10.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	5.0	5.0
不動産業		37	8.1	5.4	21.6	8.1	10.8	27.0	2.7	2.7	2.7	5.4	5.4
医療・介護		31	9.7	6.5	6.5	0.0	6.5	45.2	9.7	3.2	3.2	3.2	6.5
農林水産業		3	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3
その他		59	5.1	6.8	8.5	5.1	6.8	23.7	10.2	5.1	1.7	8.5	18.6
無回答		10	20.0	10.0	30.0	20.0	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0

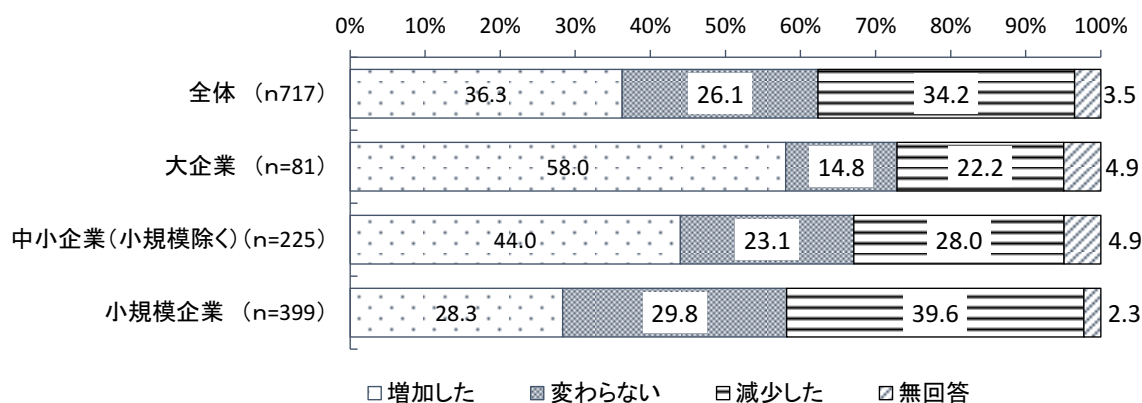
問19 5年前の売上高と比較して、該当する番号を回答欄にご記入ください。

5年前の売上高との比較について、「増加した」が36.3%、「変わらない」が26.1%、「減少した」が34.2%となっています。

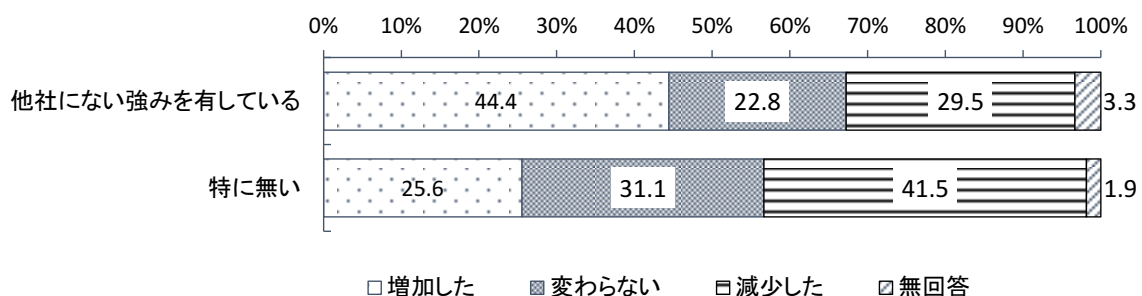
規模別にみると、規模が小さいほど「増加した」の割合が低く、「減少した」の割合が高くなっており、大企業では「増加した」が約6割と高いのに対し、小規模企業では「減少した」が「増加した」を上回っています。

他社にない強みの有無別にみると、強みを有している企業では「増加した」が4割以上で、「減少した」を上回り、特に無い企業では「減少した」が約4割で、「増加した」を上回っています。

業種別にみると、運輸業では「増加した」が約6割と高く、小売業では「減少した」が5割以上と高くなっています。



■強みの有無別 (問 15)



■従業員・業種別

(単位：事業所、%)

		合計 (n)	増加した	変わらない	減少した	無回答
常用 従業員数	全体	717	36.3	26.1	34.2	3.5
	0～5人	253	17.0	31.2	49.4	2.4
	6～20人	197	44.2	25.9	26.9	3.0
	21～50人	93	44.1	26.9	23.7	5.4
	51～100人	50	46.0	26.0	24.0	4.0
	101～300人	58	46.6	19.0	31.0	3.4
	301人以上	58	65.5	10.3	19.0	5.2
	無回答	8	12.5	25.0	50.0	12.5
主な 業種	製造業	136	44.1	24.3	31.6	0.0
	建設業	169	30.8	35.5	31.4	2.4
	運輸業	42	57.1	16.7	23.8	2.4
	卸売業	46	39.1	17.4	39.1	4.3
	小売業	84	23.8	22.6	51.2	2.4
	サービス業	80	41.3	17.5	37.5	3.8
	飲食業	20	35.0	15.0	40.0	10.0
	不動産業	37	40.5	32.4	24.3	2.7
	医療・介護	31	38.7	32.3	25.8	3.2
	農林水産業	3	0.0	33.3	66.7	0.0
	その他	59	32.2	27.1	27.1	13.6
	無回答	10	0.0	40.0	50.0	10.0

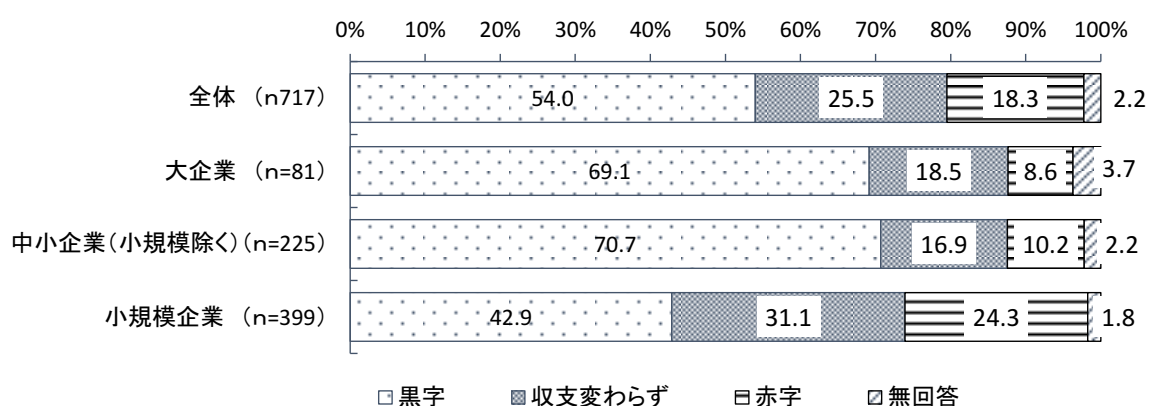
問20 収益状況について、直近の決算状況に該当する番号を回答欄にご記入ください。

直近の決算状況について、「黒字」が 54.0%、「収支変わらず」が 25.5%、「赤字」が 18.3%となっています。

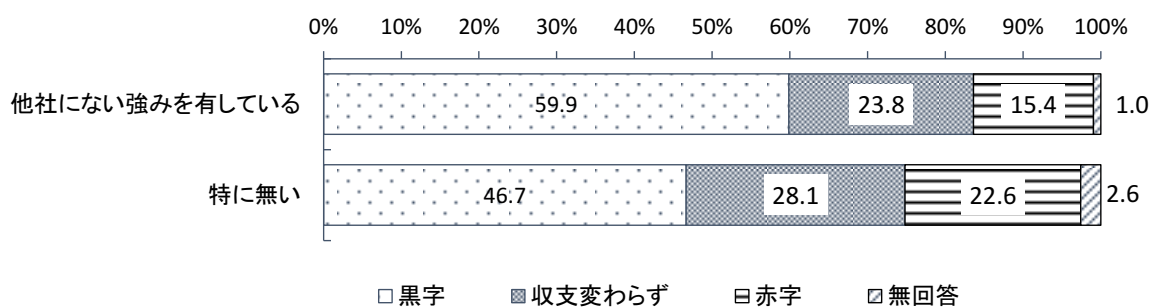
規模別にみると、大企業、中小企業（小規模除く）では約 7 割が「黒字」となっていますが、小規模企業では「黒字」が約 4 割となっています。

他社にない強みの有無別にみると、強みを有している企業では、特にない企業に比べて「黒字」の割合が高くなっています。

業種別では、運輸業、製造業で「黒字」の割合が 6 割以上と高く、飲食業、卸売業、小売業では「赤字」の割合が約 3 割となっています。



■強みの有無別 (問 15)



■従業員・業種別

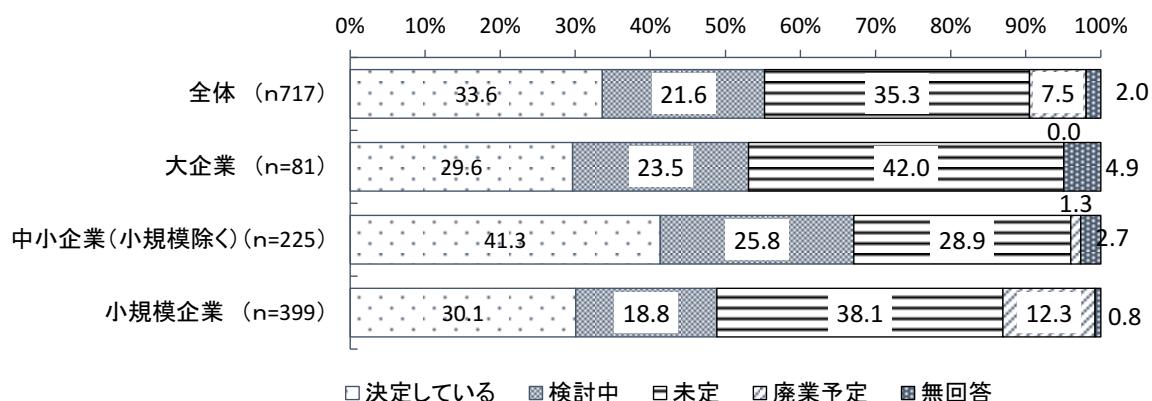
(単位：事業所、%)

		合計 (n)	黒字	収支変わら ず	赤字	無回答
全体		717	54.0	25.5	18.3	2.2
常用 従業員 数	0～5人	253	29.2	36.8	32.4	1.6
	6～20人	197	65.5	20.3	12.2	2.0
	21～50人	93	62.4	23.7	10.8	3.2
	51～100人	50	80.0	12.0	6.0	2.0
	101～300人	58	70.7	19.0	10.3	0.0
	301人以上	58	72.4	17.2	5.2	5.2
	無回答	8	37.5	12.5	37.5	12.5
主な 業種	製造業	136	62.5	25.7	11.8	0.0
	建設業	169	50.3	28.4	18.3	3.0
	運輸業	42	69.0	14.3	16.7	0.0
	卸売業	46	50.0	17.4	28.3	4.3
	小売業	84	42.9	27.4	27.4	2.4
	サービス業	80	56.3	25.0	18.8	0.0
	飲食業	20	45.0	20.0	30.0	5.0
	不動産業	37	45.9	29.7	21.6	2.7
	医療・介護	31	67.7	22.6	9.7	0.0
	農林水産業	3	33.3	66.7	0.0	0.0
	その他	59	59.3	22.0	11.9	6.8
	無回答	10	10.0	60.0	20.0	10.0

問21 事業承継（後継者）について、該当する番号を回答欄にご記入ください。

事業承継（後継者）について、「決定している」が 33.6%、「検討中」が 21.6%、「未定」が 35.3% となっています。

規模別にみると、中小企業（小規模除く）で「決定している」の割合が約 4 割と高く、大企業、小規模企業では「未定」が約 4 割となっています。また、小規模企業では約 1 割が「廃業予定」と回答しています。



■ 経営形態・営業年数・業種別

(単位：事業所、%)

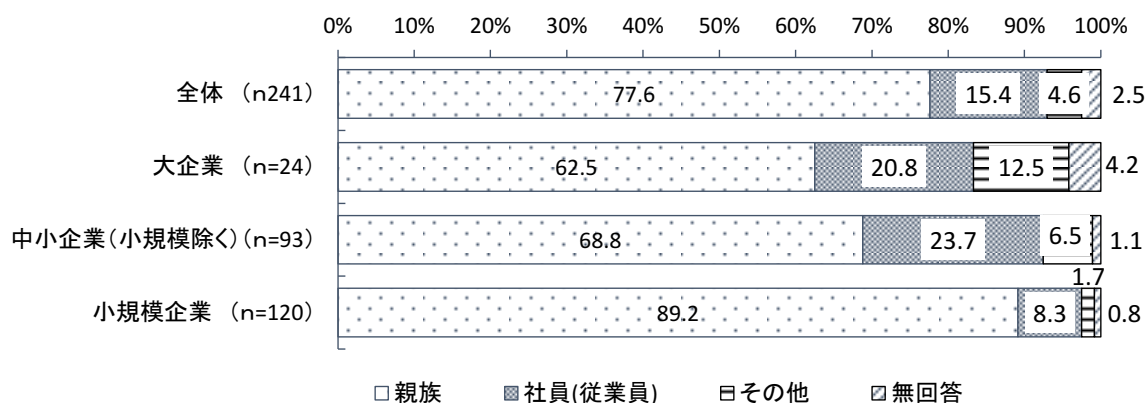
		合計 (n)	決定している (%)	検討中 (%)	未定 (%)	廃業予定 (%)	無回答 (%)
経営形態	全体	717	33.6	21.6	35.3	7.5	2.0
	法人	643	33.7	22.9	35.9	5.6	1.9
	個人	64	37.5	10.9	26.6	25.0	0.0
	その他	5	0.0	0.0	80.0	20.0	0.0
	無回答	5	0.0	20.0	20.0	20.0	40.0
営業年数	1年以下	5	60.0	20.0	20.0	0.0	0.0
	1年超5年以下	35	20.0	17.1	60.0	0.0	2.9
	5年超10年以下	69	21.7	24.6	46.4	4.3	2.9
	10年超20年以下	105	36.2	20.0	37.1	3.8	2.9
	20年超30年以下	97	29.9	25.8	34.0	8.2	2.1
	30年超40年以下	128	39.1	23.4	23.4	12.5	1.6
	40年超50年以下	125	33.6	15.2	36.8	12.8	1.6
	50年超	142	37.3	21.8	35.9	4.2	0.7
	無回答	11	36.4	45.5	0.0	9.1	9.1
主な業種	製造業	136	33.8	27.9	33.8	2.9	1.5
	建設業	169	33.1	20.1	33.7	12.4	0.6
	運輸業	42	38.1	28.6	31.0	0.0	2.4
	卸売業	46	43.5	13.0	34.8	6.5	2.2
	小売業	84	34.5	19.0	32.1	10.7	3.6
	サービス業	80	28.8	21.3	45.0	5.0	0.0
	飲食業	20	35.0	30.0	10.0	15.0	10.0
	不動産業	37	32.4	18.9	40.5	8.1	0.0
	医療・介護	31	32.3	19.4	38.7	9.7	0.0
	農林水産業	3	33.3	0.0	66.7	0.0	0.0
	その他	59	28.8	18.6	42.4	5.1	5.1
	無回答	10	40.0	20.0	20.0	10.0	10.0

問22 設問 21 の事業承継について、「1. 決定している」と回答した方のみ該当する番号を回答欄にご記入ください。

事業承継について「決定している」と回答した企業に、後継者が誰かであったところ、「親族」が 77.6%、「社員(従業員)」が 15.4%、「その他」が 4.6%となっています。

規模別にみると、小規模企業では約 9 割が「親族」となっています。

資本金別では、1 億円超で「社員(従業員)」の割合が約 6 割と高くなっています。



■経営形態・資本金・業種別

(単位：事業所、%)

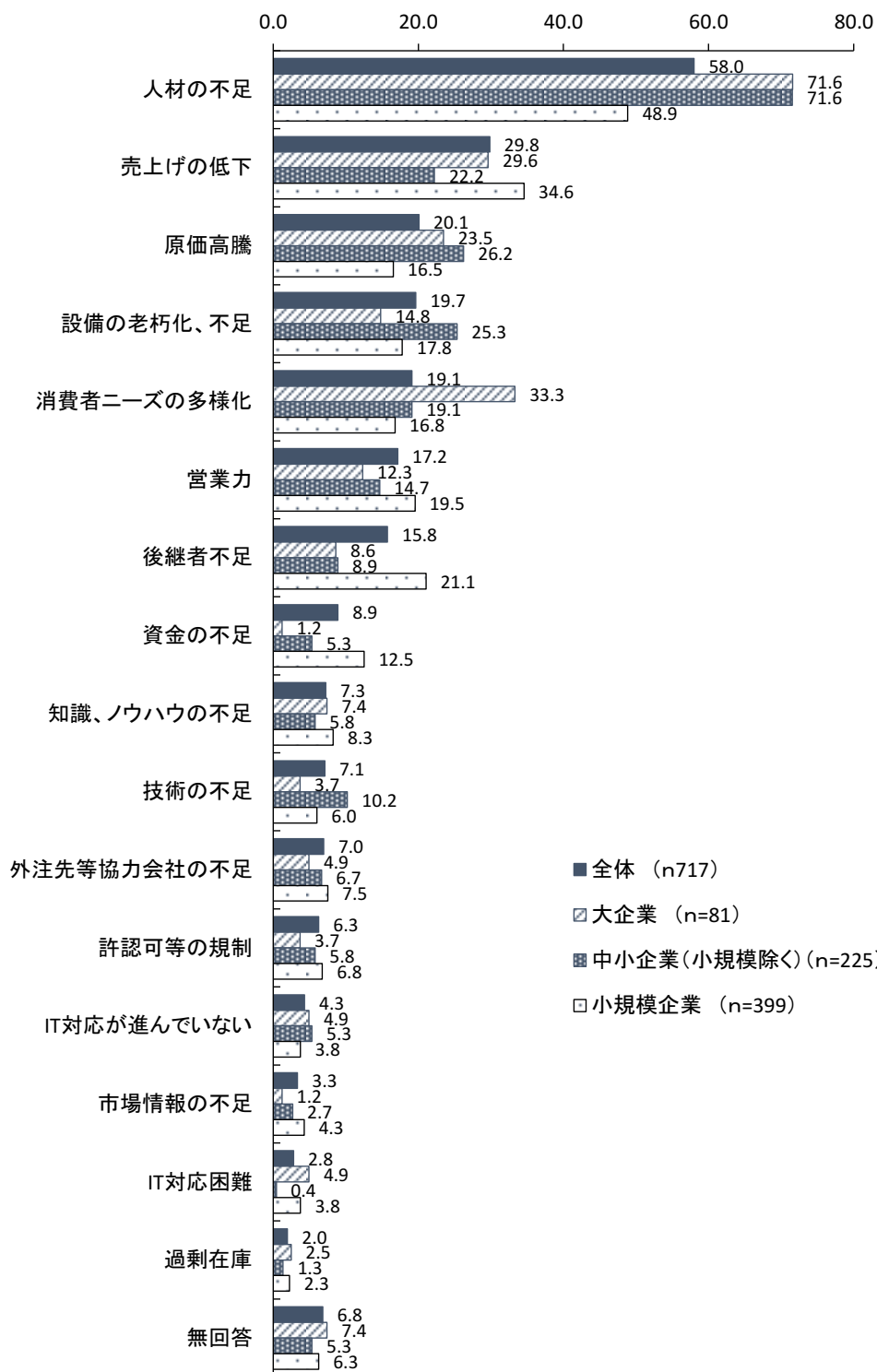
		合計 (n)	親族	社員(従業員)	その他	無回答
経営形態	全体	241	77.6	15.4	4.6	2.5
	法人	217	76.0	16.6	5.1	2.3
	個人	24	91.7	4.2	0.0	4.2
	その他	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無回答	0	0.0	0.0	0.0	0.0
資本金	個人事業主	17	94.1	0.0	0.0	5.9
	500万円以下	44	86.4	9.1	0.0	4.5
	500万円超1千万円以下	51	84.3	9.8	3.9	2.0
	1千万超3千万円以下	52	82.7	11.5	3.8	1.9
	3千万円超5千万円以下	24	87.5	8.3	4.2	0.0
	5千万円超1億円以下	13	76.9	7.7	15.4	0.0
	1億円超3億円以下	25	32.0	56.0	12.0	0.0
	3億円超	5	0.0	60.0	20.0	20.0
無回答	10	80.0	20.0	0.0	0.0	
主な業種	製造業	46	67.4	19.6	10.9	2.2
	建設業	56	89.3	8.9	0.0	1.8
	運輸業	16	75.0	18.8	6.3	0.0
	卸売業	20	70.0	25.0	5.0	0.0
	小売業	29	82.8	13.8	3.4	0.0
	サービス業	23	73.9	17.4	8.7	0.0
	飲食業	7	85.7	14.3	0.0	0.0
	不動産業	12	83.3	8.3	0.0	8.3
	医療・介護	10	80.0	20.0	0.0	0.0
	農林水産業	1	0.0	0.0	100.0	0.0
	その他	17	82.4	17.6	0.0	0.0
	無回答	4	25.0	0.0	0.0	75.0

問23 経営課題について、該当する番号を最大3つまで回答欄にご記入ください。

経営課題について、「人材の不足」が58.0%で最も高く、次いで「売上げの低下」(29.8%)、「原価高騰」(20.1%)と続いています。

規模別にみると、小規模企業では、大企業、中小企業（小規模除く）と比べて「人材の不足」の割合が低く、約5割となっています。また、約2割の企業が「後継者不足」と回答しており、大企業、中小企業（小規模除く）と比べて高くなっています。

業種別では、運輸業で「人材の不足」が約8割と高く、また、小売業では「消費者ニーズの多様化」、飲食業、製造業では「原価高騰」の割合が高くなっています。



■従業員数別

(単位：事業所、%)

		合計 (n)	下 売 上 げ の 低	人 材 の 不 足	技 術 の 不 足	資 金 の 不 足	ハ ウ 知 識 の 不 足	不 足 市 場 情 報 の	化 設 備 の 不 足 老 朽	規 許 制 認 可 等 の	ズ 消 費 者 多 様 化
全体		717	29.8	58.0	7.1	8.9	7.3	3.3	19.7	6.3	19.1
常用 従業員 数	0~5人	253	41.5	34.4	5.5	14.6	7.5	4.3	17.0	5.5	15.4
	6~20人	197	23.9	68.0	6.6	7.1	8.6	4.6	18.8	8.6	20.3
	21~50人	93	19.4	69.9	9.7	8.6	5.4	3.2	24.7	2.2	17.2
	51~100人	50	20.0	78.0	16.0	6.0	10.0	0.0	22.0	6.0	18.0
	101~300人	58	29.3	75.9	8.6	3.4	3.4	0.0	29.3	5.2	25.9
	301人以上	58	22.4	72.4	3.4	0.0	6.9	1.7	17.2	5.2	27.6
	無回答	8	50.0	62.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	37.5	25.0
全体		717	15.8	4.3	2.8	7.0	20.1	2.0	17.2	6.8	
常用 従業員 数	0~5人	253	24.5	3.6	5.1	6.3	14.2	2.0	19.4	8.3	
	6~20人	197	13.7	3.6	1.0	8.6	18.8	2.5	19.8	6.1	
	21~50人	93	9.7	6.5	0.0	2.2	26.9	1.1	16.1	7.5	
	51~100人	50	8.0	6.0	2.0	6.0	24.0	0.0	14.0	2.0	
	101~300人	58	12.1	3.4	1.7	12.1	31.0	1.7	8.6	1.7	
	301人以上	58	5.2	5.2	5.2	6.9	27.6	3.4	10.3	10.3	
	無回答	8	12.5	12.5	0.0	12.5	0.0	0.0	25.0	12.5	

■業種別

(単位：事業所、%)

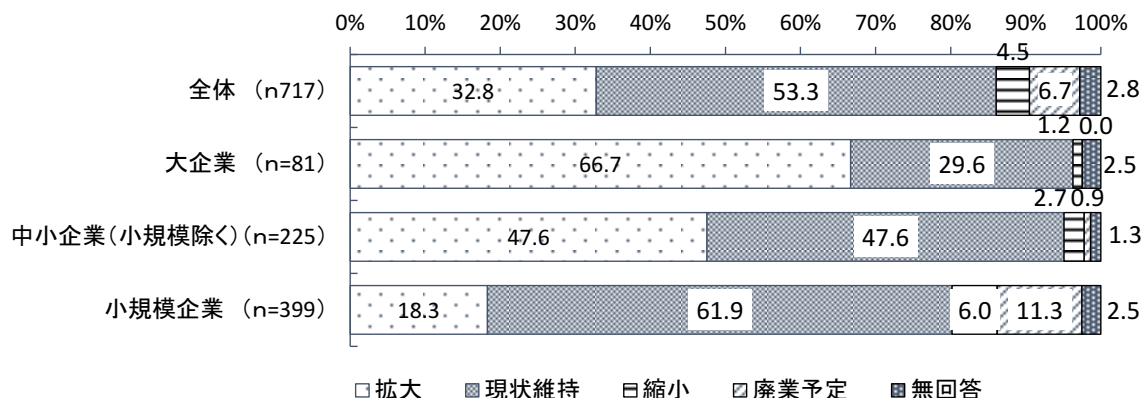
		合計 (n)	下 売 上 げ の 低	人 材 の 不 足	技 術 の 不 足	資 金 の 不 足	ハ ウ 知 識 の 不 足	不 足 市 場 情 報 の	化 設 備 の 不 足 老 朽	規 許 制 認 可 等 の	ズ 消 費 者 多 様 化
全体		717	29.8	58.0	7.1	8.9	7.3	3.3	19.7	6.3	19.1
主な 業種	製造業	136	27.9	61.0	12.5	7.4	4.4	2.2	39.7	5.1	12.5
	建設業	169	27.8	60.9	12.4	10.1	8.9	3.6	9.5	5.9	7.7
	運輸業	42	21.4	78.6	7.1	7.1	7.1	2.4	14.3	21.4	14.3
	卸売業	46	43.5	41.3	0.0	6.5	6.5	6.5	10.9	6.5	30.4
	小売業	84	46.4	51.2	2.4	8.3	6.0	6.0	14.3	0.0	44.0
	サービス業	80	27.5	61.3	3.8	7.5	7.5	1.3	22.5	5.0	21.3
	飲食業	20	45.0	65.0	5.0	15.0	0.0	0.0	20.0	0.0	20.0
	不動産業	37	21.6	29.7	0.0	18.9	13.5	5.4	10.8	10.8	21.6
	医療・介護	31	19.4	71.0	3.2	6.5	12.9	6.5	35.5	6.5	29.0
	農林水産業	3	33.3	100.0	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3
	その他	59	22.0	62.7	1.7	8.5	8.5	1.7	15.3	10.2	18.6
	無回答	10	20.0	0.0	10.0	10.0	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0
全体		717	15.8	4.3	2.8	7.0	20.1	2.0	17.2	6.8	
主な 業種	製造業	136	14.7	4.4	1.5	9.6	37.5	2.9	9.6	3.7	
	建設業	169	23.1	4.1	3.6	12.4	14.8	0.0	25.4	6.5	
	運輸業	42	14.3	2.4	2.4	14.3	31.0	0.0	9.5	7.1	
	卸売業	46	17.4	6.5	4.3	6.5	26.1	2.2	23.9	4.3	
	小売業	84	14.3	3.6	4.8	1.2	15.5	7.1	10.7	4.8	
	サービス業	80	11.3	3.8	2.5	6.3	12.5	0.0	17.5	7.5	
	飲食業	20	5.0	5.0	0.0	0.0	45.0	0.0	5.0	10.0	
	不動産業	37	16.2	8.1	2.7	2.7	8.1	5.4	35.1	8.1	
	医療・介護	31	6.5	3.2	0.0	0.0	12.9	3.2	3.2	9.7	
	農林水産業	3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	その他	59	13.6	5.1	3.4	0.0	6.8	0.0	22.0	6.8	
	無回答	10	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	60.0	

問24 今後の事業展開の方針について、該当する番号を回答欄にご記入ください。

今後の事業展開の方針について、「拡大」が 32.8%、「現状維持」が 53.3%、「縮小」が 4.5%、「廃業予定」が 6.7%となっています。

規模別にみると、規模が小さいほど「現状維持」の割合が高く、「拡大」の割合が低くなっており、小規模企業では約 6 割が「現状維持」、約 1 割が「廃業予定」と回答しています。

業種別では、運輸業、サービス業、卸売業、製造業で「拡大」が 4 割を超えています。



■経営形態・資本金・業種別

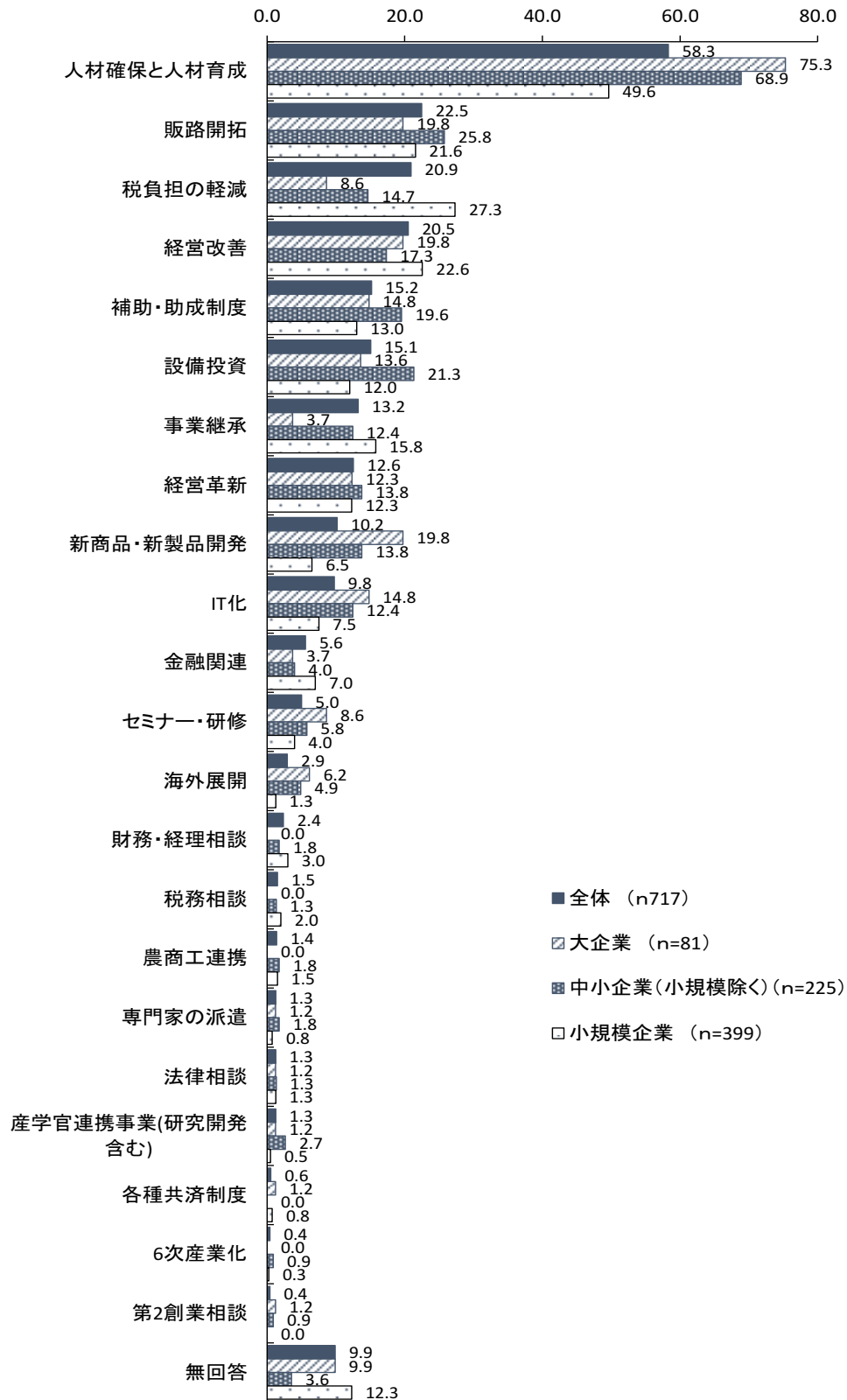
(単位：事業所、%)

		合計 (n)	拡大	現状維持	縮小	廃業予定	無回答
全体		717	32.8	53.3	4.5	6.7	2.8
経営 形態	法人	643	35.1	53.3	4.4	5.0	2.2
	個人	64	10.9	54.7	4.7	23.4	6.3
	その他	5	40.0	20.0	0.0	20.0	20.0
	無回答	5	0.0	60.0	20.0	0.0	20.0
資本金	個人事業主	53	7.5	49.1	13.2	22.6	7.5
	500万円以下	148	20.9	54.7	8.1	14.9	1.4
	500万円超1千万円以下	152	17.1	70.4	4.6	5.3	2.6
	1千万超3千万円以下	152	40.8	53.3	0.7	3.3	2.0
	3千万円超5千万円以下	53	52.8	41.5	1.9	1.9	1.9
	5千万円超1億円以下	37	56.8	43.2	0.0	0.0	0.0
	1億円超3億円以下	84	65.5	29.8	2.4	0.0	2.4
	3億円超	9	55.6	33.3	11.1	0.0	0.0
	無回答	29	10.3	72.4	3.4	0.0	13.8
主な 業種	製造業	136	41.9	51.5	1.5	2.9	2.2
	建設業	169	17.8	65.1	3.0	11.8	2.4
	運輸業	42	59.5	35.7	4.8	0.0	0.0
	卸売業	46	45.7	43.5	2.2	6.5	2.2
	小売業	84	26.2	50.0	10.7	10.7	2.4
	サービス業	80	46.3	42.5	6.3	3.8	1.3
	飲食業	20	30.0	50.0	5.0	10.0	5.0
	不動産業	37	21.6	67.6	2.7	8.1	0.0
	医療・介護	31	22.6	67.7	3.2	3.2	3.2
	農林水産業	3	0.0	33.3	66.7	0.0	0.0
	その他	59	37.3	50.8	5.1	3.4	3.4
	無回答	10	0.0	40.0	0.0	10.0	50.0

問25 事業活動を継続するために必要としている支援策について、該当する番号を最大3つまで回答欄にご記入ください。

事業活動を継続するために必要な支援策について、「人材確保と人材育成」が58.3%で最も高く、次いで「販路開拓」(22.5%)、「税負担の軽減」(20.9%)と続いています。

規模別にみると、特に大企業、中小企業（小規模除く）で「人材確保と人材育成」の割合が高く、小規模企業では「税負担の軽減」の割合が比較的高くなっています。



■従業員数別

(単位：事業所、%)

		合計 (n)	経営革新	経営改善	金融関連	補助・助成制度	販路開拓	I T 化	農 商 工 連 携	専 門 家 の 派 遣	各 種 共 済 制 度	事 業 継 承	法 律 相 談	セ ミ ナ ー ・ 研 修
全体		717	12.6	20.5	5.6	15.2	22.5	9.8	1.4	1.3	0.6	13.2	1.3	5.0
常用 従業員数	0~5人	253	11.5	21.3	7.9	10.7	20.6	7.9	2.4	1.2	0.8	15.8	2.0	2.8
	6~20人	197	13.7	20.8	6.6	15.7	23.4	7.6	1.0	0.5	0.5	14.7	0.5	5.1
	21~50人	93	17.2	19.4	3.2	21.5	30.1	14.0	1.1	2.2	0.0	16.1	0.0	4.3
	51~100人	50	10.0	22.0	0.0	22.0	16.0	12.0	0.0	2.0	0.0	8.0	2.0	12.0
	101~300人	58	8.6	13.8	3.4	19.0	29.3	12.1	1.7	1.7	1.7	5.2	1.7	8.6
	301人以上	58	12.1	20.7	3.4	15.5	15.5	12.1	0.0	0.0	0.0	3.4	1.7	6.9
	無回答	8	12.5	37.5	0.0	0.0	12.5	25.0	0.0	12.5	0.0	25.0	0.0	0.0
		合計 (n)	6 次 産 業 化	第 2 創 業 相 談	税 務 相 談	設 備 投 資	財 務 ・ 経 理 相 談	海 外 展 開	発 新 商 品 ・ 新 製 品 開	(産 学 官 連 携 事 業 ・ 研 究 開 発 含 む)	成 人 材 確 保 と 人 材 育	税 負 担 の 軽 減	無 回 答	
全体		717	0.4	0.4	1.5	15.1	2.4	2.9	10.2	1.3	58.3	20.9	9.9	
常用 従業員数	0~5人	253	0.4	0.0	2.4	11.1	4.0	1.6	5.1	0.0	38.3	26.5	16.2	
	6~20人	197	0.0	0.5	0.5	13.2	1.5	1.0	11.7	1.0	68.0	25.4	7.6	
	21~50人	93	2.2	1.1	2.2	21.5	1.1	4.3	11.8	1.1	64.5	11.8	2.2	
	51~100人	50	0.0	0.0	0.0	16.0	4.0	6.0	18.0	6.0	70.0	16.0	4.0	
	101~300人	58	0.0	1.7	1.7	29.3	0.0	8.6	13.8	3.4	81.0	12.1	3.4	
	301人以上	58	0.0	0.0	0.0	15.5	0.0	5.2	15.5	1.7	72.4	8.6	13.8	
	無回答	8	0.0	0.0	12.5	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	37.5	25.0	12.5	

■業種別

(単位：事業所、%)

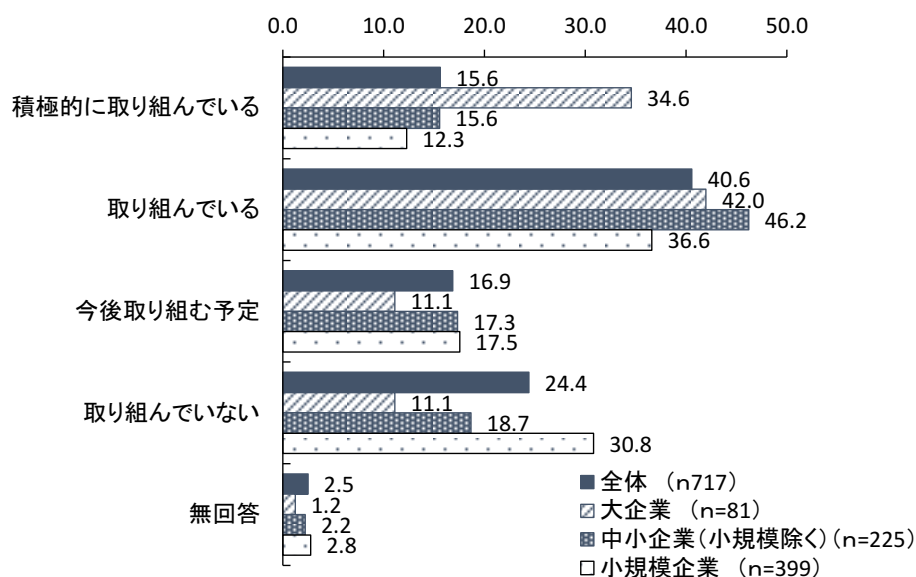
		合計 (n)	経営革新	経営改善	金融関連	補助・助成制度	販路開拓	I T 化	農 商 工 連 携	専 門 家 の 派 遣	各 種 共 済 制 度	事 業 継 承	法 律 相 談	セ ミ ナ ー ・ 研 修
全体		717	12.6	20.5	5.6	15.2	22.5	9.8	1.4	1.3	0.6	13.2	1.3	5.0
主な 業種	製造業	136	12.5	16.9	4.4	21.3	28.7	3.7	1.5	0.7	0.0	14.7	0.7	2.9
	建設業	169	8.9	24.3	5.3	10.7	16.0	7.7	1.8	0.6	0.6	17.2	1.2	3.6
	運輸業	42	9.5	45.2	2.4	23.8	16.7	9.5	0.0	0.0	0.0	4.8	0.0	7.1
	卸売業	46	13.0	17.4	6.5	19.6	54.3	8.7	2.2	0.0	0.0	15.2	0.0	4.3
	小売業	84	19.0	17.9	9.5	13.1	25.0	19.0	1.2	2.4	1.2	9.5	0.0	4.8
	サービス業	80	17.5	16.3	2.5	10.0	21.3	10.0	0.0	2.5	1.3	11.3	2.5	3.8
	飲食業	20	15.0	35.0	15.0	5.0	10.0	10.0	5.0	0.0	0.0	10.0	0.0	5.0
	不動産業	37	13.5	21.6	13.5	5.4	13.5	10.8	0.0	2.7	2.7	10.8	5.4	5.4
	医療・介護	31	3.2	16.1	0.0	22.6	6.5	19.4	0.0	0.0	0.0	19.4	0.0	9.7
	農林水産業	3	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	59	13.6	13.6	5.1	20.3	27.1	13.6	1.7	3.4	0.0	11.9	3.4	13.6
	無回答	10	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0
		合計 (n)	6 次 産 業 化	第 2 創 業 相 談	税 務 相 談	設 備 投 資	財 務 ・ 経 理 相 談	海 外 展 開	発 新 商 品 ・ 新 製 品 開	(産 学 官 連 携 事 業 ・ 研 究 開 発 含 む)	成 人 材 確 保 と 人 材 育	税 負 担 の 軽 減	無 回 答	
全体		717	0.4	0.4	1.5	15.1	2.4	2.9	10.2	1.3	58.3	20.9	9.9	
主な 業種	製造業	136	0.0	0.0	0.7	30.1	1.5	5.1	19.1	3.7	56.6	21.3	5.9	
	建設業	169	0.6	0.0	3.0	10.1	4.1	0.6	2.4	0.6	61.5	27.2	11.2	
	運輸業	42	0.0	0.0	4.8	21.4	0.0	2.4	2.4	0.0	71.4	19.0	2.4	
	卸売業	46	0.0	0.0	0.0	4.3	2.2	15.2	21.7	0.0	52.2	13.0	6.5	
	小売業	84	1.2	1.2	0.0	9.5	2.4	3.6	17.9	0.0	53.6	13.1	8.3	
	サービス業	80	1.3	1.3	0.0	20.0	1.3	2.5	13.8	1.3	62.5	17.5	7.5	
	飲食業	20	0.0	5.0	5.0	20.0	0.0	0.0	10.0	0.0	55.0	30.0	10.0	
	不動産業	37	0.0	0.0	0.0	2.7	0.0	0.0	8.1	0.0	35.1	24.3	29.7	
	医療・介護	31	0.0	0.0	0.0	12.9	6.5	0.0	0.0	0.0	67.7	25.8	12.9	
	農林水産業	3	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	33.3	0.0	
	その他	59	0.0	0.0	3.4	6.8	3.4	0.0	1.7	3.4	64.4	18.6	6.8	
	無回答	10	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	30.0	10.0	60.0	

問26 健康経営について、該当する番号を回答欄にご記入ください。

健康経営への取り組み状況について、「積極的に取り組んでいる」が 15.6%、「取り組んでいる」が 40.6%、「今後取り組む予定」が 16.9%、「取り組んでいない」が 24.4%となっています。

規模別にみると、規模が大きいほど「積極的に取り組んでいる」の割合が高く、小規模企業では約3割が「取り組んでいない」と回答しています。

業種別では、運輸業で「積極的に取り組んでいる」の割合が高く、サービス業、不動産業では「取り組んでいない」が3割を超えています。



■従業員数・業種別

(単位：事業所、%)

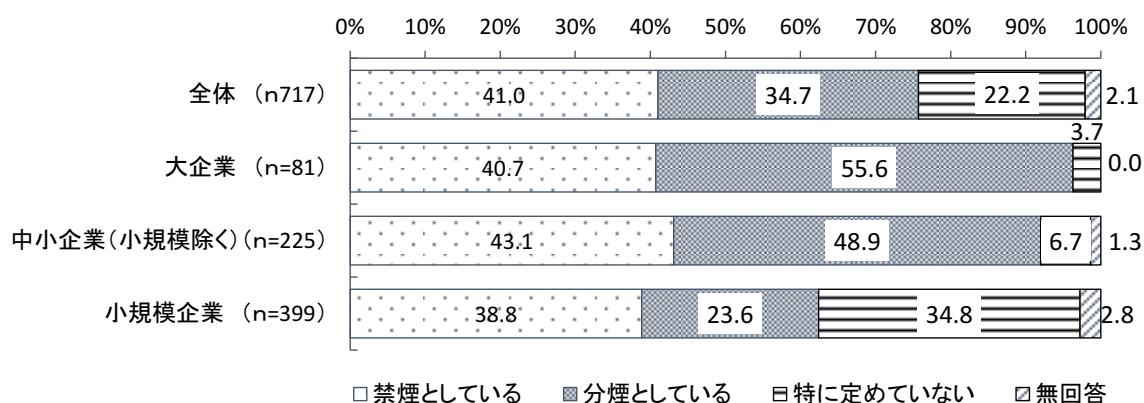
		合計 (n)	積極的に取り組んでいる	取り組んでいる	今後取り組む予定	取り組んでいない	無回答
全体		717	15.6	40.6	16.9	24.4	2.5
常用従業員数	0~5人	253	9.9	33.6	15.8	38.3	2.4
	6~20人	197	17.3	40.1	20.3	18.8	3.6
	21~50人	93	15.1	50.5	18.3	14.0	2.2
	51~100人	50	12.0	44.0	18.0	24.0	2.0
	101~300人	58	15.5	50.0	15.5	19.0	0.0
	301人以上	58	41.4	41.4	8.6	6.9	1.7
	無回答	8	0.0	62.5	12.5	12.5	12.5
主な業種	製造業	136	10.3	42.6	22.1	24.3	0.7
	建設業	169	12.4	40.8	19.5	24.3	3.0
	運輸業	42	26.2	47.6	9.5	14.3	2.4
	卸売業	46	19.6	47.8	8.7	19.6	4.3
	小売業	84	15.5	39.3	15.5	27.4	2.4
	サービス業	80	21.3	33.8	11.3	32.5	1.3
	飲食業	20	15.0	55.0	10.0	15.0	5.0
	不動産業	37	16.2	21.6	24.3	32.4	5.4
	医療・介護	31	19.4	45.2	16.1	16.1	3.2
	農林水産業	3	33.3	33.3	0.0	33.3	0.0
	その他	59	18.6	37.3	16.9	25.4	1.7
	無回答	10	0.0	60.0	20.0	10.0	10.0

問27 問 27-1 建物内での従業員に対する受動喫煙防止の取り組みについて、該当する番号を回答欄にご記入ください。

従業員に対する受動喫煙防止の取り組みについて、「禁煙としている」が 41.0%、「分煙としている」が 34.7%、「特に定めていない」が 22.2%となっています。

規模別にみると、「禁煙としている」の割合は規模による大きな違いはみられませんが、「特に定めていない」の割合は小規模企業で高くなっています。

業種別では、医療・介護で「禁煙としている」が 7 割以上と高く、建設業で「特に定めていない」が約 4 割と高くなっています。



■従業員数・業種別

(単位：事業所、%)

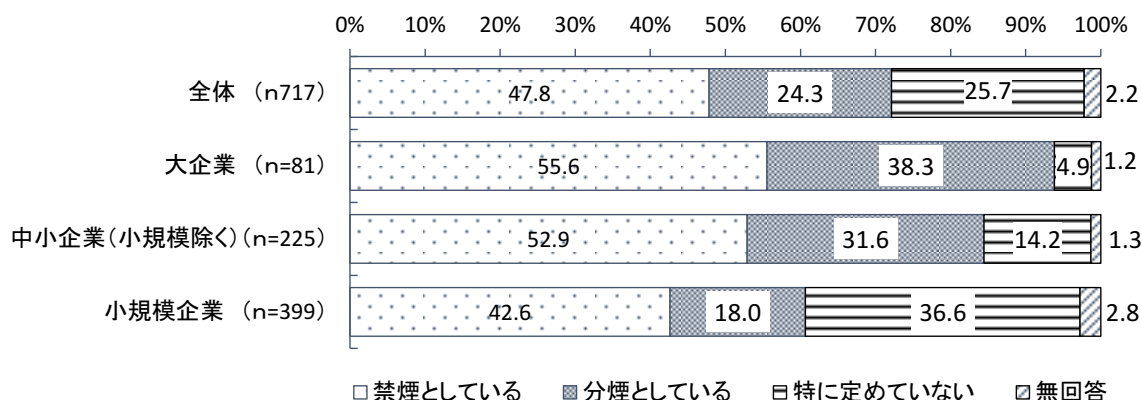
		合計 (n)	禁煙として いる	分煙として いる	特に定めて いない	無回答
問3 常用 従業員 数	全体	717	41.0	34.7	22.2	2.1
	0～5人	253	39.5	14.6	42.3	3.6
	6～20人	197	43.7	36.0	18.8	1.5
	21～50人	93	46.2	46.2	6.5	1.1
	51～100人	50	34.0	56.0	8.0	2.0
	101～300人	58	29.3	65.5	5.2	0.0
	301人以上	58	48.3	50.0	1.7	0.0
	無回答	8	37.5	37.5	12.5	12.5
問8 主な 業種	製造業	136	33.8	50.7	14.7	0.7
	建設業	169	32.5	27.8	37.9	1.8
	運輸業	42	33.3	57.1	9.5	0.0
	卸売業	46	45.7	28.3	23.9	2.2
	小売業	84	40.5	36.9	20.2	2.4
	サービス業	80	37.5	38.8	22.5	1.3
	飲食業	20	50.0	30.0	20.0	0.0
	不動産業	37	48.6	16.2	27.0	8.1
	医療・介護	31	74.2	16.1	6.5	3.2
	農林水産業	3	33.3	33.3	33.3	0.0
	その他	59	57.6	27.1	11.9	3.4
	無回答	10	80.0	0.0	10.0	10.0

問28 問 27-2 建物内でのお客様に対する受動喫煙防止の取り組みについて、該当する番号を回答欄にご記入ください。

お客様に対する受動喫煙防止の取り組みについて、「禁煙としている」が%で最も高く、次いで「」（%）、「」（%）と続いています。

規模別にみると、規模が小さいほど「特に定めてない」の割合が高くなっています。

業種別では、医療・介護で「禁煙としている」の割合が高く、建設業で「特に定めてない」の割合が高くなっています。



■従業員数・業種別

(単位：事業所、%)

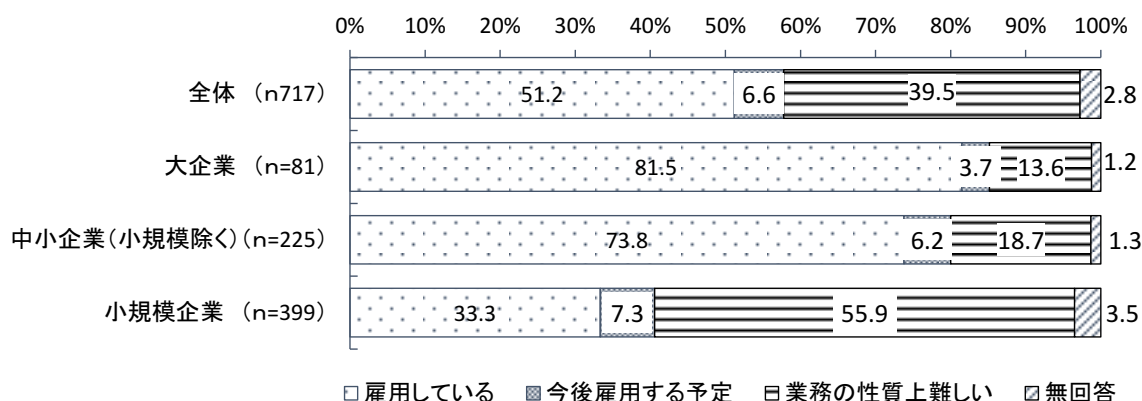
		合計 (n)	禁煙として いる	分煙として いる	特に定めて いない	無回答
全体		717	47.8	24.3	25.7	2.2
常用 従業員 数	0~5人	253	39.5	14.2	43.1	3.2
	6~20人	197	53.8	21.8	22.3	2.0
	21~50人	93	53.8	29.0	16.1	1.1
	51~100人	50	46.0	42.0	10.0	2.0
	101~300人	58	46.6	37.9	15.5	0.0
	301人以上	58	60.3	36.2	1.7	1.7
	無回答	8	25.0	50.0	12.5	12.5
主な 業種	製造業	136	41.9	36.0	21.3	0.7
	建設業	169	38.5	19.5	39.1	3.0
	運輸業	42	38.1	47.6	14.3	0.0
	卸売業	46	41.3	26.1	30.4	2.2
	小売業	84	52.4	19.0	27.4	1.2
	サービス業	80	51.3	26.3	21.3	1.3
	飲食業	20	40.0	35.0	20.0	5.0
	不動産業	37	54.1	10.8	29.7	5.4
	医療・介護	31	83.9	3.2	9.7	3.2
	農林水産業	3	66.7	0.0	33.3	0.0
	その他	59	62.7	18.6	15.3	3.4
	無回答	10	80.0	0.0	10.0	10.0

問29 高齢者（60歳以上）、障がい者の雇用について、該当する番号を回答欄にご記入ください。

高齢者、障がい者の雇用について、「雇用している」が51.2%、「今後雇用する予定」が6.6%、「業務の性質上難しい」が39.5%となっています。

規模別にみると、大企業及び中小企業（小規模除く）では、「雇用している」もしくは「今後雇用する予定」の割合が8割以上となっていますが、小規模企業では6割弱が「業務の性質上難しい」と回答しています。

業種別では、製造業、運輸業で「雇用している」の割合が高く、建設業で「業務の性質上難しい」の割合が高くなっています。



■従業員数・業種別

(単位：事業所、%)

		合計 (n)	雇用している	今後雇用する予定	業務の性質上難しい	無回答
全体		717	51.2	6.6	39.5	2.8
常用従業員数	0～5人	253	18.6	7.1	70.0	4.3
	6～20人	197	57.4	8.6	31.5	2.5
	21～50人	93	73.1	6.5	18.3	2.2
	51～100人	50	74.0	2.0	24.0	0.0
	101～300人	58	81.0	3.4	15.5	0.0
	301人以上	58	86.2	3.4	8.6	1.7
	無回答	8	62.5	12.5	12.5	12.5
	主な業種					
製造業	136	66.9	4.4	24.3	4.4	
建設業	169	38.5	7.1	52.7	1.8	
運輸業	42	61.9	7.1	28.6	2.4	
卸売業	46	52.2	2.2	45.7	0.0	
小売業	84	50.0	3.6	44.0	2.4	
サービス業	80	53.8	13.8	31.3	1.3	
飲食業	20	50.0	20.0	25.0	5.0	
不動産業	37	48.6	5.4	40.5	5.4	
医療・介護	31	51.6	9.7	38.7	0.0	
農林水産業	3	100.0	0.0	0.0	0.0	
その他	59	47.5	3.4	45.8	3.4	
無回答	10	10.0	0.0	70.0	20.0	

＜自由記述＞ 今後、中小企業・小規模企業の振興を進めるにあたり、行政に期待することなど、ご自由にご記入ください。

No	地区	業種	自由意見
1	久喜地区	製造業	外国人労働者(研修生、エンジニア)の採用手続きの簡略化とスピード化を最優先で検討をお願いしたい。
2	久喜地区	製造業	労働環境に対する設備投資に、助成金制度。
3	久喜地区	製造業	エコアクション 21 など環境に取り組む企業に向けて、補助・助成制度など。
4	久喜地区	製造業	市製品を指定して使用してほしい。
5	久喜地区	製造業	働き方改革の進め方、働く女性の雇用の柔軟性の難しさ。世の中が定時 17 時になれば、家族との時間も取れて、仕事をしなくてもお客様も納得で、円滑になるといいなと思います。
6	久喜地区	製造業	中小企業への支援に期待。高齢者就労促進、非正規から正規への助成制度。
7	久喜地区	製造業	将来的に日本の人口の減少により、新人採用が厳しくなっています。毎年のように埼玉県内での求人倍率も高くなっており、製造技術者の採用育成が厳しい状態になっており、日本人以外の採用も考慮する状況になるのではないかと思います。さらに、日本の経済状況もグローバル化やデフレの進行、大きな税収不足等により悪化している状況であり、久喜市としての緊急的な活性化対策や地元での新規事業の計画(省エネ対策や新企業の育成・支援等)を立案して、久喜市全体の底上げ・活性化に努めてほしい。
8	久喜地区	建設業	小規模企業の社会保険・健康保険の負担が大きい。
9	久喜地区	建設業	<ul style="list-style-type: none"> ・地元企業の育成・支援に力を注いでいただきたい。地元企業に発信していただきたい。 ・市職員の皆さんには、ご多忙とは存じますが、税務・市のサービス等について精通していただきたいと願います。ダウンロードできる書式について、市の職員の皆さんが知らないことに驚きました。他市の職員の方が明るいことにも同様に驚きました。 ・商工会で相談に乗っていただいたりもしましたが、尻切れトンボに終わってしまいました。商工会のサービスは商店(小売)に片寄っているような気が致します。 ・モノを売る、利益追求だけではない、この久喜市を明るくするための取り組みを、事業者が手を結んでできるような「場」を行政が段取りしていただけたらと存じます。
10	久喜地区	建設業	働く意欲のある人を育ててほしい。求人募集しても集まらない。
11	久喜地区	卸売業	<ul style="list-style-type: none"> ・商品の輸出の立ち上げに関して、サポートが得られると助かります。まだほとんど着手できていないので、市場調査から始める必要があります。 ・保育園の充実も非常に助けになります。

No	地区	業種	自由意見
12	久喜地区	建設業	工事の早目の発注。自社で工事ができる会社を優先してほしい。
13	久喜地区	建設業	特に建築関係は、2019年過ぎの需要が、冷え込みが予想され、現状の人手不足がどう変化するか、技術の進化と高い付加価値を獲得していくかが大きな課題になる。技術職は、多くの期間の教育が必要で、利益を生む社員になるまでの初期投資が必要で、その期間の援助が必要と考える。今は積極的に人を増やす・設備投資をするべき時ではないように思える。現状のまま、利益率を上げる努力をするべきだと思う。
14	久喜地区	卸売業	<ul style="list-style-type: none"> ・新規設備、及びメンテナンス業者の紹介 ・人材紹介、採用に斡旋 ・下水道整備 ・臨時倉庫の斡旋 ・LED照明切替補助の復活 ・得意先・取引先の斡旋(久喜市内) ・各企業不用品の斡旋(有料可) ・市内所在の企業セミナー開催
15	久喜地区	卸売業	このアンケートを通して、代々をデータ数字で捉えて満足するのではなく、一人ひとりの思いが、実態、そろばん以外の価値を感じて、経営をしている姿を理解し共感を持ってほしい。そのためには、生の声をつかみ、相互理解を深めていくべきだ。業者の実態・要望・要求から、施策・政策が作られるべきだ。他の市町村の振興策を学び、その実態をつかむ等、行政も勉強すべきだ。また、先進的と言われている行政の振興会議の中身運営について、関心を持って学んでほしい。吉川市の動きが面白い。行政の人は、一市三町の天才的な状況を、他人事のように捉えず、自分の問題として正面から受け止めてほしい。共に考え、信頼関係を作っていくことが大切だ。そして、行政・企業・各々役割、やることは違う。企業は地域での役割を考えながら、企業使命を果たしていくことが大事。行政は税収対象としてではなく、中小企業・小規模企業が地域に存在する価値に気付く必要があると思う。
16	久喜地区	小売業	用途地域(事業可能な)の拡大、規制の緩和。
17	久喜地区	小売業	魅力的な街づくり。人を集められる施設、イベントの計画・実行。
18	久喜地区	小売業	<ul style="list-style-type: none"> ・太陽光やLEDや光回線、自動ドア、外壁などの営業(訪問販売)の悪質なものを契約無効にできるなり、同市内で同じ被害が増加しないようにするなりの手立てを作してほしい。個人ではクーリングオフなども可能だが、会社店舗(事業主)だとクーリングオフができないため、高齢化が進んだ商店街などでは、よくわからないうちに高額契約なども大いにあり得る。(実際に、契約するまで店内に6時間居座りされたこともある) ・女性の雇用や女性の事業主の新規参入には寛容な姿勢を見せているが、表面上のみ。事業継承した女性の事業主には厳しい姿勢のまま。銀行の融資など下りない。継承者が男性であれば、独身でも高額融資は下りるが、女性では下りない。先代、先々代が融資を受けていたとしても、「実績がないため、100万円程の小額融資を受けて、それをすぐ完

No	地区	業種	自由意見
			済すれば高額の融資も可能」と言われた。つまりは「高額融資を受けたければ金を払え(＝小額融資の利子分)」ということ。借りるために金を支払うなんて本末転倒な事態を防ぐ方法(例えば、その支払う金額を助成金で賄えるか)など考えていただけたら。
19	久喜地区	サービス業	地元・地域の 45 歳以下ぐらいの日本人の仕事に対する考え方については、憂いを感じます。産業・生活の基盤である一次・二次産業や力仕事に対する理解と意欲が少なく、できるだけ楽な仕事をし、お金は少なくても良いと思っている人が非常に多いと思います。根本的な部分での意識の改革を学生時代から進めなくてはならないのと、現在の人達にも働きかける必要があると思います。
20	久喜地区	飲食業	<ul style="list-style-type: none"> ・拡大をしたくても金融機関の融資をしていただけない、貸し渋り等。 ・若い者が都内に出てしまっていること。県内・市内をもっと盛り上げてほしい。 ・埼玉保障協会が保守的で、事業を拡大することができず、非常に厳しいことになってきている。
21	久喜地区	不動産業	東北道、圏央道のインター、ジャンクション、東武鉄道の始発・終着駅…という交通の要衝を生かし、人が来なくなる、寄りなくなる都市計画・開発を重点施策とすべきと考えます。それが本策定の根幹として寄与することと考えます。
22	久喜地区	不動産業	<ul style="list-style-type: none"> ・用途地域の緩和 ・駅周辺の活性化 ・区画整理
23	久喜地区	不動産業	都市計画法 34 条の 11 号地域を拡大していただきたい。(特に旧久喜市)
24	菖蒲地区	製造業	中小企業向けの小区画の工業団地の整備。
25	久喜地区	その他	諸手続きにおいて、簡素化、又は省略できるようにしてほしいです(事務手続き等)。毎年、同じものを定期的に提出するものなど。
26	菖蒲地区	製造業	税金が高すぎる。少し利益が出ると、ものすごい税金が来るので、税金を払うための借金がいつまでもなくなる。正直、儲からないほうが楽だと思ふことがある。
27	菖蒲地区	製造業	<ul style="list-style-type: none"> ・税金の軽減 ・いろいろ報道されていることが事実であれば、どんなに働いても、何の利益も求めることは不可能です。やり損、無駄な税金を払うことに？ 一日も早く何とかして頂きたい。一般論だと思います。お願い致します。 ・アンケート用紙が入っていた封筒にうれしい封筒が1枚プレゼントされていました。良いアイデアですね。ありがとうございます。何を買っても高い時代、又、利用できる楽しさ、ホッとした気持ちになりました。
28	菖蒲地区	製造業	同業者の M&A をより気軽に相談できたら良いと思う。
29	菖蒲地区	製造業	<ul style="list-style-type: none"> ・電気・ガス・水道・排水・ゴミ回収等の料金援助。 ・働き手(正社員・パート・アルバイト等)の企業への紹介制度。

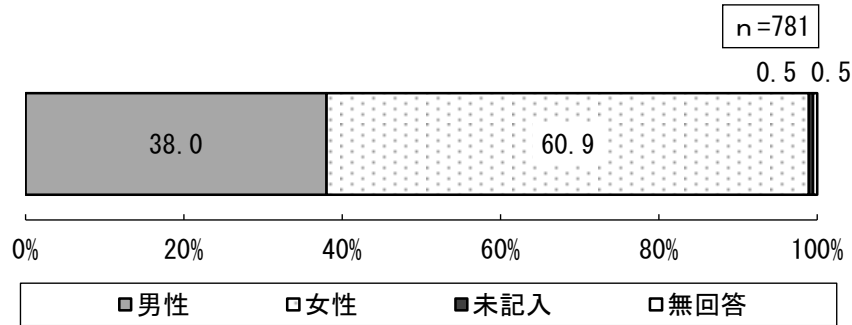
No	地区	業種	自由意見
30	菖蒲地区	製造業	弊社は、久喜菖蒲工業団地に所在する会社で、2017年度の売上は2,400億円となっております。全社グループ従業員は約3,000人です。アンケート回答にあたっては、久喜の事業箇所(久喜開発研究所人数75名)を念頭に回答致しましたが、資本金・ホームページ・売上高については、会社全体の数字・対応を回答致しました。今後、中小企業・小規模企業の各社には発展して行って頂きたいと考えております。このアンケートに書かれているような支援と共に、各社の紹介を継続して行ってもらえれば、発展へのきっかけになると考えます。
31	菖蒲地区	建設業	求人情報サイト、インターネットを見ましたが、弊社もぜひ募集のご協力をお願い申し上げたいのですが……パソコンが上手にできず進めません。地元の商工会様に行けばよいのでしょうか。ハローワークへ行くのも大変で悩んでいます。特に建設業は人手不足です。これからはシニア(経験者の方)、女性で興味のある方など募集したいのです。
32	菖蒲地区	建設業	従業員への採用支援、補助金としての支援などがあってほしい。
33	菖蒲地区	運輸業	農地転用に要する許可を、速やかに早期にしていきたい。
34	菖蒲地区	運輸業	工業団地内に進出したいが、値段が高すぎる。安価で車庫を工業団地内に移転したい!
35	菖蒲地区	運輸業	市街化調整区域、農地等、土地を事業に活用したい。駐車場、事業所等が、用途外(地目)で困難であり活用できない。所有地を活用できるよう、規制を撤廃してほしい。
36	菖蒲地区	運輸業	・工業団地内企業と近隣住民との関係改善。区切りを明確にする等。 ・工業団地内道路及び標識等、明確に!
37	菖蒲地区	運輸業	地域・企業の育成に取り組んでほしい。当社は古紙を扱っておりますが、地元外の業者を扱っているなら、地元の業者を利用してほしいと思います。
38	菖蒲地区	小売業	働く女性を増やすために、保育園の充実。又、希望者全員に、保育園に預けられる体制、保育園の料金の補助。
39	菖蒲地区	小売業	輸出オンリー(小売業に分類)のため、まず言語、PCのフル活用、出張が多く、高齢者はOKだが、障害者は難しい。
40	菖蒲地区	小売業	ネット社会の規制・法律整備を進めて頂きたいと存じます。
41	菖蒲地区	サービス業	・規制緩和という流れの中で、当業界では、今までの商慣行が否定され、顧客・業社間で裁判を行うことが多く、健全な市場形成ができていないのか疑問です。当社の名を語り、当社の顧客へ訪問営業をかける最大手企業は、規模を拡大し、当社顧客の協力もあり、埼玉県や消費者庁に訴えるも、何の影響もありませんでした。行政の役割は非常に大きく、大手企業の有利な市場形成に加担してほしくないです。 ・振興という観点では、経営者はそれぞれ悩みがあり、解決しないまま時間ばかり過ぎることが少なくありません。専門家による支援を充実させることで、経営者の悩みを解決し、事業が拡大する手伝いをしてほしい。

No	地区	業種	自由意見
42	菖蒲地区	サービス業	モラージュの中の旅行会社ですが、市民の皆様のリフレッシュ旅行健康促進として、市内の旅行代理店で宿泊を予約すると、市民は補助金を受けられる制度を作っていただきたい。例：1泊あたり1人 3,000円(年5回)まで。
43	栗橋地区	建設業	この国の中小企業に対する希望や事業など、全然考えてもらえません。全てにおいて、大企業対象の政策ばかりで、私共、中小はそのうちなくなると思う。税はもとより、社会保険、厚生年金で、風前の灯では何も行政に期待しておりません。偶々の声など届くはずもない。日本の行政です。どこが先進国なのか……残念です。
44	鷺宮地区	建設業	地元の企業に優先して仕事を出せるような取り組みをしていただきたいと思います。
45	鷺宮地区	サービス業	小規模企業の多くは、日々事業継続に悩んでいると思う。なぜかという、行き詰った時の手助けとなる施策が少ないからである。昨今はITや金融に関する特例や施策が目立つが、小規模企業はそういった補助を使うことは少ない。もう少し小規模企業の存在する“隙間産業”に対する補助の施策を考えて行ってほしいと考えるが、どうせ出来ないのだから、期待はしない。
46	鷺宮地区	サービス業	実質は個人経営。経営者の過重労働により成り立っている。経営者の健康について、啓蒙が必要となる。
47	-	製造業	行政主導の企業対策には限界があると思います。規制緩和や行政の透明性・公平性を高めて、企業活動は各企業の自主性に任せたほうが良いと思います。行政は、個別・具体的な支援要請があれば、それに応える交流の場を設定する程度で良いのではないのでしょうか？ その分(人的も含めた)のコストを、他の方面に振り分けたほうが効果的だと思います。

Ⅲ. 消費者アンケート

問1 あなたの性別について、該当する番号を回答欄にご記入ください。

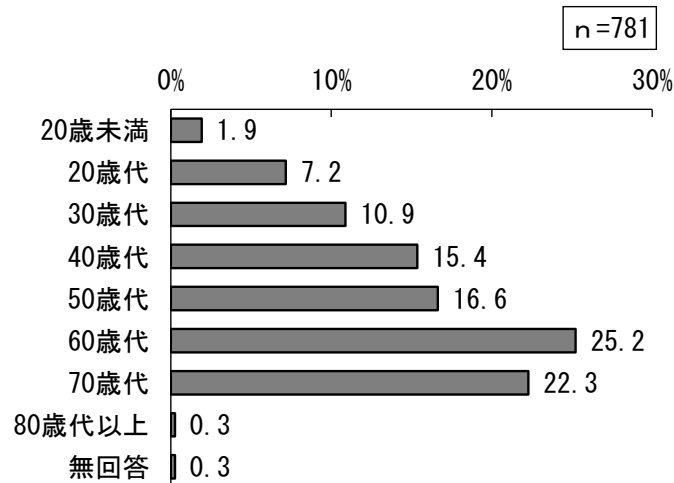
回答者の性別は、「男性」が 38.0%、「女性」が 60.9%となっています。



問2 あなたの年代について、該当する番号を回答欄にご記入ください。

回答者の年代は、「60 歳代」が 25.2%で最も高く、次いで「70 歳代」(22.3%)、「50 歳代」(16.6%)と続いています。

性別にみると、「60 歳代」ではやや男性の割合が高くなっています。



■性別

(単位：人、%)

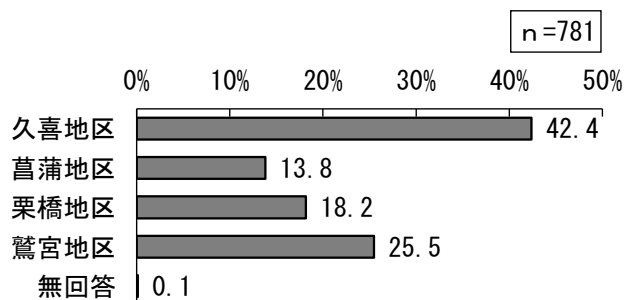
	合計 (n)	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代以上	無回答
全体	781	1.9	7.2	10.9	15.4	16.6	25.2	22.3	0.3	0.3
男性	297	1.3	7.1	10.1	14.8	14.1	29.0	23.6	0.0	0.0
女性	476	2.3	7.1	11.3	16.0	18.3	22.9	21.4	0.4	0.2
未記入	4	0.0	25.0	25.0	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0
無回答	4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	50.0	0.0	25.0

問3 あなたの居住地区について、該当する番号を回答欄にご記入ください。

回答者の居住地区は、「久喜地区」が42.4%で最も高く、次いで「鷲宮地区」(25.5%)、「栗橋地区」(18.2%)、「菖蒲地区」(13.8%)と続いています。

性別による大きな偏りはみられません。

年代別では、20歳未満で「久喜地区」の割合が高くなっています。



■性別・年代別

(単位：人、%)

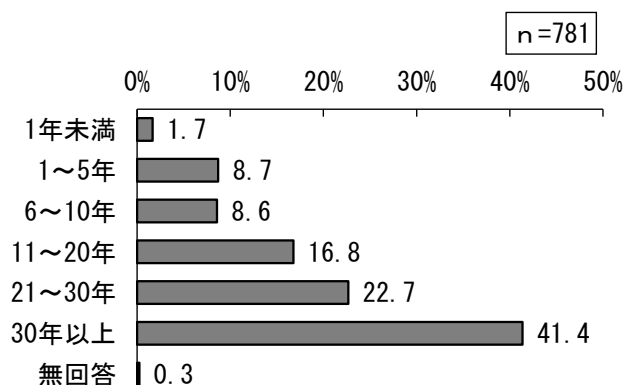
		合計	久喜地区	菖蒲地区	栗橋地区	鷲宮地区	無回答
全体		781	42.4	13.8	18.2	25.5	0.1
性別	男性	297	44.1	10.1	20.9	24.9	0.0
	女性	476	41.0	16.4	16.8	25.8	0.0
	未記入	4	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0
	無回答	4	75.0	0.0	0.0	0.0	25.0
年代	20歳未満	15	60.0	6.7	26.7	6.7	0.0
	20歳代	56	44.6	10.7	25.0	19.6	0.0
	30歳代	85	37.6	14.1	23.5	24.7	0.0
	40歳代	120	43.3	10.0	15.8	30.8	0.0
	50歳代	130	43.8	9.2	23.8	23.1	0.0
	60歳代	197	38.1	19.8	16.2	25.9	0.0
	70歳代	174	46.0	14.4	12.1	27.6	0.0
	80歳代以上	2	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0
	無回答	2	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0

問4 あなたの居住年数について、該当する番号を回答欄にご記入ください。

回答者の居住年数は、「30年以上」が41.4%で最も高く、次いで「21～30年」(22.7%)、「11～20年」(16.8%)と続いています。

年齢別にみると、20歳未満の8割が「11～20年」、20歳代の5割弱が「21～30年」と、生まれてから久喜市に住んでいる人の割合が高くなっています。30歳代では約6割が10年以内、40歳代では約7割が20年以内、50歳代では約7割が30年以内となっており、20歳代前後で他の市町村から移ってきた人の割合が高くなっています。

居住地区別では、栗橋地区で「11～30年」の割合が高く、菖蒲地区で「30年以上」の割合が高くなっています。



■性別・年代・地区別

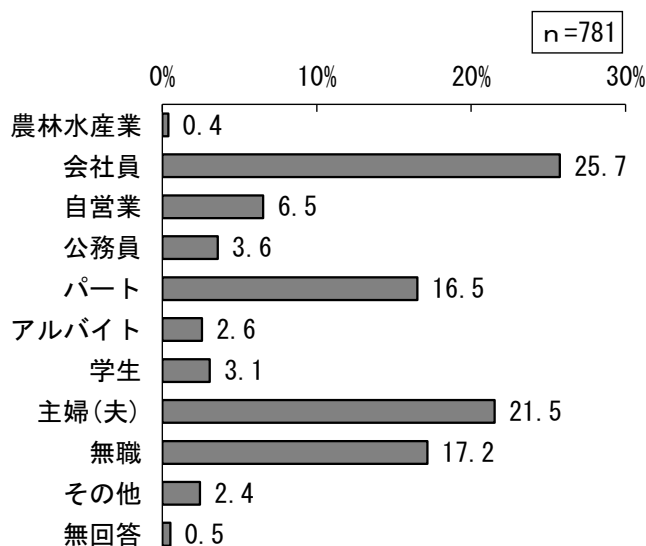
(単位：人、%)

		合計	1年未満	1～5年	6～10年	11～20年	21～30年	30年以上	無回答
全体		781	1.7	8.7	8.6	16.8	22.7	41.4	0.3
性別	男性	297	2.4	8.4	7.4	18.5	21.9	41.1	0.3
	女性	476	1.3	9.0	9.5	15.8	22.9	41.6	0.0
	未記入	4	0.0	0.0	0.0	25.0	50.0	25.0	0.0
	無回答	4	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	50.0	25.0
年代	20歳未満	15	0.0	6.7	13.3	80.0	0.0	0.0	0.0
	20歳代	56	5.4	19.6	7.1	19.6	46.4	1.8	0.0
	30歳代	85	7.1	24.7	25.9	10.6	12.9	18.8	0.0
	40歳代	120	0.0	15.8	23.3	30.0	10.0	20.8	0.0
	50歳代	130	2.3	4.6	2.3	20.0	44.6	26.2	0.0
	60歳代	197	0.5	2.0	1.5	8.6	25.9	61.4	0.0
	70歳代	174	0.0	3.4	2.9	11.5	10.9	70.7	0.6
	80歳代以上	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	無回答	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0
居住地区	久喜地区	331	1.8	7.9	8.2	18.1	20.8	42.9	0.3
	菖蒲地区	108	0.9	8.3	3.7	9.3	22.2	55.6	0.0
	栗橋地区	142	2.1	7.7	8.5	25.4	28.2	28.2	0.0
	鷺宮地区	199	1.5	11.1	12.1	12.6	22.1	40.7	0.0
	無回答	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

問5 あなたの職業について、

回答者の職業は、「会社員」が 25.7%で最も高く、次いで「主婦(夫)」(21.5%)、「無職」(17.2%)と続いています。

性別にみると、男性では「会社員」が約 4 割と高く、女性では「主婦(夫)」、「パート」が合わせて約 6 割となっています。



■性別・年代別

(単位：人、%)

		合計	農林水産業	会社員	自営業	公務員	パート	アルバイト	学生	主婦(夫)	無職	その他	無回答
	全体	781	0.4	25.7	6.5	3.6	16.5	2.6	3.1	21.5	17.2	2.4	0.5
性別	男性	297	1.0	40.1	10.8	4.7	3.0	5.1	2.7	0.3	28.3	3.7	0.3
	女性	476	0.0	16.8	4.0	2.9	25.0	1.1	3.4	34.9	9.9	1.7	0.4
	未記入	4	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0
	無回答	4	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	25.0	25.0	0.0	25.0
年代	20歳未満	15	0.0	6.7	0.0	0.0	0.0	6.7	80.0	0.0	6.7	0.0	0.0
	20歳代	56	0.0	44.6	0.0	7.1	1.8	7.1	21.4	8.9	7.1	1.8	0.0
	30歳代	85	0.0	45.9	5.9	4.7	16.5	1.2	0.0	18.8	4.7	2.4	0.0
	40歳代	120	0.0	48.3	6.7	2.5	28.3	1.7	0.0	6.7	1.7	3.3	0.8
	50歳代	130	0.0	34.6	6.9	11.5	25.4	0.0	0.0	19.2	0.0	2.3	0.0
	60歳代	197	1.0	13.7	8.1	1.0	21.8	3.6	0.0	25.4	22.3	3.0	0.0
	70歳代	174	0.6	2.9	7.5	0.0	2.3	2.9	0.0	36.2	44.8	1.7	1.1
	80歳代以上	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0
無回答	2	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	
居住地区	久喜地区	331	0.3	24.8	6.6	3.3	15.1	3.0	3.3	23.9	16.0	3.0	0.6
	菖蒲地区	108	0.9	22.2	8.3	2.8	20.4	1.9	1.9	23.1	15.7	2.8	0.0
	栗橋地区	142	0.7	32.4	3.5	5.6	15.5	3.5	5.6	15.5	15.5	2.1	0.0
	鷺宮地区	199	0.0	24.6	7.5	3.0	17.6	1.5	1.5	21.1	21.1	1.5	0.5
	無回答	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

問6 あなたの世帯は何人ですか。

回答者の世帯人数は、「2人」が29.6%で最も高く、次いで「3人」(29.2%)、「4人」(19.1%)と続いています。

世帯人数	n	%
1人	65	8.3
2人	231	29.6
3人	228	29.2
4人	149	19.1
5人	63	8.1
6人	21	2.7
7人	8	1.0
9人	1	0.1
無回答	15	1.9
全体	781	100.0

■年代・居住地区別

(単位：人、%)

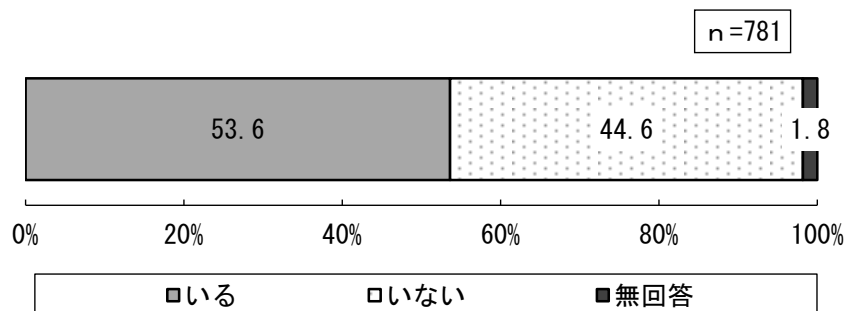
		合計	1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人	9人	無回答
全体		781	8.3	29.6	29.2	19.1	8.1	2.7	1.0	0.1	1.9
年代	20歳未満	15	0.0	0.0	26.7	40.0	13.3	20.0	0.0	0.0	0.0
	20歳代	56	14.3	5.4	26.8	33.9	12.5	3.6	1.8	1.8	0.0
	30歳代	85	2.4	17.6	40.0	25.9	10.6	2.4	0.0	0.0	1.2
	40歳代	120	4.2	9.2	33.3	31.7	15.8	2.5	1.7	0.0	1.7
	50歳代	130	6.2	18.5	37.7	22.3	9.2	3.8	0.8	0.0	1.5
	60歳代	197	10.2	40.1	27.9	12.2	5.6	1.0	0.5	0.0	2.5
	70歳代	174	12.1	56.3	16.7	6.3	1.7	2.3	1.7	0.0	2.9
	80歳代以上	2	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無回答	2	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
居住地区	久喜地区	331	7.9	29.9	31.4	19.9	5.7	2.4	0.9	0.3	1.5
	菖蒲地区	108	11.1	25.0	32.4	15.7	9.3	1.9	0.9	0.0	3.7
	栗橋地区	142	7.7	26.1	23.9	23.2	10.6	4.9	1.4	0.0	2.1
	鷺宮地区	199	8.0	34.2	27.1	16.6	9.5	2.0	1.0	0.0	1.5
	無回答	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問7 あなたの家族に、高齢者（65歳以上）はいますか。

回答者の家族に高齢者がいるかどうかについて、「いる」が53.6%、「いない」が44.6%となっています。

年齢別にみると、30歳代以下では「いない」が7割以上となっています。

地区別では、菖蒲地区で「いる」の割合が他の地区と比べて高くなっています。



■年代・居住地区・居住年数別

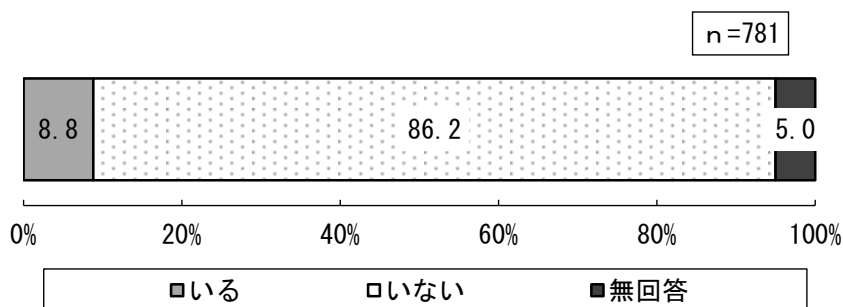
(単位：人、%)

		合計	いる	いない	無回答
全体		781	53.6	44.6	1.8
年代	20歳未満	15	26.7	73.3	0.0
	20歳代	56	23.2	76.8	0.0
	30歳代	85	24.7	74.1	1.2
	40歳代	120	31.7	66.7	1.7
	50歳代	130	38.5	60.8	0.8
	60歳代	197	70.6	26.9	2.5
	70歳代	174	86.2	10.9	2.9
	80歳代以上	2	100.0	0.0	0.0
	無回答	2	100.0	0.0	0.0
居住地区	久喜地区	331	53.5	45.3	1.2
	菖蒲地区	108	59.3	36.1	4.6
	栗橋地区	142	51.4	46.5	2.1
	鷺宮地区	199	52.3	46.7	1.0
	無回答	1	100.0	0.0	0.0
居住年数	1年未満	13	15.4	84.6	0.0
	1～5年	68	17.6	79.4	2.9
	6～10年	67	29.9	70.1	0.0
	11～20年	131	36.6	61.1	2.3
	21～30年	177	50.3	49.2	0.6
	30年以上	323	76.2	21.4	2.5
	無回答	2	100.0	0.0	0.0

問8 あなたの家族に、就学前児童はいますか。

回答者の家族に就学前児童がいるかどうかについて、「いる」が 8.8%、「いない」が 86.2%となっています。

年代別にみると、30代では「いる」の割合が4割強となっています。



■年代・居住地区・居住年数別

(単位：人、%)

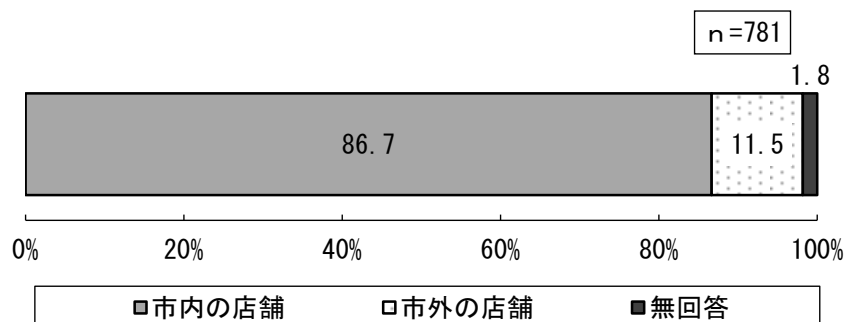
		合計	いる	いない	無回答
全体		781	11.5	86.2	2.3
年代	20歳未満	15	6.7	93.3	0.0
	20歳代	56	14.3	85.7	0.0
	30歳代	85	44.7	54.1	1.2
	40歳代	120	12.5	85.0	2.5
	50歳代	130	1.5	97.7	0.8
	60歳代	197	6.1	90.9	3.0
	70歳代	174	8.0	87.9	4.0
	80歳代以上	2	0.0	100.0	0.0
	無回答	2	0.0	100.0	0.0
居住地区	久喜地区	331	11.5	87.0	1.5
	菖蒲地区	108	11.1	85.2	3.7
	栗橋地区	142	9.9	86.6	3.5
	鷺宮地区	199	13.1	84.9	2.0
	無回答	1	0.0	100.0	0.0
居住年数	1年未満	13	23.1	76.9	0.0
	1～5年	68	39.7	55.9	4.4
	6～10年	67	25.4	73.1	1.5
	11～20年	131	8.4	88.5	3.1
	21～30年	177	3.4	96.0	0.6
	30年以上	323	8.0	89.2	2.8
	無回答	2	0.0	100.0	0.0

問9 日常の買い物でよく利用するのは、次のうちどちらですか。

日常の買い物でよく利用する店舗について、「市内の店舗」が 86.7%、「市外の店舗」が 11.5% となっています。

年代別にみると、20 歳未満では「市外の店舗」の割合が高くなっています。年代が上がるにつれ、「市内の店舗」の割合が高く、60 歳代以上では 9 割以上となっています。

地区別では、栗橋地区で「市外の店舗」の割合が約 2 割と他の地区と比べて高い割合となっています。鷲宮地区では「市内の店舗」が 9 割以上と高くなっています。



■年代・居住地区・居住年数別

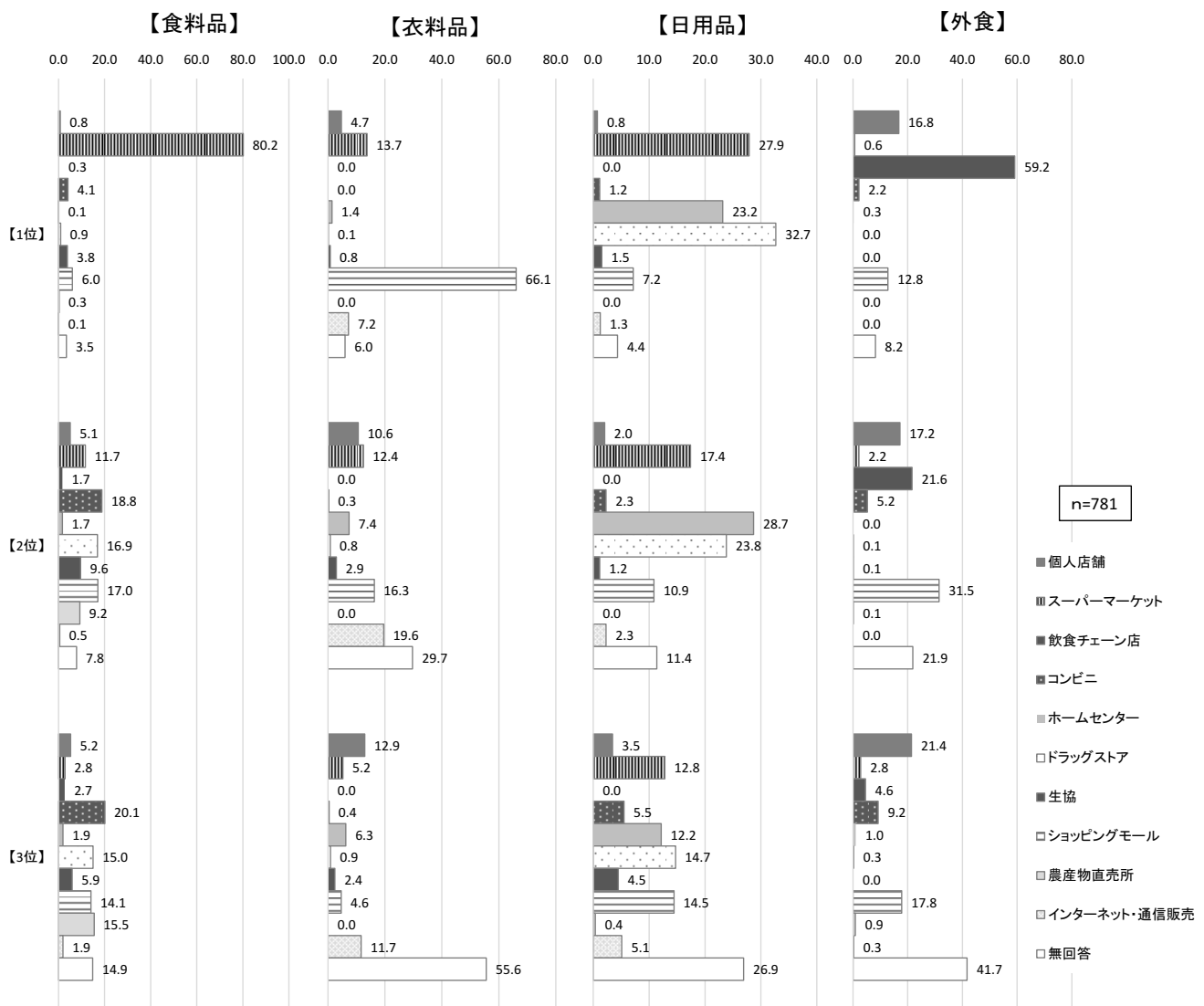
(単位：人、%)

		合計	市内の店舗	市外の店舗	無回答
全体		781	86.7	11.5	1.8
性別	男性	297	85.9	12.1	2.0
	女性	476	87.0	11.3	1.7
	未記入	4	100.0	0.0	0.0
	無回答	4	100.0	0.0	0.0
年代	20歳未満	15	60.0	40.0	0.0
	20歳代	56	75.0	25.0	0.0
	30歳代	85	82.4	16.5	1.2
	40歳代	120	83.3	15.0	1.7
	50歳代	130	88.5	10.0	1.5
	60歳代	197	90.4	7.6	2.0
	70歳代	174	92.0	5.2	2.9
	80歳代以上	2	50.0	50.0	0.0
	無回答	2	100.0	0.0	0.0
居住地区	久喜地区	331	87.0	11.5	1.5
	菖蒲地区	108	84.3	12.0	3.7
	栗橋地区	142	79.6	18.3	2.1
	鷲宮地区	199	92.5	6.5	1.0
	無回答	1	100.0	0.0	0.0

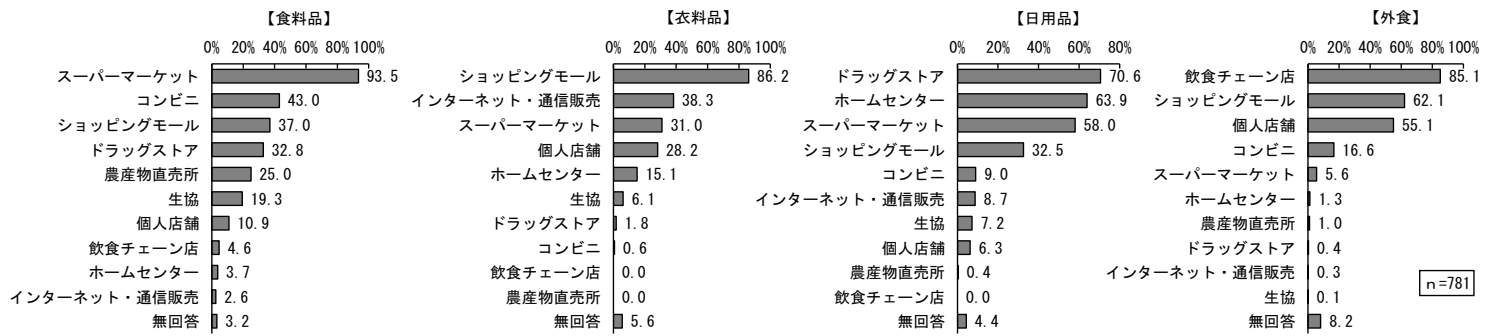
問10 よく利用する市内の店舗について、購入・利用品目ごとに3位まで選び、記号を記入してください。

よく利用する市内の店舗について、食料品では「スーパーマーケット」、衣料品では「ショッピングモール」、日用品では「ドラッグストア」、外食では「飲食チェーン店」の割合がそれぞれ最も高くなっています。

年代別にみると、いずれの品目においても、年代が上がるにつれ「個人商店」の割合が高くなっています。また、食料品、外食では30歳代以下の世代で「コンビニ」の割合が高くなっています。衣料品では、40歳代以下の5割以上が「インターネット・通信販売」と回答しています。



【1～3位合計】



■性別・年代・居住地区別

【食料品1～3位合計】

(単位：人、%)

	合計	個人店舗	ケ ス ー パ ー マ ー	飲 食 チ ェ ー ン 店	コ ン ビ ニ	ホ ー ム セ ン タ ー	ド ラ グ ス ト ア	生 協	モ ー ル シ ョ ッ ピ ン グ	農 産 物 直 売 所	ト ー ン タ ー 通 信 販 売	無 回 答	
全体	781	10.9	93.5	4.6	43.0	3.7	32.8	19.3	37.0	25.0	2.6	3.2	
性別	男性	297	14.1	91.6	7.1	48.8	5.7	30.3	16.5	36.7	19.2	3.0	3.0
	女性	476	9.0	94.5	3.2	39.3	2.5	34.0	21.2	37.4	28.4	2.3	3.4
	未記入	4	0.0	100.0	0.0	50.0	0.0	75.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0
	無回答	4	0.0	100.0	0.0	50.0	0.0	25.0	0.0	25.0	50.0	0.0	0.0
年代	20歳未満	15	0.0	93.3	20.0	66.7	13.3	20.0	13.3	53.3	0.0	0.0	0.0
	20歳代	56	1.8	92.9	8.9	62.5	3.6	33.9	7.1	50.0	7.1	1.8	3.6
	30歳代	85	4.7	90.6	4.7	49.4	2.4	49.4	17.6	45.9	17.6	1.2	1.2
	40歳代	120	5.8	96.7	4.2	40.0	3.3	47.5	23.3	35.8	15.8	3.3	3.3
	50歳代	130	10.0	96.9	0.8	46.2	4.6	33.1	18.5	44.6	23.1	5.4	1.5
	60歳代	197	12.7	92.9	3.6	39.1	3.6	24.4	22.3	35.5	34.5	3.0	3.6
	70歳代	174	20.1	91.4	6.3	35.6	3.4	24.7	19.5	24.1	33.9	0.6	5.2
	80歳代以上	2	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	2	0.0	100.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	
居住地区	久喜地区	331	10.6	92.1	4.5	37.8	3.3	37.8	21.8	39.0	26.9	1.8	2.7
	菖蒲地区	108	6.5	92.6	4.6	50.9	1.9	32.4	18.5	36.1	26.9	1.9	5.6
	栗橋地区	142	16.9	94.4	4.9	49.3	4.2	28.9	18.3	26.8	19.0	3.5	2.8
	鷺宮地区	199	9.5	95.5	4.5	43.2	5.0	27.1	16.6	41.7	25.1	3.5	3.0
	無回答	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

【衣料品1～3位合計】

(単位：人、%)

		合計	個人店舗	ケストパーマー	飲食チェーン店	コンビニ	ホームセンター	ドラッグストア	生協	モールのショッピング	農産物直売所	インターネット販売	無回答
性別	全体	781	28.2	31.0	0.0	0.6	15.1	1.8	6.1	86.2	0.0	38.3	5.6
	男性	297	29.6	36.0	0.0	1.3	25.6	2.4	4.0	85.5	0.0	38.0	5.1
	女性	476	26.7	27.9	0.0	0.2	8.6	1.5	7.6	86.8	0.0	38.4	5.9
	未記入	4	75.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	75.0	0.0	50.0	0.0
	無回答	4	50.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	75.0	0.0	25.0	25.0
年代	20歳未満	15	40.0	6.7	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	100.0	0.0	66.7	0.0
	20歳代	56	16.1	16.1	0.0	0.0	14.3	1.8	5.4	89.3	0.0	55.4	3.6
	30歳代	85	21.2	21.2	0.0	0.0	16.5	1.2	4.7	92.9	0.0	58.8	3.5
	40歳代	120	16.7	18.3	0.0	1.7	13.3	3.3	4.2	92.5	0.0	50.0	5.0
	50歳代	130	20.0	36.9	0.0	0.8	16.2	1.5	6.9	93.8	0.0	37.7	1.5
	60歳代	197	34.5	39.6	0.0	1.0	15.2	1.5	9.1	83.8	0.0	32.0	5.6
	70歳代	174	42.0	37.4	0.0	0.0	14.9	1.7	5.2	74.1	0.0	20.7	10.9
	80歳代以上	2	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	無回答	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0
居住地区	久喜地区	331	27.2	34.4	0.0	0.9	15.7	2.1	4.8	86.1	0.0	39.0	4.2
	菖蒲地区	108	36.1	11.1	0.0	0.0	16.7	3.7	8.3	88.0	0.0	33.3	9.3
	栗橋地区	142	30.3	36.6	0.0	1.4	16.2	0.0	7.0	80.3	0.0	37.3	6.3
	鷺宮地区	199	24.1	32.2	0.0	0.0	12.6	1.5	6.5	89.9	0.0	40.7	5.0
	無回答	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

【日用品1～3位合計】

(単位：人、%)

		合計	個人店舗	ケストパーマー	飲食チェーン店	コンビニ	ホームセンター	ドラッグストア	生協	モールのショッピング	農産物直売所	インターネット販売	無回答
性別	全体	781	6.3	58.0	0.0	9.0	63.9	70.6	7.2	32.5	0.4	8.7	4.4
	男性	297	10.1	56.9	0.0	13.8	62.6	60.6	5.1	33.0	0.7	10.4	4.7
	女性	476	3.6	58.8	0.0	5.9	64.7	76.5	8.6	32.1	0.2	7.8	4.2
	未記入	4	25.0	50.0	0.0	25.0	25.0	100.0	0.0	75.0	0.0	0.0	0.0
	無回答	4	25.0	50.0	0.0	0.0	100.0	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
年代	20歳未満	15	0.0	40.0	0.0	40.0	46.7	86.7	0.0	20.0	0.0	13.3	6.7
	20歳代	56	1.8	53.6	0.0	17.9	46.4	80.4	0.0	39.3	0.0	14.3	5.4
	30歳代	85	4.7	51.8	0.0	7.1	62.4	80.0	4.7	47.1	0.0	15.3	2.4
	40歳代	120	1.7	52.5	0.0	7.5	68.3	81.7	5.8	35.0	0.0	13.3	3.3
	50歳代	130	3.1	64.6	0.0	5.4	73.1	76.9	7.7	28.5	0.0	12.3	1.5
	60歳代	197	10.7	61.4	0.0	8.1	67.0	61.9	10.7	29.9	0.5	3.6	4.6
	70歳代	174	9.8	59.2	0.0	9.2	58.6	59.2	8.0	28.7	1.1	3.4	7.5
	80歳代以上	2	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無回答	2	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
居住地区	久喜地区	331	7.6	58.3	0.0	10.0	59.8	71.9	8.2	33.8	0.9	8.2	3.9
	菖蒲地区	108	6.5	40.7	0.0	8.3	62.0	75.9	6.5	41.7	0.0	8.3	9.3
	栗橋地区	142	4.2	66.2	0.0	9.9	71.1	69.0	9.2	16.9	0.0	12.7	3.5
	鷺宮地区	199	5.5	61.3	0.0	7.0	66.3	66.3	4.5	36.7	0.0	7.0	3.0
	無回答	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

【外食1～3位合計】

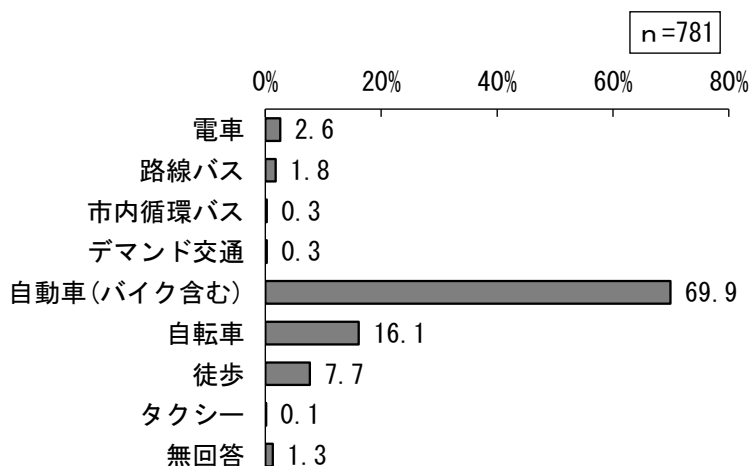
(単位：人、%)

	合計	個人店舗	スーパーマーケット	飲食チェーン店	コンビニ	ホームセンター	ドラッグストア	生協	ショッピングモール	農産物直売所	インターネット・通信販売	無回答
全体	781	55.1	5.6	85.1	16.6	1.3	0.4	0.1	62.1	1.0	0.3	8.2
性別	男性	297	57.2	6.4	84.2	21.9	1.3	1.0	58.6	1.0	0.3	9.4
	女性	476	53.6	4.8	85.9	13.4	1.3	0.0	64.7	1.1	0.2	7.6
	未記入	4	75.0	25.0	75.0	25.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	無回答	4	50.0	25.0	75.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0
年代	20歳未満	15	26.7	13.3	100.0	26.7	0.0	0.0	73.3	0.0	0.0	0.0
	20歳代	56	46.4	1.8	76.8	30.4	3.6	0.0	66.1	0.0	0.0	8.9
	30歳代	85	43.5	11.8	90.6	29.4	1.2	0.0	68.2	0.0	0.0	4.7
	40歳代	120	55.0	1.7	90.8	15.0	0.8	0.0	71.7	0.0	0.0	5.8
	50歳代	130	65.4	3.8	93.1	10.8	1.5	0.0	76.2	0.0	0.8	2.3
	60歳代	197	56.3	6.1	81.7	14.2	1.5	1.5	62.9	1.5	0.0	9.6
	70歳代	174	58.0	6.9	77.6	13.8	0.6	0.0	39.7	2.9	0.6	14.9
	80歳代以上	2	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	2	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	
居住地区	久喜地区	331	57.1	5.1	87.6	16.9	0.3	0.3	64.0	0.9	0.0	7.6
	菖蒲地区	108	49.1	1.9	77.8	16.7	0.9	0.9	65.7	3.7	0.0	11.1
	栗橋地区	142	50.0	7.7	85.2	18.3	3.5	0.7	56.3	0.0	1.4	9.9
	鷺宮地区	199	58.8	7.0	84.9	15.1	1.5	0.0	61.3	0.5	0.0	6.5
	無回答	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問11 よく利用する市内の店舗への交通手段は何ですか。

市内店舗への交通手段について、「自動車(バイク含む)」が69.9%で最も高く、次いで「自転車」(16.1%)、「徒歩」(7.7%)となっています。

年代別にみると、特に30歳代から50歳代で「自動車(バイク含む)」の割合が高くなっています。20歳未満では他の年代に比べて「電車」の割合が高く、70歳代では他の年代に比べて「自転車」の割合が高くなっています。



■性別・年代・居住地区別

(単位：人、%)

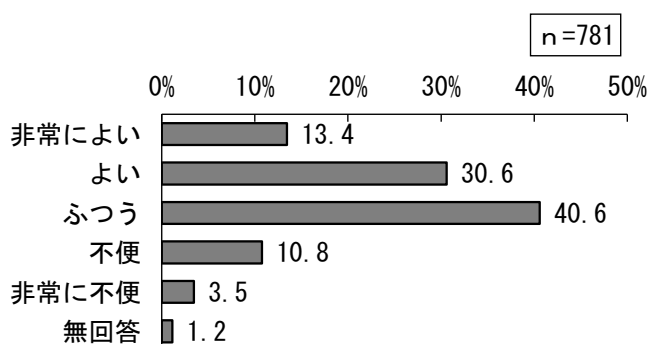
		合計	電車	路線バス	市内循環バス	デマンド交通	自動車(バイク含む)	自転車	徒歩	タクシー	無回答
性別	全体	781	2.6	1.8	0.3	0.3	69.9	16.1	7.7	0.1	1.3
	男性	297	2.7	0.7	0.0	0.3	74.7	13.5	7.1	0.0	1.0
	女性	476	2.5	2.5	0.4	0.2	66.8	17.9	8.0	0.2	1.5
	未記入	4	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無回答	4	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	25.0	25.0	0.0	0.0
年代	20歳未満	15	26.7	0.0	0.0	0.0	53.3	20.0	0.0	0.0	0.0
	20歳代	56	7.1	0.0	0.0	1.8	58.9	17.9	12.5	0.0	1.8
	30歳代	85	2.4	1.2	1.2	0.0	76.5	10.6	8.2	0.0	0.0
	40歳代	120	2.5	0.8	0.0	0.0	80.0	10.0	3.3	0.0	3.3
	50歳代	130	0.8	0.8	0.0	0.0	80.0	12.3	5.4	0.0	0.8
	60歳代	197	1.5	1.5	0.0	0.0	73.1	15.2	7.1	0.5	1.0
	70歳代	174	1.7	4.6	0.6	0.6	54.0	25.3	12.1	0.0	1.1
	80歳代以上	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	無回答	2	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
居住地区	久喜地区	331	0.9	2.7	0.6	0.3	65.6	17.8	10.6	0.0	1.5
	菖蒲地区	108	0.0	4.6	0.0	0.9	72.2	16.7	1.9	0.9	2.8
	栗橋地区	142	6.3	0.0	0.0	0.0	78.2	10.6	4.2	0.0	0.7
	鷺宮地区	199	4.0	0.0	0.0	0.0	69.8	17.1	8.5	0.0	0.5
	無回答	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問12 日常の買い物の利便性について、該当する番号を回答欄にご記入ください。

日常の買い物の利便性について「ふつう」が40.6%で最も高く、「非常によい」(13.4%)と「よい」を合わせた『よい』が44.0%、「不便」(10.8%)と「非常に不便」(3.5%)を合わせた『不便』が14.3%となっています。

年代別にみると、20歳代で『不便』の割合が他の年代と比べて高く、40歳代では『よい』の割合が他の年代と比べて高くなっています。

地区別では、鷺宮地区で『よい』の割合が高くなっています。



■性別・年代・居住地区別

(単位：人、%)

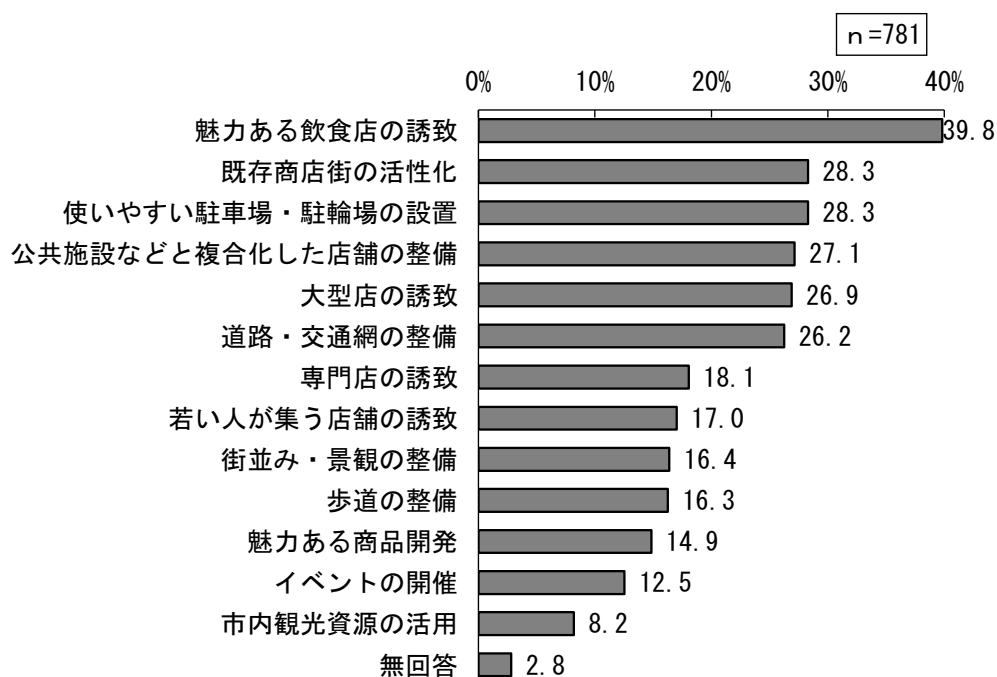
		合計	非常によい	よい	ふつう	不便	非常に不便	無回答
全体		781	13.4	30.6	40.6	10.8	3.5	1.2
性別	男性	297	15.5	32.3	40.1	8.8	2.4	1.0
	女性	476	12.4	29.4	40.5	12.2	4.2	1.3
	未記入	4	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	無回答	4	0.0	25.0	75.0	0.0	0.0	0.0
年代	20歳未満	15	20.0	20.0	46.7	13.3	0.0	0.0
	20歳代	56	19.6	17.9	33.9	14.3	14.3	0.0
	30歳代	85	11.8	34.1	41.2	10.6	1.2	1.2
	40歳代	120	18.3	36.7	30.8	7.5	4.2	2.5
	50歳代	130	10.8	36.2	38.5	12.3	1.5	0.8
	60歳代	197	10.2	28.9	46.7	11.7	2.0	0.5
	70歳代	174	14.4	28.2	42.0	9.8	4.0	1.7
	80歳代以上	2	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
居住地区	久喜地区	331	14.5	32.0	38.7	10.3	3.0	1.5
	菖蒲地区	108	6.5	25.0	44.4	13.0	9.3	1.9
	栗橋地区	142	7.7	22.5	48.6	16.9	3.5	0.7
	鷺宮地区	199	19.6	37.2	35.7	6.0	1.0	0.5
	無回答	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0

問13 本市商業がにぎわい、魅力あるものとなるためにはどうしたら良いと考えますか。該当する番号を最大3つまで回答欄にご記入ください。

本市商業がにぎわい、魅力あるものとなるための取り組みについて、「魅力ある飲食店の誘致」が39.8%で最も高く、次いで「既存商店街の活性化」、「使いやすい駐車場・駐輪場の設置」(各28.3%)と続いています。

年代別にみると、30歳代以下では「大型店の誘致」の割合が他の年代に比べて高くなっています。60歳代・70歳代では「既存商店街の活性化」が最も高くなっています。

地区別にみると、特に栗橋地区で「魅力ある飲食店の誘致」の割合が5割以上と高くなっています。菖蒲地区では「道路・交通網の整備」の割合が約4割で最も高くなっています。



■性別・年代・居住地区別

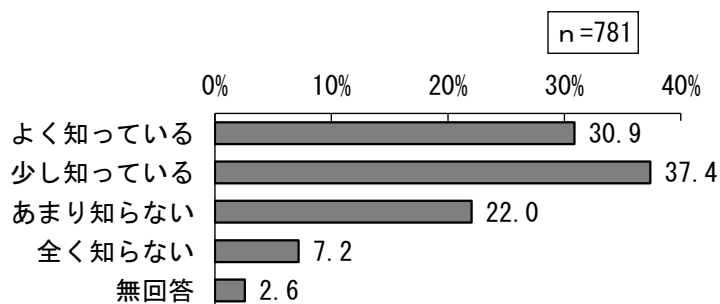
(単位：人、%)

	合計	大型店の誘致	専門店の誘致	魅力ある飲食店の誘致	イベントの開催	若い人が集う店舗の誘致	既存商店街の活性化	魅力ある商品開発	駐輪場の設置	使いやすい駐車場・	公共施設などの複合化した店舗の整備	道路・交通網の整備	歩道の整備	街並み・景観の整備	市内観光資源の活用	無回答
全体	781	26.9	18.1	39.8	12.5	17.0	28.3	14.9	28.3	27.1	26.2	16.3	16.4	8.2	2.8	
性別	男性	297	25.6	18.9	38.0	13.1	17.2	26.9	10.1	31.3	27.9	26.9	18.2	17.8	10.1	2.4
	女性	476	28.2	17.9	40.5	12.4	16.8	29.0	18.1	26.5	26.7	25.4	15.1	15.8	6.9	2.9
	未記入	4	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	50.0	0.0	50.0	25.0	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無回答	4	0.0	0.0	75.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	25.0	25.0	25.0	0.0	25.0	25.0
年代	20歳未満	15	53.3	26.7	60.0	13.3	60.0	6.7	20.0	13.3	13.3	6.7	6.7	6.7	0.0	0.0
	20歳代	56	41.1	21.4	41.1	19.6	37.5	12.5	5.4	26.8	17.9	21.4	3.6	16.1	1.8	5.4
	30歳代	85	35.3	28.2	49.4	16.5	14.1	17.6	3.5	28.2	30.6	35.3	14.1	16.5	5.9	1.2
	40歳代	120	30.0	15.8	42.5	15.0	18.3	20.8	16.7	30.0	20.8	30.0	14.2	15.8	10.0	3.3
	50歳代	130	28.5	20.0	43.1	10.0	15.4	26.9	14.6	34.6	25.4	26.2	12.3	16.9	6.2	1.5
	60歳代	197	17.8	15.7	34.5	9.6	14.2	38.1	17.3	24.9	29.9	28.4	15.7	21.3	13.2	2.0
	70歳代	174	23.0	14.4	34.5	12.1	11.5	35.1	19.5	28.2	32.8	20.7	27.0	11.5	6.3	4.6
	80歳代以上	2	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0
無回答	2	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	
居住地区	久喜地区	331	24.8	16.6	35.0	13.3	16.6	30.2	16.6	31.4	28.4	23.6	16.6	16.9	7.3	3.6
	菖蒲地区	108	34.3	14.8	37.0	11.1	15.7	25.0	15.7	24.1	18.5	38.9	15.7	16.7	9.3	2.8
	栗橋地区	142	32.4	24.6	52.1	14.1	19.7	25.4	9.9	21.1	26.8	24.6	12.0	16.9	5.6	2.1
	鷺宮地区	199	22.6	17.6	40.2	11.1	16.6	29.1	15.1	30.7	30.2	25.1	19.1	15.1	10.6	2.0
	無回答	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0

問14 地産地消について、該当する番号を回答欄にご記入ください。

地産地消について、「よく知っている」が 30.9%、「少し知っている」が 37.4%、「あまり知らない」が 22.0%、「全く知らない」が 7.2%となっています。

年代別にみると、20 歳未満で「よく知っている」の割合が低く、60 歳代で「よく知っている」の割合が高くなっています。



■性別・年代・居住地区別

(単位：人、%)

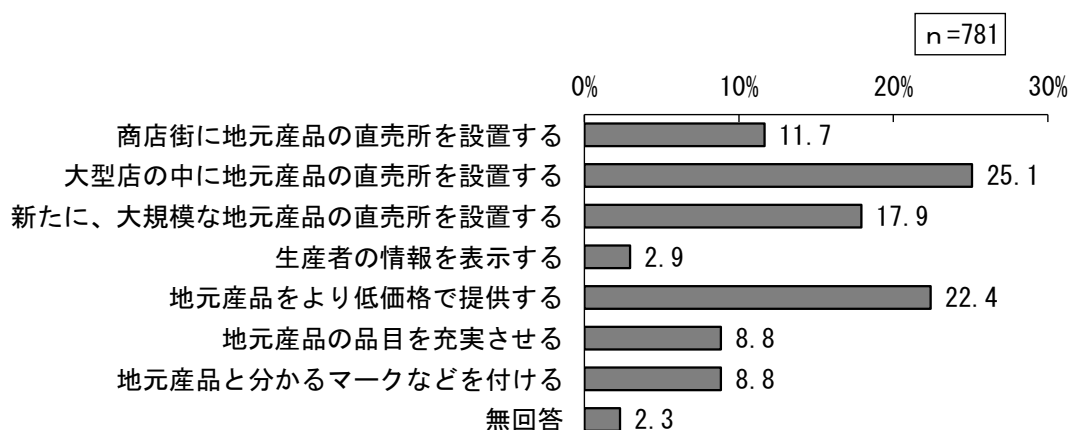
		合計	よく知っ ている	少し知っ ている	あまり知ら ない	全く知らな い	無回答
性別	全体	781	30.9	37.4	22.0	7.2	2.6
	男性	297	38.4	35.0	17.2	6.4	3.0
	女性	476	26.3	39.3	24.4	7.8	2.3
	未記入	4	0.0	25.0	75.0	0.0	0.0
	無回答	4	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0
年代	20歳未満	15	13.3	26.7	40.0	20.0	0.0
	20歳代	56	25.0	39.3	19.6	12.5	3.6
	30歳代	85	20.0	41.2	28.2	10.6	0.0
	40歳代	120	35.0	37.5	18.3	6.7	2.5
	50歳代	130	33.8	40.0	16.9	6.9	2.3
	60歳代	197	39.1	35.5	20.3	3.6	1.5
	70歳代	174	25.9	36.2	25.3	7.5	5.2
	80歳代以上	2	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0
	無回答	2	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
居住地区	久喜地区	331	31.7	41.1	17.2	6.6	3.3
	菖蒲地区	108	31.5	38.0	24.1	3.7	2.8
	栗橋地区	142	27.5	34.5	25.4	11.3	1.4
	鷺宮地区	199	31.7	33.2	26.1	7.0	2.0
	無回答	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0

問15 地産地消を進めるためにどうしたらよいと考えますか。

地産地消を進めるための取り組みについて、「大型店の中に地元産品の直売所を設置する」が25.1%で最も高く、次いで「地元産品をより低価格で提供する」(22.4%)、「新たに、大規模な地元産品の直売所を設置する」(17.9%)と続いています。

年代別にみると、特に30歳代から50歳代で「大型店の中に地元産品の直売所を設置する」の割合が高く、20歳代以下および60歳代以上では「地元産品をより低価格で提供する」の割合が最も高くなっています。

地区別でみると、菖蒲地区、久喜地区では「大型店の中に地元産品の直売所を設置する」の割合が最も高くなっています。



■性別・年代・居住地区別

(単位：人、%)

		合計	置品商店街に直売所を設置する	を元大型店の直売所に設置する	売な新たに、大規模な直売所を設置する	表示生産者の情報を	る低地元産品をより提供する	を地元産品の品目を充実させる	付けるマークなどを付ける	地元産品と分かる	無回答
全体		781	11.7	25.1	17.9	2.9	22.4	8.8	8.8	2.3	
性別	男性	297	11.4	26.6	16.8	3.4	19.9	8.8	10.8	2.4	
	女性	476	12.0	24.2	18.7	2.7	23.7	8.8	7.6	2.3	
	未記入	4	0.0	25.0	0.0	0.0	25.0	25.0	25.0	0.0	
	無回答	4	0.0	25.0	25.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	
年代	20歳未満	15	26.7	13.3	26.7	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	
	20歳代	56	7.1	26.8	17.9	1.8	30.4	3.6	8.9	3.6	
	30歳代	85	5.9	40.0	16.5	1.2	16.5	8.2	11.8	0.0	
	40歳代	120	10.8	34.2	15.0	4.2	20.8	3.3	10.0	1.7	
	50歳代	130	8.5	30.0	23.8	3.1	16.9	6.9	10.0	0.8	
	60歳代	197	11.2	17.8	19.3	3.0	21.8	14.2	10.7	2.0	
	70歳代	174	18.4	16.7	14.4	3.4	27.0	10.3	4.6	5.2	
	80歳代以上	2	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	
居住地区	無回答	2	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	
	久喜地区	331	11.2	22.7	20.8	1.8	23.9	8.8	8.2	2.7	
	菖蒲地区	108	7.4	19.4	17.6	6.5	25.9	10.2	9.3	3.7	
	栗橋地区	142	14.1	34.5	15.5	2.8	18.3	8.5	5.6	0.7	
	鷺宮地区	199	13.1	25.6	15.1	3.0	20.6	8.5	12.1	2.0	
無回答	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0		

＜自由記述＞ 最後に、日常の消費生活に関するご要望やご意見などお気づきの点がございましたらお聞かせください。

No	年代	居住地区	自由意見
1	10代男性	久喜地区	地元産品だけで勝負するには無理がある。他地域・他県等と協力して、魅力ある商品を開発・充実させたほうが良い。
2	10代女性	久喜地区	久喜は娯楽施設などあまりなく、買物、遊びには大宮・東京まで出かけてしまいます。もっと休日も楽しめる(イベント等)市にしていきたいです。
3	10代女性	鷲宮地区	個人店、専門店も、活気溢れる市に。
4	20代男性	久喜地区	商店街には駐車場がなく、近年、駐車違反の取締りが厳しいので、各商店の前に、短時間駐車できるスペースがあると行きやすくなると思う。
5	20代男性	久喜地区	設問15……買いたくなるような演出。店、もしくはコーナーのディスプレイ、モノの宣伝工夫。(パッケージのデザイン等)
6	20代男性	栗橋地区	活発な都市は、若い人の好むような店(現代的な店)が多い気がしますし、さいたまスーパーアリーナのような建物でライブイベントなどを催せば、更に盛り上がる気もします。日本人口は減っていく一方で、一都三県の人口は増え続けているので、思い切った改革をやってみるのもアリかなと私は思います。
7	20代男性	栗橋地区	・路線バスをもっと充実してほしい。夏季はオープンバスにするなど、何か特長があれば観光につながるのでは?と思います。 ・自然をもっと売りにして、花の街・森の街・馬車の街など、何か目玉を作るべきです。
8	20代男性	栗橋地区	僕の住んでいる栗橋地区は、駅から自宅まで、ほとんどの店のシャッターが閉まっています。地域の若い人達が外部で働いて地元にはいないためだと思う。もっと地元での仕事があったら良いと思う。
9	20代男性	鷲宮地区	鷲宮駅・東鷲宮駅周辺に店が少ないため、駅利用者が利用しやすい店を増やすなど、対策をしたほうが良いと思う。
10	20代男性	鷲宮地区	・東鷲宮駅を利用しているが、駐輪場が有料となり大変困っている。自転車を日頃から利用している者として、駅周辺の利便性は悪化していると思う。地元の人が利用しにくい環境となっている。 ・生産者の元へ直接買いに行けるように、マップがあるといい。地元で作られたとわかるし、生産者もわかる。その上、本当の産地で採れた美味しいものを手にすることができると思う。トマトはどこで買える、キャベツはどこで買える、梨はどこで買える、イチゴはどこで買える……といったマップがあれば、直接買いに行くことができ、地産地消にもつながり、いいと思う。あれば、実際に利用・活用したい。
11	20代女性	久喜地区	・個人店舗の笑顔やサービス精神などが薄く、足を踏み入れるのを躊躇してしまう。もう少し入りやすい環境であると嬉しいと思う。 ・一時期、話の出ていた映画館の設立をぜひ進めてほしい。旧久喜市に映画館がないのが少し大変。(いつもモラージュまで車で行くので…)

No	年代	居住地区	自由意見
			・最近の流行などを理解してもらい、他市や他県のようにアニメやドラマなどを活用した売り方をしてみたら、若者を中心に賑わいを見せるのではないかと思うことが多々ある。
12	20代女性	久喜地区	・イベントを通して、いろいろな体験や地元の食べ物を知れたらなど(広報紙にでも)。 ・子育て支援センター等で時々お店を出してくれると、子供を遊ばせながら買物ができる。
13	20代女性	久喜地区	市内で衣料品を購入する時は、モラージュやアリオを利用しますが、バスの本数が少ないため、あまり利用しません。久喜駅の周辺には、クッキープラザやイトーヨーカドーがありますが、若者向けの衣料品はあまり見かけないので、食料品を購入するくらいしか利用しません。何年前のことで、イトーヨーカドー内にキデイランドがあり、ワクワクしながらイトーヨーカドーに足を運んだのを覚えています。帰りには上のレストランで食事するのが楽しみでした。アクセスのしやすさや、心惹かれる店舗があれば利用回数は増えると思います。地産地消についてはあまり知らないのですが、市民の方がよく利用する場所や地元情報誌等で分かりやすくアピールがあると良いと思います。今は学生・社会人だけでなく、幅広い世代で SNS を利用していたり見たりすると思うので、写真を撮りたくなるアピールの仕方も良いと思います。あと……久喜駅東口の東武ブックス閉店後、駅前が暗くて寂しいです。
14	20代女性	久喜地区	“道の駅”などで成功している所が多くあるので、話題になるようなものがあれば集客ができ、活性化につながるかもしれません。古河の道の駅(まぐらがの里こが)には、地元の野菜もたくさん置いてあり、品質も良いため、混んでいるような気がします。
15	20代女性	久喜地区	隣の県(茨城・群馬)に比べて品質が悪いので、県をまたいで買物をすることが多いです。
16	20代女性	菖蒲地区	・バス路線の増設(近隣の駅へ乗り入れ)を実施して頂きたい。 ・久喜市内の整備でなく、未整備の地区(近隣の市町村との境がひどすぎると思う)の開発をしてほしい。
17	20代女性	菖蒲地区	マミーマート菖蒲店では、高騰化が目立つ野菜でも、地元産品はお安く提供頂いているので助かります。もっと量や種類が増えたり、夜遅くでも利用できるスーパーが近所に導入されるとありがたいです。
18	20代女性	菖蒲地区	・役場、銀行、郵便局をまとめてほしい。こうなったら、モラージュ近辺に移転しては？ ・駅が無いのが、もはや致命的。市内循環バスも無い。年寄りになったら住めない。 ・大資本を持つ大型店を、より“利用”して、お互いにギブ&テイクの精神で行きましょう。だって皆大型店に行ってしまうもの。
19	20代女性	菖蒲地区	久喜市になっても、あまりに広すぎ。菖蒲地区の端に住むため、桶川・北本に行くのが便利なので、久喜市はとても住みにくい！ この市を良くする

No	年代	居住地区	自由意見
			ためには、人口を増やすことが大切！ 人が少ないと、商業も消費もこのままだと思う。
20	20代女性	栗橋地区	<ul style="list-style-type: none"> ・飲食店が少ない。あっても車でないと厳しかったりするため、なかなか行けない。スーパーは揃っていて良いと思うが、ファーストフードも増やしてほしい。子供が食べたいと思うような飲食店があると嬉しいです。 ・市内循環バスを栗橋にもつくてほしいです。自分が運転できないので、雨の日に子供を連れて買物など出かけるのは本当に不便。バスがあれば少し遠い所でも行こうかなと思うので、地域活性化にも繋がるのではないかと思います。
21	20代女性	栗橋地区	歩いていける範囲にスーパーが無いので、お年寄りが大変そうです。
22	20代女性	栗橋地区	栗橋の商店街の活性化と有効活用を願う。大きなショッピングセンターが栗橋だけ無く、駅周辺に店がほぼ無いので、不便と感じている。
23	20代女性	鷺宮地区	駅前で少し休憩したり、談笑するようなカフェや飲食店が全くないので不便です(東鷺宮駅前)。最近、東鷺宮駅を利用する若い世代の層が増えたので、利用するニーズはあると思います。
24	20代女性	鷺宮地区	<ul style="list-style-type: none"> ・地元産の野菜が少し高く、手が伸ばしにくい。(野菜に限らないが) ・種類が少ない。 ・販売場所に、作るのに何向きなのか(煮る・焼く・蒸す・揚げる等)ワンポイントアドバイスなどがあると手が伸ばしやすいし、若者の手に届きやすくなるかと思う。 ・買物に行くと、いつも渋滞に巻き込まれるので、億劫に感じる。
25	20代女性	鷺宮地区	<ul style="list-style-type: none"> ・地元の昔ながらの商店街へ行きたいと思っはいますが、駐車場がなく、ショッピングモールへ行ってしまふのが現実です。小さい子がいるので、「お肉屋さん」「八百屋さん」などの専門店で買物をして、感覚を身に付けさせたいです(スーパーでなく)。 ・鷺宮神社前の商店街が活性化したら嬉しいです。 ・東鷺宮駅の反対側に行きづらく、買物が制限されてしまいます。自転車でも通りやすくなるようにして下さい。(高架 or 踏切など)
26	30代男性	久喜地区	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者のいる世帯になるので、一度で様々な用事が済むショッピングモール(アリオ、モラージュ等)をよく利用します。近くにスーパーマーケット等がないため、車での移動が主です。ただ、父も母もさらに歳をとった時に、気軽に行ける距離に買物ができる所がないのは不便です。宅配スーパー等を利用するようになっていきます。 ・久喜には特色ある魅力的な街になってほしいです。より多くの人が久喜に来るには、ソフト面(子育て支援の充実、高齢者支援)もそうですが、ハード面(街づくり、見てわかる特色)の充実も必要と思います。人が通り過ぎる街でなく、立ち寄り留まる街になってほしいです。
27	30代男性	久喜地区	アリオ→ニトリ→コジマの通りが渋滞します。流れを良くして下さい。
28	30代男性	久喜地区	久喜駅前生活しています。普段は徒歩圏内で買物や飲食が済んでしまい、不自由はありません。スーパーや日用品を扱う店舗は、これ以上必要なく、現状を維持すること。既存の施設を使って新たな取り組み行うべきで

No	年代	居住地区	自由意見
			あると考えます。足りない部分を挙げるなら、飲食店が少ないように感じます。駅前、居酒屋は充実していますが、食事をする所が充実しても良いと思います。東京からのアクセスの良さを生かして、久喜駅周辺の充実を図ってほしいです。郊外型の大規模な商業施設は現在十分に整備されており、誘致の必要はありません。整備すれば道路や交通網整備も必須となり、莫大なお金がかかります。既存の施設、資源等を有効に使うことを考えていただきたい。地産地消に関しても、直売所設置ではなく、居酒屋さんに使ってもらいPRしてもらおうなどを考えたほうが良いのでは。
29	30代男性	久喜地区	道の駅を作ってください。
30	30代男性	久喜地区	・久喜工業周辺の道路の整備。軽自動車も通れない道があり。30年前と変わらない風景です。 ・久喜提灯祭りの時に、久喜の特産品の宣伝等をする。
31	30代男性	久喜地区	駅前の活性化
32	30代男性	久喜地区	地産地消に賛同します。我家も推進していきます。
33	30代男性	久喜地区	久喜市というイメージが湧かない。加須は鯉のぼり、幸手は桜があるのに。久喜ならではのものは何なのか？を考えて下さい。
34	30代男性	久喜地区	通勤が電車であるが、駅周辺で買物できる所が少なく、充実させてほしい。他市町村では、道の駅が賑わっているが、久喜市にはなく、地元の農産物などをアピールできていない。また、買いやすい環境がないと思える。ショッピングモールはもう大型の店舗が複数あるので、別のアプローチで地元産品の販売店を充実させてほしい。
35	30代男性	菖蒲地区	栃木県の壬生町、群馬県の藤岡パーキングエリアのように、圏央道菖蒲パーキングエリアの隣に道の駅を設置して、高速道路PAからも利用できるハイウェイオアシスとして、地元産品の直売所を設置して、地産地消、地域の活性化につなげてほしい。
36	30代男性	栗橋地区	市街地の渋滞がひどく、郊外・市外で買物をすることが多い。
37	30代男性	栗橋地区	これからも地域活性化につながる利便性を追求してほしい。
38	30代男性	栗橋地区	公共のバス・電車などが分かりづらい。東京等はバスで移動も便利で活用していた。小さい子供がいて車のない方は、バスを活用できれば外に出やすくなると思う。
39	30代女性	久喜地区	・ベシア、しまむら、セキ薬、カインズ、サンキがまとまる店が理想。 ・もっと安いお店があると良い。
40	30代女性	久喜地区	・東口にスーパーが少ないのが残念。マルヤとマルエツさんぐらい。 ・小・中学校用品を揃えるのに、タムラさんしかないのは不便。 ・東口駅前通りの商店街の賑わいが少ない。西口はお祭りなど賑わうが、東口は淋しい。
41	30代女性	久喜地区	目黒不動前のようなアーケード街が駅前通にあつたら、素敵だしいなと思います。今の駅前通り(西口のちょうちん祭通り)は、飲み屋さんが多く、夜は賑わっているイメージがあります。また、道が少し狭く、自転車でも車でも通るのが怖い道だと思います。アーケード街になれば、日中も商店街

No	年代	居住地区	自由意見
			の利用が増え、賑わいのある通りになって、地産地消も進められるのではないかと思います。
42	30代女性	久喜地区	久喜駅東口にも、駅近くにスーパーやドラッグストアなど(居酒屋だけでなく)、飲食店もあると便利に感じる。
43	30代女性	菖蒲地区	菖蒲地区にはコンビニが少ない。菖蒲道の駅～モラージュの県道沿いにはローソン2件、ファミマ1件あるが、コメリ方面にないのが非常に不便。今はヤオコーまで歩いて行けるが、年老いた時に不安を感じる。現在、高齢者のみの世帯の人は買物に不便していると思う。実際、ヤオコーに来ている高齢の人は皆、車で来ている。ということは、免許返納後はどうなるのだろうか、と思うのですが、改善などありましたらお願いします。
44	30代女性	菖蒲地区	専門店の数が少ない。確かで品質の良い物、信用第一でお願いしたいと思います。買物を楽しめるような環境を考え、実行してほしいです。人の行き来が多く、人口が増えますよう、老いも若きものびのびと参画できますよう、発展することをお願いしたいと思います。
45	30代女性	菖蒲地区	久喜市内(中心部)の活性化だけでは、問題の解決にはならないと思う。中心から外の部分にも目を向け、市全体で盛り上げていく必要があると思う。時代の流れについていけないと、活性化や魅力ある街づくりには遠い。たださえ少子高齢化が進んでいること、区画整理や市外から入って来たいと思うような街、メリットのある街にしていけないと、誰も住まない市になってしまう。家族と家があるから、今の地で生活と考えるが、一人身であれば市外での生活を望む。菖蒲の街中の商店は、営業しているのかわからないような状況。他市を真似して、良いところは取り入れてほしい。スーパーの数も限られていて、日用品に関しては市外の店舗を利用している。高速が開通し、賑わうかと思ったが、変わっていない。日常の消費にかけるお金も、働く場所が選べなければ金銭も得ることはできない。市を活性化させるためには、何よりも環境を整える必要があると思う。
46	30代女性	鷲宮地区	地産地消に関して、今では直売所以外、スーパーでのみ見かけるようになりました。しかし、ただコーナーがあるだけである。地元での消費を目指すのであれば、情報を消費者に出していくべきである。生産者の情報、農作物の紹介、料理レシピの紹介など。
47	30代女性	鷲宮地区	・地元で買物をする人は、車・自転車の人が多いので、道路の拡張・駐車(輪)場の幅をゆとりあるものにしてもらいたい。風が強くて車のドアがおおられて隣の車にぶつけてしまったことがあり、買物には天候を選んでいる。 ・直売所が増えると良い。
48	30代女性	鷲宮地区	プレミアム商品券をまた復活させてほしいです。
49	30代女性	鷲宮地区	地産地消について。学校給食にもっと取り入れてみては？ いちごや梨などが久喜市の名産であることを、子供達にも知ってほしい。
50	30代女性	鷲宮地区	栗橋地区内は、そこまで栄えているとは言い難いですが、車・電車等で15～20分内に商業施設もあり、これ以上の大型商業施設を作っても、そこまでの盛り上がりを見込めるとは思いません。電車で、1時間で都内に出入

No	年代	居住地区	自由意見
			れることから、環境整備＋マンション等の誘致のほうが、人口増加の意味では人が栄えるのでは…と感じます。
51	30代女性	鷺宮地区	鷺宮にはアリオ、菖蒲にはモラージュがあり、どちらも車で20分以内に着くので、とても便利に感じます。ただ交通渋滞が、特に土・日にアリオ周辺であるので、何とかしていただきたいです。
52	30代女性	鷺宮地区	・駅から家が離れているため、できれば市内バスの路線の拡大と本数が増えたら、とても助かります。 ・神社通りの商店街の活気があればいいと思う。神社を見物に来る方のカフェや飲食店等も充実してもらいたい。
53	30代女性	鷺宮地区	数年前に比べると利便性は上がったようですが、市外から転入した者からすると、少し不便に感じます。道がわかりづらい、狭い、が多く、車で出かけることが多い地域なのに不便だと感じます。ショッピングセンターが周りに出来て、買物もしやすくなりましたが、久喜駅・鷺宮駅前をもう少し活性化してほしいです。特に東鷺宮駅には何もなくなってしまい、使いづらいです。コンビニぐらいほしいです。(西口)
54	30代女性	鷺宮地区	東鷺宮駅西口にお店(コンビニ、スーパーマーケット、ドラッグストア等)ができる大変助かります。
55	40代男性	久喜地区	すでにとっくに退去した店舗の跡地や建物で、そのまま放置されているものが多い。
56	40代男性	久喜地区	個人事業主に対する手当を増やしてほしいと思います。公務員・会社員と比べて、賃金面において厳しいと思います。志がいくら高くても続けられないなと思います。
57	40代男性	久喜地区	高・低価格帯を明確にする。店舗の場所によって高・低の店舗を作り、どちらでも購入できるようにする。中間層は減少していることを認識し、良いものは高く、安いものは多く売れる店舗の二極化にする。
58	40代男性	久喜地区	久喜駅東口の活性化を望んでいます。既存店同士が一体化して、魅力を作してほしい。次に新規店を増やし、一緒にまちづくりをする仲間を増やしてほしい。祭りやイベントを通して、みんなに知ってもらう必要があります。地産地消を基礎とし、自分たちができることをやってほしい。東京のマネをしても続きません。大事なのはJRやバス、タクシーの公共交通機関との連携。それらが軌道に乗ってから、ロータリーなどのハードな面の整備。行政の役割も重要です。
59	40代男性	菖蒲地区	ラベンダー祭りの時の役場周辺の駐車場代を、タダではなく500円とか300円とか取るべきだと思う。それを、しらさぎ公園の整備費用にするなどしないと、ラベンダー山の惨状は見えないほどみっともなく、ラベンダー自体が誰も来なくなると思う。皆タダより、多少払ってもキレイな花が見たいと思う。しらさぎ公園はもったいなさ過ぎる!
60	40代男性	栗橋地区	・高齢化社会なので、高齢者が必要とするものを揃えた上で、アクセスしやすい場所や手段も整備したほうが良いかと思います。

No	年代	居住地区	自由意見
			<ul style="list-style-type: none"> ・地域社会は、中小規模の企業や団体が支えている部分が多いと思うので、そのような団体の仕事や活動を知る機会、またはアピールしていく機会がよりあったら良いのではないのでしょうか。 ・商品やサービスを大学や企業とコラボレーションすると認知力も高まるのではないかと。
61	40代男性	栗橋地区	<p>「地産地消」といっても、実際に自分たち地元の人々が消費するにも限度があると思う。だったら、他のエリアから来る消費者にもターゲットを拡げ、付加価値の高い商品を開発する方法も必要と思う。農作物の直売だけでなく、加工品やキャラクターとのコラボレーション、地元の有名店舗との協同開発など、「地元の商品だから買う」でなく「ココにしかないから買いに来る」が大切だと思う。</p>
62	40代男性	鷲宮地区	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の足になる、利便性の高い交通網の整備。 ・高齢者でも利用しやすい(生協的な)食品宅配サービスの充実。
63	40代男性	鷲宮地区	<ul style="list-style-type: none"> ・車がある人は買物がしやすいけど、持っていない人は公共交通機関がないと困る。全地域を巡るバスがほしい。 ・小さな子がいると買物が大変。託児施設がほしい。 ・久喜にも道の駅があったら、皆が寄ってくれると思う。
64	40代男性	鷲宮地区	<p>駅、駅周辺に全く魅力を感じられません。駅は市の顔です。雨の日でも駅から直接買物ができるビルがほしいです。閉店した東武ストアを何とかしてほしいです。また、スーパーの差別化ができていません。すべて「安い」という方向性で勝負しています。魅力がありません。お酒の種類が多いスーパー、魚のおいしいスーパー、珍しい海外輸入食品を取り揃えているスーパーなど、何かに特化したスーパーがほしいです。地産地消も値段でなく、味と鮮度、安心などで勝負すべきです。飲み屋が少ないです。大宮の日本酒の名店に、久喜で働いている人が毎週通っていました。その方の家は古河です。おいしい店があれば、電車に乗っても人は来ます。日本酒の金賞を3年連続受賞中の寒梅酒造さんを使って町興しをしてもいいのではないのでしょうか。</p>
65	40代女性	久喜地区	<p>すべてのものが西口に片寄りすぎている。東口に住んでいますが、役所・携帯ショップ・ファーストフード・ショッピングモール・レストラン・カラオケボックス…etc。東口には公園ばかりで店がほとんどない。利用するには橋を渡るか踏み切りを渡るしかなく、とても不便。我家は車がなく、移動は主に自転車です。自転車は車道を走れという割には、東口の駅前通りは車道に駐車スペースがあり、広い道路の割に車道は走りづらい。又、ジェーンのある通りには信号がないので、渡りたくても車が止まってくれず、ぜんぜん渡れない(横断歩道で待っていても)。せめて、手押し信号を付けてほしい。</p>
66	40代女性	久喜地区	<ul style="list-style-type: none"> ・大型スーパーは、一度に買物が済み便利ですが、魚・肉・野菜などの専門店があれば良いのと思うことがあります。 ・規模は小さくても、地元産品の直売所はもっとあっても良いのでは？(新鮮で安いものを皆さん求めています)

No	年代	居住地区	自由意見
			<p>・商店街の道路は道幅も狭く、歩いて通るのにも危険です。歩道を整備し、安全に歩けるようにするか、歩行者天国のアーケード(雨でも濡れない)の商店街であれば賑わうのではないのでしょうか？(毎年、久喜駅前で行われる市民祭りのイメージ)</p> <p>・久喜駅前の旧バス通り商店街の再開発を強く望みます。車とタクシーが通る道ですが、危ないです。</p>
67	40代女性	久喜地区	久喜駅東口側は、商店街が少なく淋しいので、地元の産業が発展していません。
68	40代女性	久喜地区	街の活性化のためには、大型店舗の誘致は必須であると思う。その反面、個人のお店や小さなスーパーマーケットがなくなるのも、少しの買物のために大型店に行くのは買いつらいし、駐車に時間が取られたりしてしまう。今は小学生の子どもがいるので痛感するが、新入生が減ってきている。もっと若い子育て世代の人が住みやすい町になるような工夫が必要なのかもしれない。
69	40代女性	久喜地区	久喜の東口側に大型スーパーなど無い。誘致してはどうか。
70	40代女性	久喜地区	大型店舗、ショッピングモールは非常に便利ではありますが、個人店舗や商店街を活性化し、地元密着を実感できる生活ができたら良いと思います。都内から引っ越してきたため、よりそういう生活を望んでいます。地元産の良質なものが増えて、手に取る機会も多くなれば、更に多少でも安価であれば、子育て世代にはとても嬉しいです。
71	40代女性	久喜地区	歩道が狭い所、無い所が多く、車にしても徒歩にしても危なく感じる。子供の飛び出し、老人の動作対応ができない道が多いと感じる。
72	40代女性	久喜地区	<p>・設問 15…仕事帰りの人が野菜等を買えるように、駅近く(駅直結)にあるといいと思う。夕方でも野菜が買えるのはいい。買いたい。</p> <p>・東側にもベルパロツソみたいな店があるといいと思う。</p> <p>・「ばど」や「クッキーズ」は、とても有効だと思う。</p>
73	40代女性	久喜地区	宮代町の新しい村、杉戸町のめぐりパークの直売所に、よく通っています。子どもも大人も癒される直売所ができるといいと思います。
74	40代女性	久喜地区	新鮮でおいしい野菜(多種類)を購入できる道の駅のような所があるといいです(久喜地区に)。もしくは、定期的にマルシェなど朝市のようなものが開催されると、買物の楽しみが増えそうです。
75	40代女性	久喜地区	市街化調整区域内には、店舗の規制があるため、高齢化が進むと住んでいる人達が高齢になった時、区域外まで行くことを考えると、もう少し食事ができる場所(レストラン、カフェ等)などを検討しても良いと思います。高齢者は車も乗らなくなるし、遠出しにくい。高齢の単身者は食事を毎回作るのも大変な人もいるから、買ってきたり外で食事をしたり。
76	40代女性	久喜地区	設問 10 なんかは、市外(行楽地)で消費するので回答に悩む。今、インターネットで何でも購入できる時代。忙しいし、出向く気分にならないことが多い。高齢者も多くなってほしいし、移動手段があれば、そして外出先に魅力的なものがあると知っていれば、行こうかな？という気持ちにはなる。久喜は本来、伝統のある街。歴史好きな人としては、又、高齢者に向けて

No	年代	居住地区	自由意見
			久喜の今・昔は、とても興味深い。米津家の墓が東京の東久留米にあることも友人を通して聞いたが、そういう街同士のつながりなんかもあると楽しいのかもしれない。あと、高齢者が多いのだから、消費というよりは健康維持のほうが大事だと思う。
77	40代女性	久喜地区	地元産品を使った菓子等の商品開発をし、道の駅のような施設を設置し、販売してはいかがでしょうか？ 梨のソフトクリームとか。
78	40代女性	久喜地区	市内の移動が主に自転車で、快適に走れるよう、道路整備をしてもらいたい。道を広げたり新しく造るより、今ある道路の整備をしてもらいたい。商店街に共用の自転車置き場があるといい。個人店には自転車置き場のない所も多いので、路上に止めることになってしまう。
79	40代女性	久喜地区	近くにコンビニがなく、ちょっとした物の買物に行くのも、車を使わなくてはいけない。どこかに集中した大型店も必要かもしれないけど、もっと点在して、商店街のような通りができて行ったほうが良いかと。
80	40代女性	菖蒲地区	<ul style="list-style-type: none"> ・菖蒲PAの有効活用(活性化への起因)を検討しないのですか？ PAから農協の直売所も近いのにもったいない。南彩菖蒲は、いちご狩りや梨のシーズンにはかなりの人手があり、活気がある。地産地消にも貢献しており、それをもっと活性化させれば設問15にもつながる。新しい箱物をつくることより、既存のものをもっと活用してほしい。 ・交通機関が利用しづらい…というか利用できない。 ・菖蒲地区も小林付近には店がまるでなく、非常に不便。このままでは世帯数が減る一方だと思う。
81	40代女性	栗橋地区	栗橋には大型ショッピングモールがない。駅前に魅力がない。商業施設の誘致が困難なら、せめてきれいな花々や木が植えられ、道を広くしてほしい。住みづらい。
82	40代女性	栗橋地区	久喜市にはショッピングモール、スーパー以外は人があまり少なくて…というか、シャッターが閉まっているお店ばかりで、買物をしようという気が全く起きない。市で、そのシャッターが閉まっているお店などを、若い人々に安い値段でポップアップストアなどに使用させてはいかがでしょうか(お店の人には使用料を出すなどして)。と言いつつ、いつも諦めムードですが、死んでいる市をどうにかしてほしいです。年寄り達がコンビニやドラッグストアで買物するだけの市にはしてほしいです。週1回、ファーマーズマーケットなど開催はどうでしょうか？
83	40代女性	栗橋地区	南栗橋在住だが、終点駅で駅舎も立派な割に駅前がほとんど開発されていない。久喜市は人口も多いし、土地もあるのに倉庫があるばかり。コストコなど大型店を誘致できれば、かなりの需要が見込まれると思われる。コストコは三郷・入間にあるので、店舗展開するには場所的には良いと思う。
84	40代女性	栗橋地区	<ul style="list-style-type: none"> ・南栗橋駅近くにコンビニがほしい。 ・南栗橋駅近くに無料自転車置き場がほしい。今は遠すぎる。 ・スーパーの終了時間が早いので、もう少し延ばしてほしい。 ・近くにマックがほしい！

No	年代	居住地区	自由意見
			・南栗橋にも飲食店(サイゼリヤ、蔵など)がほしい。
85	40代女性	栗橋地区	若い人は、あまり商店街を利用する機会が少ないため、大型店や他地域を利用することのほうが多い気がします！「道の駅」を作れば、地元の特産物などを販売できるし、活性化して盛り上がると思います。よろしく願います。
86	40代女性	鷲宮地区	・商店街をもっと活性化できたらいい。 ・鷲宮駅にスーパーがあったらいい。
87	40代女性	鷲宮地区	・良いものを安く売ればOKでは？あとは月に1度くらいのペースで、どこでどんなものを売っているのかをチラシか何かで知らせる。 ・大型店は外国人客が多く、生まれた時から久喜市民の私は、外国人が少ない所に行きます。
88	40代女性	鷲宮地区	小・中学校の指定のノート、鉛筆などが買える店舗が、一番近い所でアリオです。車で10分弱かかります。仕事から帰って来てから子どもと買いに行くのは大変です。子どもが学校から帰って来て、1人で買いに行ける距離で買えると親も助かりますし、子どもも自分の学校の準備は自分でできるようになるので、子どものためにもなると思います。
89	40代女性	鷲宮地区	・もっとバスを利用したいが、バスがない。 ・子供達が遊べる公園などがほしい。
90	40代女性	鷲宮地区	チェーンのお店や大型店舗が近隣にあり、現在はとても便利に感じる。贅沢を言うならば、全国どこへ行っても似たような街並みで、久喜らしい個性があまり感じられないのが残念。大型店・個人店問わず、ライバルではなく、協力しあって地元の商品をアピールしていくとか、設問15にある、地元産マーク、地元産コーナーを作るとかいいですね。また、久喜地区のみならず、加須市や羽生・群馬・栃木の周辺地区などと協力して、お互いの商品をアピールしたり一緒にコーナーを作ったりするのはどうでしょう。
91	40代女性	鷲宮地区	個人商店が増えているので、利便性のよい場所を使用できる支援ができれば、店も進出しやすくなる気がします。トライアル的に期間を決めて、駅の近くを利用することができるようになるなど。
92	40代女性	鷲宮地区	・道の駅を鷲宮にも作ったりしたら、もっと活気づくと思います。 ・商店街に空店が目立つので、コンビニのようなスーパーを作ってほしいと母が言っていました。
93	40代女性	鷲宮地区	レンタルビデオショップのツタヤが、東鷲宮から大和根に移転してしまい、とても不便で、鷲宮にツタヤやゲオがあるといいなあと思います。カラオケ店もなく、大型店舗もなく、鷲宮にアリオはありますが、映画館もないので、結局遠出をしないと用は足らないので不便だと思います。車がないと、とても暮らしにくいと長年思います。
94	40代女性	鷲宮地区	鷲宮駅前のシャッター街を、もっと活気溢れる商店街にしてほしい。駅前だということに、昼間でも閑散としていて寂しい。駅前にいろいろなお店を誘致し、魅力溢れる街にしてほしいです。
95	40代女性	鷲宮地区	道が混むので、もう少し整備したほうが良いと思います。

No	年代	居住地区	自由意見
96	40代女性	鷲宮地区	高齢者は、車を運転できなくなると、なかなか遠出することもできなくなるので、交通手段を充実させることが第一だと思います。そのうえで、使うにあたって利用料無料など、フリーパスにすると良いと思う。
97	50代男性	久喜地区	久喜地区には大型ショッピングモールや観光の目玉が少ない(むしろ無い)。菖蒲地区にはモラージュ、工業団地の公園、鷲宮地区には神社やコミュニティが充実している。栗橋地区は病院(済生会)や自然とふれ合う場が充実し、文化的役割を担っている(ラウンドワン)。久喜地区には映画館すらないのが実情だ。久喜地区のインフラを備える抜本的改革を望む。
98	50代男性	久喜地区	やる気のある商店主の応援を市に求める。どんなことをやりたい人が多いのかよく聞く。可能なことから始め、まずやってみる。久喜駅東口の駅前のイベント(軽トラ市)等。
99	50代男性	久喜地区	久喜駅東口は開発の余地があると思うので、活性化のための施策を進めてみてはどうか。
100	50代男性	久喜地区	久喜駅は、JR及び東武線が利用できる東部地区有数の立地であるにもかかわらず、何故か駅の西口・東口共に、飲食店や人気のあるファッションセンター等がありません。車を持たない自分としては、とても不便です。西口駅前のクッキープラザもいまいちパツとしません。駅の両サイドにセブンイレブンはありますが、定食が安価で食べられる吉野家やすき屋等は徒歩で行けないし、ファッションセンターしまむらも、ちょっと遠い感じです。昔からある商店街もいまいち入る気になれません。ちなみに春日部駅は、東武線・野田線のみでありながら、両駅の再開発が進み、久喜に比べずいぶん変化した都市といえます。30年位前は久喜市と50歩100歩だと感じていたのですが…。
101	50代男性	久喜地区	久喜市も高齢化が加速している中で、施設不足や様々な課題が見受けられる。周辺市町村と比較すると、まだ住みやすく感じるが、昔から住んでいる者としては、歴史・国土が弱くなり、地元商店をはじめ弱体化しているのが淋しく思う。明確な方向性を見出し、久喜市ならではの住みやすさ、豊かさを追求してもらいたい。
102	50代男性	久喜地区	駅周辺への大型ショッピング施設の建設と、その中での地元商店の入居による多施策が必要。(駅ビルの建設必要)
103	50代男性	久喜地区	・渋滞が嫌なので、市内の店舗には出掛けず、食料品でさえネットスーパーやネット通販サイトを利用してしまおう。
104	50代男性	久喜地区	交通網を整備し、ショッピングモール周辺の渋滞を解消することが重要だと思う。行く気がなくなる。久喜駅東口突き当りを開発してほしい。
105	50代男性	久喜地区	せっかく交通の便は良いのに、全く活かされていない。JR 湘南新宿ライン、東武鉄道と乗入れているのに、同じ都心からの距離との地域差が分かる気がする。又、駅内だけでは、いつ行ってもある程度混んでいるのに、駅以外に出ると活気がない(乗換えのみとなっている)。やはり、それには魅力的な場・機関・施設などが必要だと思う。理科大もなくなって、さらに若い人がいないので、今後、更に若人が集まるような誘致をお願いしたい。

No	年代	居住地区	自由意見
106	50代男性	菖蒲地区	菖蒲のあやめ橋から、リそな銀行付近は活気がなく、1~2人ぐらいしか人が歩いていない。昔みたいに活気溢れる街にするには、いったいどんな手段が必要だと思いますか。時代の流れで、何か商店街を一括してまとめて、大型店を大胆に大きく作るとか、何らかの手を打たなければならないと思います。7月の天王山の夏祭りの日だけ、菖蒲の商店街は活気で人が道に溢れ、夏祭りが終われば、後の祭りで活気の無い街になっています。このままでは街が衰退してしまいます。菖蒲の商人は、真面目すぎるのは良いことだと思いますが、菖蒲のあやめ祭りとかラベンダー祭りなどで商売をどんどんしたほうが良いと思います。菖蒲の商人はモラージュ菖蒲の駐車場で商売が出来るのか……邪魔にならない所で商売すればいいのに。なんか菖蒲の商人は、閉鎖的な所もあるのかと思います。
107	50代男性	栗橋地区	南栗橋地区の交通の利便性(高齢者が多いため)と公共の催し、及び大型店舗等の誘致による活性化対策を望む。
108	50代男性	栗橋地区	大型店やフランチャイズ店にはない、個性的な店を多く出店してもらえたら、活性化につながるのでは？
109	50代男性	栗橋地区	南栗橋駅周辺の活性化。飲食店がない、コンビニすらない。ケータリング(出前)してくれる店が全然ない。
110	50代男性	栗橋地区	栗橋駅東地区にスーパーがなくて不便な感じがします。商店街は老朽化しており、栗橋地区に少し活性化の政策を考えていただけませんか。
111	50代男性	栗橋地区	年齢と共に消費は減少すると思われるので、若い世代に好まれる街づくりが活性化につながると思います。若い世代がそばにいてくれると、高い年齢層も嬉しく思うのではないのでしょうか。東京まで通勤している人が多いと思うので、東京からみて、久喜の好まれる特色を創造していったらいいと思います。
112	50代男性	鷲宮地区	地元の活性化、人口増加させるための工夫。
113	50代男性	鷲宮地区	モラージュの裏にコストコが出来るという噂を聞き、とても喜んでいましたが、出来ない聞き、とても残念に思います。周囲の人達も同じ意見のようです。また誘致できることを願っています。
114	50代女性	久喜地区	抽選会やイベント等があると、もっと人が集まると思う。
115	50代女性	久喜地区	地産地消大賛成。新鮮で安心・安価！直売所を増やしてほしい。
116	50代女性	久喜地区	駅と直結する商業施設がもっと増えると便利だと思います。
117	50代女性	久喜地区	<ul style="list-style-type: none"> ・市内循環バス(路線バスも含む)の路線拡大と増便。(高齢者の買物が困難である) ・大型ショッピングモールの誘致。(現在は衣類・靴など市内で買える所がない) ・自転車を使いたいが、道路が狭くて乗るのが怖い状態である。(食料品の買物ぐらいは自転車を使いたい) ・駅前ロータリーの拡大、駐車場の確保。(駅近くの店に行きにくい)
118	50代女性	久喜地区	食料品は生協などで不自由はないが、衣服、ファッションのお店が久喜では少なく、おしゃれなお店を増やしてほしい。

No	年代	居住地区	自由意見
119	50代女性	久喜地区	大型スーパー、ドラッグストアが徒歩圏にあり便利であるが、店による特色が少なく、近隣の別スーパー、ドラッグストアへ行っても変わり映えがない。我家は車がなく、健康増進も含め、徒歩で片道30分くらい歩いて買物に行くことも多くある。昔からある商店街、専門店の活気が無いのが残念である。駅(東口側)はなかなか飲食店が増えず、新店舗が開店しても長続きせず残念である。ほとんどの住民が車で、大型スーパー、ショッピングモールで全て済まされる環境にあり、駅前(西口も)は益々人が集まっていないように思う。個人店舗に補助金を出したり、特色をアピールすることが大事ではないだろうか。または、大型店やショッピングモール内に地元の店舗や料理・食材を取り入れたメニューや店を設けるなど、どこにもある大型ショッピングモール+久喜らしさを上手くコラボレーションできればと思う。また、子育て世代向けばかりでなく、高齢者も楽しめる店舗やスペースを増やし、幅広い世代が楽しめるエリア・店舗を集約して、年齢層ごとに楽しめる飲食店があっても面白いのでは？今は世代ごとに生活する世帯が増えている。どっちつかず(子供も高齢者も一緒)の店が、逆に客を遠ざけてしまうのでは？
120	50代女性	久喜地区	・久喜駅西口の商店街通りの充実。空き店舗を魅力ある店作りに。 ・カフェなどの充実(1人でも気軽に入れる店作り)
121	50代女性	久喜地区	久喜駅東武線、新幹線高架下の空店舗が気になります。スポット的な店、あるいはイベント等に活用できないのでしょうか？
122	50代女性	久喜地区	若い人は、買物に不便を感じていないと思います。これから私達が歳を取り、車の運転ができなくなったら、買物をするををしなくなると思います。ネットを利用するようになり、外出もしなくなるのでは。もう少しタクシーなど使いやすくなれば……。
123	50代女性	久喜地区	日頃からなるべく地元の野菜を買うようにしています。イトーヨーカドー、JA直売所で買いますが、午後には商品がなくなります。夕方でも新鮮な野菜があれば嬉しいです。又、購入できる所が少ないので、いろんな所で手に入るようにできたら、とても便利になると思います。
124	50代女性	久喜地区	・地元産品のアピールをもっとやる。 ・地元産品の品目も増やす。 ・駅近くにオシャレな店を増やす。
125	50代女性	久喜地区	東口大通りに、商店街用に駐車スペース(10時~17時)があるが、駅の周辺は、いつも長時間駐車していて利用できないし、歩行者や自転車の通行にとっても危険だと思えます。
126	50代女性	久喜地区	・東京都北区十条商店街、板橋区大山ハッピーロード、台東区谷中銀座のようなものがあるといいですね。お惣菜などを扱うお店があると主婦はありがたい。 ・魅力的な道の駅がほしい。 ・東口に本屋さんがほしい。 ・東口駅から東へ向かう道の歩道が平らでなく不便。 ・あさひバス……今まで100円だった料金が180円に上がり過ぎ！

No	年代	居住地区	自由意見
			<p>・昔(10~12年前)、毎日興行アリーナ隣のグラウンドで産業祭のようなものをやっていたよね。またやってほしいです。</p> <p>・青毛堀、桜の季節、屋台を出しては？権現堂のように。道路を通行止めにして。(駐車場問題もあると思い、大変だと思いますが)</p>
127	50代女性	久喜地区	駅周辺の商店街の活気を取り戻してほしいと思います。
128	50代女性	久喜地区	新鮮な野菜や果物が、他より少しでも安く買えたら有難いです。添加物がない商品、安心な卵。卵やトマトなど、久喜産の食材を常時購入できる場所があったら良い。
129	50代女性	菖蒲地区	循環バスを充実させてほしい。モラージュを経由するもの。
130	50代女性	栗橋地区	スーパーで、地元産の物を置いているコーナーがあるが、ただ並べているという感がある。もう少し目立つように表示してほしい。
131	50代女性	栗橋地区	スーパーなどには地元産品の直売コーナーが既にあり、よく利用させていただいている。より低価格だとありがたい。農薬など使用しているのか、体には安心安全なのか、その表記をしっかりと、万一何かあった場合、責任はどこに置かれるのか……。今後、地産地消を勧めるのであれば、役所もしっかりしてほしい。食の安全を確保！ならば、消費者も増えると思う。目に見えない遠くの産地より、近くで私達の目でも確かめられるものを買いたいと私は思う。
132	50代女性	栗橋地区	今は車の運転ができますが、高齢になった時に路線バスがない地域なので、どうすればいいのか？ デマンド交通では不安。(乗りたい時に乗れるわけではない)
133	50代女性	栗橋地区	自転車でちょっと買物…というお店が少なくなり、つい大型店でまとめ買いをしています。栗橋駅近くの商店街を活性化してほしいです。
134	50代女性	栗橋地区	消費者が求める店は、新鮮であること、美味しいこと、低価格であること、品揃えが豊富であること、交通や駐車場など便利な所である。その他、新しい発見があり、最新の情報が得られれば、より魅力的である。
135	50代女性	栗橋地区	栗橋駅東口のシャッター商店街の再開発やお店の誘致等を進めて、もっと便利のよい街にしてほしいと思います。東口はデイリーストアも閉店し、閉まっている店が多く、道路も狭く、無料の駐輪場も少ないので、よろしくお願いします。
136	50代女性	栗橋地区	同じ店が多すぎだと思います。例えば、セキ薬品。私の家から5分くらいの所に何件あるか……。ユニクロも、もういりません。ランチなどできる、ちょっとしたお店が少なすぎだと思います。ベルパロツソなど今でも並んでいて、少し遅い時間に行ったら入れないことも多いです。久喜市ではベルパロツソぐらいしかなく、他の市に行っているの、そういうお店を考えてほしいです。
137	50代女性	栗橋地区	<p>・小学生が歩いて買物に行ける文具店があると、共働き家庭の親は助かります。急に帰宅後、「ノートが明日必要」などと言われます。</p> <p>・お年寄りが歩いて買物に行けるお店が必要と思い、地元店、近所のお店を大切にしようとしてきました。交通事故も減るかもしれません。近所の食料品(八百屋さん)は大事にしているつもりです。又、価格も安いです。本</p>

No	年代	居住地区	自由意見
			<p>屋さんも大事にしているつもりです。お店の方も大事にさせていただきます。希望の商品が無く、「これで我慢しなさい」とか「どうせお客は来ない」と口にされ、諦めているお店からは足は遠のいてしまいます。聞くとところによると、商用地としての立地条件は適しているのに、地主さんが売って下さらないので、商売の継続が難しい実態があるそうです。</p> <p>・時間差商店街・お店……仕事で帰りが遅い日が続くと、買物ができなくなってしまいます。又、核家族世帯や、ご夫婦お二人の世帯で、奥様が妊娠つわりや出産などで買物が難しい時、ご主人に買って来てもらうことが困難です。</p> <p>・高知県高知市では、日曜市が毎週開かれています。地元の方のための生活市で、野菜・果物・魚介類が安価で売られています。刃物・竹・ざる・手拭いなど、また、手作りパン(パン屋さん)・クッキーなどもあります。観光客のために、珍しいもの(「冷やし麺」と称した飲み物や「アイスクリン」と称するアイスクリーム類似品)も売られています。地元の方が自転車や徒歩で、高齢者の客も多いです。ご高齢の方にとって、外に出て人と話したり、歩いて運動につながったりすることは、健康長生きするために大変意義のある市になっています。歩いて買物に行けるお店はとても重要と考えます。共働き世帯が増え、仕事から帰るまでに、家庭で食事を引退シニアが作れる環境があるといいと思います。ポケ防止にもなります。</p> <p>・高知県も栗橋と似た所があるように思います。栗橋の中だけでは人口が少なく(買物人口が少なく)外貨の獲得も大切です。観光案内所・観光物産店を駅近くに設置し、栗橋・久喜・幸手・埼玉他の農産物(大根根苺や北川辺のお米・白岡の梨)や工芸品も少しばかり置いて、権現堂もありますが、静御前・ほうろく地蔵・会津見送り稲荷などの紹介パネルを設置するなど、いかがでしょうか。駅設置の「ハクレン」は水路の開発で、もはや見られなくなり、撤去したほうが観光の人々の期待を裏切らないように思いますが、いかがでしょうか。</p> <p>・栗橋は箱根に並ぶ重要な関所がありましたが、残されていないのは、度重なる洪水があったからと聞いております。</p> <p>・イオンの成長は、環境を大切にしようとする人々の思いに応じて、森林保護活動をしたり、レジ袋削減を早期から実施して、優良企業と評価されたことにあると思われます。有機・無農薬、又、低農薬野菜は一部で人気です。栗橋でまだ探せていません。高齢者の健康志向や、環境教育が学校でも行われていることから、身近に良質の食料品が売られていると良いと思います。が、現在、そのようなものは少し高価ですので、スーパーでも仕入れが継続しないようです。</p> <p>・高品質のものを見極める学力が消費者に必要です。</p>
138	50代女性	鷺宮地区	<p>・駅近くに無料駐車場を作ってほしい。近くの商店で買物をしたり飲食をしたりした人にサービス券を発行してほしい。そのサービス券は商店に安く買ってもらう。</p> <p>・居酒屋はあるが食事をする所がない。町の洋食屋のような個人店ができないか？</p>

No	年代	居住地区	自由意見
139	50代女性	鷺宮地区	鷺宮地区は、商店街、個人商店、衰退状態です。利用できません。
140	50代女性	鷺宮地区	市内各地域、旧市内・菖蒲・栗橋・鷺宮間の人の流れが、貧困なために分断されている。地域商工業活動の活性化に、人の動き、活発な出入りの流れは必要不可欠。ところがデマンドバスは片道 300 円もする。しかも久喜⇄鷺宮・久喜⇄栗橋の移動が鉄道以外不可能。これでは住人の流出が起きても仕方ない。
141	50代女性	鷺宮地区	東鷺宮駅西口に、食品スーパーがあればいいと思います。
142	50代女性	鷺宮地区	既存商店街を活性化させるために、歩道を整備し、安全に子供や高齢者が集まれる地域にしてほしいです。
143	50代女性	鷺宮地区	高齢者の多い地区に移動販売をしてほしい。
144	50代女性	鷺宮地区	・交通の便をよくして下さい。バス路線をまんべんなく通して下さい。住宅地内にお店がないので、独居のお年寄りには買物難民状態です。移動販売など検討が必要だと思います。 ・地産地消を進めるなら、休耕地の活用を考えてはどうでしょうか？ そばの栽培、小麦の栽培、国産のものをほしい方はたくさんいます。草が伸び放題の土地を見るたびに思います。地産のそば粉・小麦粉を使った商品を開発すれば、ネットの時代、いくらでも可能性大です。ただし、平凡、美味でないものは不可。
145	50代女性	鷺宮地区	・近年、街路樹の立枯れなどが目立ちますが、枯れたままでは暴風雨時に不安です。安全に歩ける道があつてこそ、安心して商店街を訪れられると思います。 ・地産地消を学校給食にも取り入れ、地産地消を子供達に教えることは良いと思います。給食だよりに「地産地消の日」などあると良いと思います。
146	50代女性	鷺宮地区	【設問 15】地産地消を進めるために、新たに大規模な直売所を設置するより、既存の空住宅等を利用して、身近な所に地元産の果物・野菜や、菓子・米・野菜や花の苗等を扱う、小規模～中規模程度のものがあると良い。高齢化が進んでいく中、歩いてや自転車、あるいは車でも身近な所で手軽に買物できる場所が必要だと思う。更に高齢者で独り住まいの方が、その場(直売所)で座って飲食できるスペースがあることも大事だと思う。高齢者に限らず、若い子育て世帯の方も、座って飲食するスペースがあることで、地域の方とも交流できる場になるのではないかと思う。周辺の整備、駐車・駐輪スペース、歩道の整備も必要かと思う。「道の駅」規模のものだと、地元久喜市の他、他県からの来訪にも備えるとしたら、中規模から大規模のもので、市内に観光の目玉が大してない状況でも、通過地点の魅力ある物産で人を呼び込める商品の開発、コンテスト等公募するのも良いかと思う。
147	50代女性	鷺宮地区	・JA 菖蒲には、安いキュウリ等があります。ならば、JA 久喜「きり館」に出荷したら、すごく売れると思います。南彩グループなので。 ・本屋さん(ツタヤ)が鷺宮地区から1つなくなりました。大型店に吸収されているのかもしれませんが。誰もがインターネットで便利に…とは思えません。昔ながらの店にうちはたまに行つて(お肉屋さんですが。刺身屋さん

No	年代	居住地区	自由意見
			も)店主さん達との交流も楽しんでいきます。商店街はなくなってほしくありません！ 東鷲宮～バスが必要。
148	60代男性	久喜地区	緑風館の周りに大型直売所設置を希望します。交通の便も良く、駐車場も広く取り、親子で一日中遊べるようにしたら、地産地消につながり、活気が溢れると思います。
149	60代男性	久喜地区	デマンド交通の発達を望む。郊外に住んでいます。
150	60代男性	久喜地区	市内に「道の駅」を設置すれば街が活気付くと思います。
151	60代男性	久喜地区	駅東口大通り道路延長・早期整備に期待しています。
152	60代男性	久喜地区	久喜に住んで30年になりますが、どうしてもヨーカドーのような大型店に行くと、ほとんど用事が済ませることができるため、個人商店に足を運ぶ機会がありません。駅前商店街も道路が狭いため、買物に向かないと思います(道路拡張と歩道の整備)。個人商店の活性のため、いろいろな若い後継者がイベント等を開催していますが、お店自体がついて行っていない感じがします。駅前商店街の整備を行い、個人商店が入るモール街を作ると活性化するとします。お金がかかることなので、難しいとは思いますが。
153	60代男性	久喜地区	・今後の高齢化社会に向け、高齢者が外出しようとする意欲が持てる、又、一度に複数の用が足せるような場所。更に、安心して孫と一緒に時間が過ごせる、そんな場所があるといい。 ・商店・市役所の出張所・医療機関・保育施設が一体化した、あるいは隣接している場所を市内に2～3ヶ所整備するのがいい。
154	60代男性	久喜地区	交通網の整備が急務と考えます。人を他からも呼び寄せ、街をより活性化していただきたい。
155	60代男性	久喜地区	市内での買物等は、十分な商店や施設があるので楽しい過ごし方ができている。生活する上で不満な点はない。東停車場線が開通した折には、商店街になれるよう、行政側からの後押しを十分にしてほしい。特に駅東側方面には買物するべき施設がほとんどなく、淋しい限りである。
156	60代男性	久喜地区	個人の飲食店が少ない。
157	60代男性	久喜地区	もっと地元商店の開発を進めるべきですね。商品開発、すべての開発をお願いします。観光・花・梨などでもっと推し進めて。
158	60代男性	久喜地区	駅前の活性化(再開発・個人車両の駐車スペースの充実)が必要。西口駅前通り(旧)を何とかして、名店街とか、惣菜等、食品商店街化すると便利だと思う。西口・東口共に個人商店を活性化してほしいが、車社会なのに何しろ駐車場が無さすぎる。東口に商店を入れるテナントビルは建てられないかどうか、検討してほしい。
159	60代男性	久喜地区	・地元商店の駐車場の設置を一番に考え、客を呼ぶことが大切。 ・個人商店の一品を大事に、情報を伝える。
160	60代男性	久喜地区	日常の魅力ある商品を探すことは非常に困難な状況にあると思う。ショッピングセンターやモールへ行っても、どの拠点でも同じブランドショップの展開。その中で最近注目されているのが「道の駅」である。そこには商品

No	年代	居住地区	自由意見
			& イベントなどの劇的な仕掛けがあると思う。消費者は「安心・安全な商品」「安心できる商品情報」が提供されることを望んでいる。そのためには、単に「地産地消」を促進するための「直売所」ではなく、消費者が納得する「仕掛け」のある「直売所」が必要であると思う。それは生産者の情報・低価格というものではなく、消費者が感動を覚える情報（商品・知識の提供）が重要になると思う。他には無い、差別化できる拠点作りが望まれる。
161	60代男性	菖蒲地区	安心安全な食品の提供を進めることが重要。菖蒲の歴史にある「河岸」をテーマにした地域興しによる活性化を期待します。
162	60代男性	菖蒲地区	農業の後継者不足解消のため、大規模経営の農場を育成し、農産物の安全供給をしていく政策を望む。
163	60代男性	菖蒲地区	・菖蒲グリーンセンターの拡充 ・温泉施設の併設 ・県道の調整地域の緩和（店舗増含む）
164	60代男性	菖蒲地区	地元久喜産と国産で、安いほうを買う。地元産とわかるのは、野菜など農産物しか知らない。他にあったら教えて下さい。ショッピングモールや大型店は、歩くのが多くて行かない。駐車場から近い店がいい。
165	60代男性	栗橋地区	現在、地元の大型店（例えばイトーヨーカドー等）にも、以前と比較して行かなくなっている。その分、ネットでの買物が増えている。総合的な大型店の品揃えだったら、ネットのほうがはるかに充実しているし、届くのも早い。今後、大型店の誘致は必要ないと思うが、さりとて小型店も魅力がない。しかし特色を出せば客を引き付けることができるのではないかと。例えば、幸手の永文商店は、獺祭の専門商店だが、他の酒はあまり扱っていないという特色がある。獺祭に限って、もっと広域に宣伝すればお客様を呼べるのではないかと。つい最近まで獺祭の専門商店が近くにあるのを知らなかった。又、幸手の坂斉も、卵が抜群に美味い。近頃はイチゴのケーキが美味しかった。何か1つ評判を呼び、それを宣伝すればお客を呼べると思う。それを手助けするには商工会、市の力が必要だと考えます。
166	60代男性	栗橋地区	・車を運転できなくなった時、自宅近くまで循環バスを。市内のモール・駅・商店街へ行けるインフラ整備をしてくれたら助かる。 ・空気対策を含め、市の一極集中化よりも、市民が日常の消費生活に支障をきたさないよう、市の隅々まで行政の行き届いた、市全体の活性化に心がけてほしい。
167	60代男性	栗橋地区	・外灯が少ない。夜が暗い。 ・南栗橋駅前が淋しい。店舗・住宅マンション建設を進めてほしい。 ・栗橋駅東口の整備が必要。4号線への直線道路の建設。スーパー堤防の早期完了、整備の早期完了。
168	60代男性	栗橋地区	高齢者のみの世帯になった場合、日用品等の購入における交通手段が問題になると思います。インターネットによる購入は、宅配に頼るようになると思います。地産地消を推進する場合、複合品の宅配、商品の提供手段、認知方法等の工夫が必要と思われます。

No	年代	居住地区	自由意見
169	60代男性	鷲宮地区	幸手のエムズタウン的な建物を低くして、駐車場をたくさん確保した敷地に、地元産を販売するための施設をつくる。例えば理科大跡地利用など。あるいは道の駅的な施設。ただし、広大な敷地が必要となるため、検討を要する。
170	60代男性	鷲宮地区	<ul style="list-style-type: none"> ・今は車で買物に行けますが、いずれ免許を返納しなければなりません。身近で地産地消できるよう、交通の便を整備して頂きたい。 ・スーパーで地元産の野菜を買うようにしていますが、数も種類もごく僅か。久喜市で何が生産され、どこで買えるのかもわかりません。 ・久喜市をもっと魅力的な町にして、他県からもどんどん人が集まるような美味しい店や、美しく楽しい公園があつたらいいなと思います。 ・街路樹の下の雑草がひどい所があり、がっかりです。
171	60代男性	鷲宮地区	地元商店街の駐車場を増やす。
172	60代男性	鷲宮地区	よく道の駅に行って地元の特産物を買うことがある。そこでイベントや食べ物などPRすれば良いのではないかな。
173	60代男性	鷲宮地区	地域により、日常生活で不便な所だなと感じることがある。
174	60代女性	久喜地区	道路整備と大型店誘致。ただし同じような店ではなく、外資系(コストコ)等の出店を希望します。
175	60代女性	久喜地区	東口商店街や駅の周りなどあまりお店がなく、活性化されるとよい。
176	60代女性	久喜地区	久喜郵便局隣の農協にもっと力を入れて、地元産の商品に力を入れてほしい。仕事帰りに入っても品があるようにできないのか？
177	60代女性	久喜地区	<ul style="list-style-type: none"> ・市内に道の駅を作り、地産地消を進める。 ・お弁当の宅配を。(高齢化社会到来のため)
178	60代女性	久喜地区	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティーバスの便数を増やしてほしい。 ・農協の直売所がもっとあると良い。
179	60代女性	久喜地区	久喜駅東口側は、衣料品(年配のパジャマや肌着下着)など買える商店がありません。以前は青葉団地の中にありましたが……。
180	60代女性	久喜地区	昔は活性化していた所も、店が閉店したらシャッターも閉められたまま。その後、新たな店が開店せず、街並みが閉鎖的になり暗いイメージが続いている。団地内の商店街も閑散として、どの店もシャッターが閉まり、活性化したイメージと程遠い。
181	60代女性	久喜地区	最近、農産物直売所で買物をします。特に野菜の品目を増やして下さい。パクチなど、新しい野菜の出品を希望します。
182	60代女性	久喜地区	公園と道の駅を近くに作ってほしい。
183	60代女性	久喜地区	コンビニや豆腐店など4、5店閉店しています。久喜東地区はバスの便もなく不便です。又、西側の商店街は歩道がないので使用していません。歳を取ってきたので先が不安です。
184	60代女性	久喜地区	最近、十条駅や東十条駅付近の商店街に行くことが多くあるのですが、スーパーとは違い、実に楽しく温かい商店街で、憧れです。

No	年代	居住地区	自由意見
185	60代女性	久喜地区	風景の良い場所に、おいしいオシャレな、食事処と農産物店を一緒にした店。
186	60代女性	久喜地区	・原に住んでいるので、循環バスなどがもっと細かく停まってほしい。相乗りタクシーも考えてほしい。 ・農産物直売所は、地元の野菜など、新鮮でよいものを安くして。
187	60代女性	久喜地区	買いたい商品がある店がないため、イトーヨーカドー、カワチへ行くしかない。
188	60代女性	久喜地区	市内に、これといって誇れるものがないのが残念です。この地に住み始めて最初に歩道の整備が行き届いてなく、市内の路線バスの不便さを感じました。今もこれらは発展していないと思います。
189	60代女性	久喜地区	個々の専門店が少なくなってきたので、大型店等に行く回数が多くなってきています。その中でも地元産品があれば買うようにしています。
190	60代女性	菖蒲地区	菖蒲は、久喜桶川線から一步入ると、バス停もなく、駅までの送り迎えの生活になっております。少しバスが通るようであれば良いと思うのですが。家の車の台数も増え、いろいろな面で大変です。
191	60代女性	菖蒲地区	これからより高齢になった時、市内で買物をするのであれば、市内循環バスなどの充実が求められると思う。又、公共施設に併設した小売店舗の集合体があれば、利用者も増えるかも知れない。又、高齢化が進む中、高齢者向け、高齢者の需要に応える店舗が少ないように思う。
192	60代女性	菖蒲地区	久喜市には食の特産品が多数あります。この美味しい採りたて特産品(梨・いちご・トマト・きゅうり・ぶどう・野菜等)を食べるたびに幸せを感じます。しかし、生産者の高齢化や担い手不足により、特産品が将来消えてしまうのではないかと危惧しています。環境問題も含め、市の特産品が継続して生産されていくよう、農業政策を。
193	60代女性	菖蒲地区	小林には食料品店が1件もないので、コンビニが1件ぐらいあってもいいのではないかなと思います。
194	60代女性	菖蒲地区	大型店ができて、自営業のお客が減りました。
195	60代女性	菖蒲地区	やはりおもてなしの精神を常に心がけて対応することが基本ですので、社員教育を徹底して頂きたいと思います。千客万来のために。
196	60代女性	菖蒲地区	高齢者が多いので、高齢者向きの商品が充実した、行きやすい店がほしい。若い人の店ばかりある。男物が少ない店が多い。
197	60代女性	菖蒲地区	まだ車の運転ができますが、将来運転ができなくなった時、久喜駅に行くのにコミュニティーバスがあると助かります。三箇地区は、一部の所は走っているけれど、もう少し考えてもらいたいです。
198	60代女性	菖蒲地区	設問15は、1つの回答を出すのに大変でした。あと2つ回答します。1と3です。
199	60代女性	菖蒲地区	交通が不便(車が運転できないため)。バス停が遠いため、循環バスを走らせてほしいです。(下栢間・69歳の主婦より)

No	年代	居住地区	自由意見
200	60代女性	菖蒲地区	いまでもJAの直売所は、季節によっては大変混んでいるようですが、群馬や千葉の魅力ある直売所のように、楽しめる直売所になってほしい。駐車場の充実を図ってほしい。
201	60代女性	菖蒲地区	人気のある大型店(コストコ)が誘致できなかったことが残念です。
202	60代女性	栗橋地区	家庭では、信用できない中国野菜は一切使用しませんが、外食においては、消費者(客)の知らない所で使われているようです。メニュー等に表示義務はないのでしょうか？地産地消は、スーパー内で農家の新鮮な野菜が置いてありますが、手間をかけてキレイ過ぎる程になっています。手間をかけずにコストダウンしてほしいです。
203	60代女性	栗橋地区	地産地消を進めるため、学校給食で取り扱いを増やし、地元で売っている場所がわかる地図を作成して配布するなどはどうでしょう。
204	60代女性	栗橋地区	地元商店が大型店舗の進出により少なくなっています。大型店舗は立地条件により郊外にあるため、自家用車が利用できない時にはとても不便である。従来の商店は幹線道路沿い、あるいは駅近くにあり、年配の方でも徒歩で行かれること、また通勤帰りに気軽に立ち寄れることがベスト。それも個人店舗が復活できればと思う。飲食店も同様。専門店も少ないため、車が利用できない、車でも地理的に遠いなど所要時間がかかる場合、鉄道で他の地域の買物に出かけてしまうことも多い。消費者ばかりでなく、店舗・商工会などの協力をお願いしたいと思う。
205	60代女性	栗橋地区	近所の個人商店は活気がない。シャッターが閉まっている。市内の店で買う物は、食料品や日常の生活用品のみで、少し良い品や、その他の物は東京に行って買っています。品揃えを選択できるようにしてほしい。地産地消の品も、何があるのかアピールしていただければ利用してみたいと思っています。
206	60代女性	栗橋地区	栗橋地区に住んでいますが、あまりにも買物をするのに期待が持てない。道の駅を作ってほしい。直売所が必要。
207	60代女性	栗橋地区	近くにスーパーがあるので、食料品に関しては、便利です。
208	60代女性	栗橋地区	久喜市にも道の駅を作り、農家の人達が作った野菜やその他等を置き、温泉などがあれば、お年寄りや子供達も1日ゆっくり楽しむことができると思います。できればバスなどを利用できれば良いですね。
209	60代女性	鷲宮地区	プラチナチケットや商品券など発行しているようですが、新聞も取っていないし、朝早く並ぶこともできず、とても残念です。低所得者の立場に立っていろいろ考えてほしいです。家も古くなり、リフォームが必要です。商工会で格安にやって頂ければすごく安心です。弱者に気配りのできる市になって頂ければ楽しい老後になります。今は働いているので何とか生きていますが、3年後は不安でいっぱいです。
210	60代女性	鷲宮地区	ゴージャス感のある飲食店を開く方が増えてほしい。
211	60代女性	鷲宮地区	私は生活クラブ生協に加入していますが、農薬とかが気になると思います。安心とわかれば地元産をぜひ応援したいと思います。
212	60代女性	鷲宮地区	商店街の活気を取り戻す政策をする。

No	年代	居住地区	自由意見
213	60代女性	鷺宮地区	地場産の野菜やフルーツなどを使ったおしゃれなレストランやカフェ、又は道の駅などを作ってほしい。中途半端ではなく、県内で最大級の楽しい道の駅ができれば、かなり嬉しいし、人気になると思います。
214	60代女性	鷺宮地区	<ul style="list-style-type: none"> ・安くて新鮮なものが、いつでも買えたらいいと思います。 ・画一的でなく、地元の手作りのお惣菜があれば買ってみたいです。 ・高齢者に嬉しいサービスがあれば、できるだけ活用したいという人がたくさんいると思います。 ・食料品(外食も含めて)が一番充実してほしいです。それ以外は、はっきり言って、必要な時以外は興味がなくなりつつあります。
215	60代 未記入	久喜地区	高齢化社会、縮小社会に向かい、大型店舗の招致はあまりよくない。個人店舗が益々生きにくい社会になる。久喜にはヨーカドーの集客に、便乗・出店が多くなる。時代や変化に対応する順応が益々要求され、アイデアも要求される。個人経営には跡継ぎ問題が深刻。高齢化社会と跡継ぎ問題、ダブルですね。日常生活においては、8%の消費税を浮かす生活をしている。醤油・味噌など調味料は、安価でこの2~3年買ったことはありません。給料が上がらない分、主婦が努力しているため、会社そのものにゆとりがない悪循環に陥る、構造的な今の現実だと思います。
216	70代男性	久喜地区	<ul style="list-style-type: none"> ・商店街で買物をしたいが、道路が狭く駐車場が分からず、駐車場のある店に買物に行ってしまう。駐車場の整備が大切です。 ・以前は魚屋さんが2、3店舗あったのですが、現在はまったくない。やはり新鮮な魚は魚屋さんから食べたい。
217	70代男性	久喜地区	大型店があるのは便利で、安さもあるが、市としてもバランスのとれる商店街づくりをしなくては、年齢も一年ごとに増すので、手数のかかる人が多くなると苦しい街となってしまいます。まずは子供の多い街づくりをしてください。
218	70代男性	久喜地区	高齢化に伴い、買物難民への不安。小売販売車などの工夫により、地域の難民不安を解消してほしい(小売店が無くなっている)。地域が限界集落になる恐れがある(あと約10年後)。行政はスピード感を持って地域社会の存続を考えるべきである。
219	70代男性	久喜地区	商店街で買物をする上で、まず道路と歩道、そして駐車場の整備が早くできれば買いに行きたい。又、車の運転ができない方へのサービスに、自宅まで商品を運搬してもらえれば買いやすいと思う。
220	70代男性	久喜地区	<ul style="list-style-type: none"> ・地産地消を進めるためには、久喜市の特産品等の宣伝をする。特徴や効果等、チラシや祭り、SNSで発信すべき。また、健康志向に関する野菜(コレステロール低下野菜)等の健康志向の観点から、特産品を作り上げるのも良いと思う。 ・住みよい町づくりのためには、いろいろな世代、特に高齢者の方々を有効に使うべき。定年になってからも、その特技や腕前が活用できる機会を市としてもつくり、活性化を図るべき。(例えば、高齢者の仲間で畑を。野菜作りとか)

No	年代	居住地区	自由意見
221	70代男性	久喜地区	車に乗れる時はスーパーで一緒に買物できますが、免許を返した後は近くにあるお店が必要になります。大型スーパーだけに力を入れることは、これからの高齢化社会は大変になる。
222	70代男性	久喜地区	現状の消費生活の中では、大型店舗に客は集中し、小規模の個人商店は収益の安定性は望めない。利便性に欠けるからだと思う(駐車スペースなど)。大型店舗の商法にはついて行けない店が多いのではないかと。
223	70代男性	久喜地区	高齢化に伴い、買物に行けなくなることになれば、宅配業者に依頼する他ない。地元農業者・地元商店の発展を願うなら、1つの例として、各物流品を各地元商店に搬送した商品を、宅配業者か、自ら宅配業と兼業してでも顧客ニーズに応じて配送する、という流通システムを構築していく。顧客ニーズ(消費者)の把握方法も必要。山奥の農村・山村では、一部実施されているのを見れば、やがて都市下にも訪れると考えられる。
224	70代男性	久喜地区	一市町村だけではどうにもなりません、社会保障費・医療費などは消費税に頼らず、生鮮食品など食料品などは、むしろ引き下げないと、私などの高齢者の生活が成り立たなくなります。どんなに商店街などが充実しても、何とか安価なものしか買うことができません。他に回せる余裕がないのが実情です。
225	70代男性	栗橋地区	【設問 15】久喜市内には道の駅が無く(栗橋地区)1ヶ所くらいあっても良いかと思う。
226	70代男性	栗橋地区	買物には徒歩、又は自転車にて間に合わせておりますが、医療機関他は車を多く使います。しかし、本年10月には免許を返納して廃車にする予定にしております。その後のことが心配です。循環バスなどがありますと、今後の生活が快適に過ごせます。デマンドタクシー以外に循環バスができれば大変ありがたいです。
227	70代男性	鷲宮地区	・農地の集約・整備
228	70代男性	鷲宮地区	気軽に寄れて、美味しく食事やお茶ができて、割安な場所がいくつかあれば良いですね。
229	70代男性	鷲宮地区	日常生活は「車」で不便を感じることはありませんが、車の運転ができなくなったら！この先に不安があります。
230	70代男性	鷲宮地区	久喜市と聞けば、有名な固有名詞が全国的に知られる物・事・行事等がほしいと思います。
231	70代男性	鷲宮地区	近い将来、年齢・体力的にも車を用いた買物等ができなくなると思われる。その時には現在のように「まとめ買い」が無理になる(運搬等の問題で)。個人商店、スーパー共に、電話・FAX等による配達サービスが望まれる。自分で商品を確認したい場合のために、デマンド交通の使い勝手を良くすると共に、PRを望む。
232	70代女性	久喜地区	自転車で買物に行く道路が狭かったりデコボコしていたり、車と接触しそうな時があります。安心して通れる道路ならば、もっと買物も楽しくなります。(車の運転ができません) ・商品の全てが税込みならば分かりやすいです。

No	年代	居住地区	自由意見
233	70代女性	久喜地区	商店街(大通り)は活気が無く、どうしても一ヶ所で何でも買えるスーパーマーケットを利用してしまふ。工業団地はあるが、外部の人が多いため、市内の店など利用する人が少ない。もっと若い人達を楽しめる場所、美味しいものを食べられる所、活躍できる場があれば、もっと元気が出る町になるのではと思います。
234	70代女性	久喜地区	久喜駅周辺に住み、日常、徒歩で行動しているため、文化会館、郵便局まで不便しております。市バスがありますが、時間に制限があり、不自由しております。又、市バスでは東郵便局の近くにはバスが通っておりません。細部に渡り、バスの便があると良いと思います。時間によってはバスの運行も12時以降14時過ぎまで空白の時間があります(市役所、総合文化会館)。気軽にバスに乗って行けるような環境になったらと思い、ペンを取らせていただきました。
235	70代女性	久喜地区	自分が住んでいる場所は、近くにスーパーが多くて便利でしたが、最近みな閉店になって、近くで買物するのが不便になってしまいました。若い頃は車で出られましたが、だんだん車に乗れなくなってしまうと、これから先の買物が不安です。
236	70代女性	久喜地区	大型店の中に地元産品もあるが、あまり価格が変わらない。低価格で提供する。
237	70代女性	久喜地区	・道路が悪く(歩道がない)とても不便です。市内、又は大型商業店や病院などへも、足(バス)がないです。高齢なため、自転車で30分は無理です。市内バスの増便をお願いします。(せめて1時間に1本は必要です)
238	70代女性	久喜地区	歩道の整備。側溝に蓋をかけ、使いやすい駐車場、駐輪場。
239	70代女性	久喜地区	身近な所で野菜(特にトマト)などは開店前に並んでいます。パン屋、和菓子屋など、スーパー、コンビニにない魅力があります。自転車、車に乗れなくなったら、近くのコンビニに歩いて行こうと思っています。
240	70代女性	久喜地区	・駅ロータリーに並ぶ客待ちタクシーに乗る時、一区間～短距離の時、無愛想な運転手がありますので、高齢者でも気軽に利用できるよう、短区間専用のタクシーレーンを作って、利用しやすくして下さい。 ・東口の開発が遅れているせいか、淋しい感じがする。
241	70代女性	久喜地区	市内循環バスを1時間に1本くらいに増やしてほしい。
242	70代女性	久喜地区	・ドライブがてら、茨城・栃木・群馬にある道の駅に行くことがあります。野菜をはじめ食料品を求め、食事もできるからです。本市にある農産物直売所よりも品数が豊富です。久喜郵便局本局の隣の農産物直売所も、もう少し品物を増やしていったら魅力的になると思います。多くの人はスーパーの野菜が高価だと思っています。 ・衣類の専門店が何軒かあったら、大宮や都内に出かけて行かずとも求められるのと思っています。ただ閉店するお店をいくつか見てきたので、久喜市の規模では存続するのが難しいのかどうか私にはわからないので、これは希望です。
243	70代女性	久喜地区	交通の便が悪いので、市バスの本数が増えるといいと思います。

No	年代	居住地区	自由意見
244	70代女性	久喜地区	商店街の積極的な宣伝活動、及び情報発信。現時点では、一部イベントのような活動以外、見られない。こちらから行かないと、どのような店舗があるのか、あまりわからない。
245	70代女性	久喜地区	袋詰めの野菜など、たまに悪くなっていることもあります。品物が高い時もあり、私はなるべく商店(地元)で買うようにしております。歳を取ると、お店が近くにあると日常的にとても便利です。
246	70代女性	久喜地区	昔は青葉公園で青空市がありました、あつという間になくなってしまいました。お年寄りが「衣類品のお店がない」と言っていました。夢・希望ですが、四季折々が楽しめて、おいしいものが食べられて、一日遊べて、最後にお買物ができて帰って来て…こんな所があったら楽しいと思います。
247	70代女性	久喜地区	買物、病院等、デマンドタクシーの利用も可能になりつつありますが(実際利用できることになりましたが)まだまだ時間に間に合うようにならない時があります。バスの利用も、地区で利用できない場所等あります。私の所は、江面新田久伊豆神社周辺ですが、まだバス停まで遠いので、もう少し近くであつたらと思います。
248	70代女性	久喜地区	駅を作り変え、大宮のミニ版にして駅ビルを作り、中に保育園、市の出先機関を作り、東京からのお勤め帰りに駅ビルの中でお買物ができるようにしてほしいです。食事等もできて喫茶店もあり。駅前広場を広くして、バスの発着所など整備してほしいです。成田行き、羽田行きのバスも乗れるように。そうすると沿線の人々も久喜の駅を利用すると思います。現在は、菖蒲のバスターミナルに行くより都内経由で行っています。高校生が多いのだから、駅を魅力的にして若い人達が楽しく利用できるようになりますように。
249	70代女性	久喜地区	久喜ヨーカドーに地元の野菜がありますので、よく購入しています。全ての食品を安全第一に考えて購入します。
250	70代女性	菖蒲地区	普段あまり買物をする機会もないので、それほど不便を感じませんが、私は海育ちなので、新鮮な鮮魚専門店が近くにあつたら買物も楽しくなるのではと思っております。こういうお店や企業を誘致するにしても、鉄道があれば人口も増加し、街の活性化にもつながるのではないかと考えています。菖蒲に引っ越して30余年、悲願である、菖蒲にぜひ鉄道を通していただきたいと願っている昨今です。
251	70代女性	菖蒲地区	最近、食品の値段が高くなりました。
252	70代女性	菖蒲地区	商業施設近辺の道路は車優先のため、時々怖い思いをすることがあります。自転車専用道路や歩道の整備を要望します。
253	70代女性	栗橋地区	私は今年で70歳になりました。まだパートとして車で通勤しておりますが、いつまで車に乗れるかわかりません。栗橋に住んでいる私は、まだ車でマミーマートやベイシア、カスミ等に行けますが、自宅の周りには1ヶ所で品物が揃う店がありません。時にお肉等、急に買いたいと思っても、車が自転車で行かなくてはなりません。小さなお店で良いので、何でも揃っているお店があれば良いなと思っています。

No	年代	居住地区	自由意見
254	70代女性	栗橋地区	産地直送は問題点が多い。場所・品揃え・人口・客数…道の駅でも小さい所は客・商品が少ない。大型店の中に入っても、地元で品目がどれだけあるか？ 個人の店舗を充実させるのは、とても難しい時代です。年代別に、どのくらいの人が何を利用しているか、今のニーズに合った買物…セブンミールみたいな所が、利用価値があると思います。住んでいる年数は短いのですが、とても不便。商店が少なすぎる。専門店がない。とりたて野菜を販売している所が何ヶ所かあるが、客数がとても多い。今のニーズに合っているのかも？
255	70代女性	栗橋地区	地元の店がなくなり、生活が不便になっています。高齢者が徒歩や自転車で買物に行けるように、商店街の活性化をお願いします。
256	70代女性	栗橋地区	後期高齢者です。季節が変わるごとに庭先に花など…とも思いますが、駅西口にありました「百円均一」も閉店となり、花の肥料も買えず、夏を彩る朝顔、ゴーヤ等の網を買いに行けなくなり、近くに花屋さんはあるものの、そのような品は置いてなく、花の苗だけで、「カインズホーム」に行かなくては手に入りません。一人暮らしですと手に入れることもできず、潤いのない庭です。街の中の商店がどんどん閉店となり、淋しいです。
257	70代女性	栗橋地区	高齢者です。車の免許証を返納したいのですが、デマンド交通の制度が使いづらく、交通の便が気になります。旧久喜市内のみのデマンドタクシーを、他の合併した町内にも使えるようにして下さい。
258	70代女性	栗橋地区	・高齢になると、食料品が、徒歩で行ける範囲の場所に店があると良いと考えます。又、配達してくれるお店があると助かると思います。 ・集会場で曜日を決めて地元商品が直売すると、皆さんの関心も深まり、如何でしょうか。数年後は必要になると思います。
259	70代女性	栗橋地区	車がない私は77歳。ちょっと買物に…と思っても不便です。
260	70代女性	栗橋地区	・地の利があるということも理由のひとつでしょうが、パリジェンヌは、私が唯一、他県にお土産として誇れる店です。手作りというのが気に入っていて、店の雰囲気も素敵に思います。 ・何でも揃う大型店もいいけど、人とつながれる、楽しく会話できる店も捨てがたい。私のような高齢者は特に感じます。魅力的な商品を並べた所に人は集まると思うのですが…。
261	70代女性	鷲宮地区	近くの商店街は品揃えが悪く、魅力がありません。車が使えなくなると買物が不便になるので、地元の商店が活発になるといいな。
262	70代女性	鷲宮地区	街並みの景観のため、緑の木を散歩コースとしてぜひ増やしてほしい。強い日差しを避けて歩きたいです。
263	70代女性	鷲宮地区	何でも揃う大型店舗があちこちに出来て久しいですが、個人商店がさびれてしまい、これも時代の流れなのかなと思います。広い場所であれば、道の駅などが出来ても良いのかなと思います。
264	70代女性	鷲宮地区	神社のそばに、飲食店のような店がほしい。店を貸してはどうか。
265	70代女性	鷲宮地区	個人店のシャッター通りに淋しさを感じます。ささやかな買物しかできないけど、なるべく個人店で買うようにしていますが、年々歳を取るのので、近く

No	年代	居住地区	自由意見
			に日常暮らせるだけのお店があると便利ですけど、そういう人のだけではやっていけないでしょうね。
266	70代女性	鷺宮地区	鷺宮は日常の買物には不自由しないが、自転車に乗っていると、町内の道幅が狭く怖い。東武駅前に駐輪場を作ってほしい。元の東武ストアの利用を真剣に考えて下さい。壊すか中に入れるように(自転車が多く入れる)。10年、100年先まで、このままですか。
267	70代女性	鷺宮地区	鷺宮(中妻)に住むようになって40年余になります(夫婦共に80歳に近い)、現在のところあまり不便は感じておりません。スーパーも個人病院も銀行もコンビニ等も、自転車で行くことができる範囲内にあります。老人には割と住みやすい所だと思います。少し遠くの病院に行く時は、デマンド交通を大いに利用しています。
268	70代女性	鷺宮地区	今はまだ元気で、車を運転して市内ぐらいいは行けますが、体が大変になって出掛けられなくなった時はどうしようと思う時がある。
269	70代女性	鷺宮地区	高齢者になると何よりも足の確保が大事だと思います。通常は娘に送迎を頼めますが、都合がつかない時は困ります。ネットで買うようになってしまいます。商店街が寂れた感が強く感じられる。
270	70代女性	鷺宮地区	大型店を誘致して、東武鷺宮駅近辺の活性化を希望します。
271	70代女性	鷺宮地区	現在、鷺宮に居住する後期高齢者です。足腰も弱くなり、整形外科や内科へ定期的に通院しております。昨年、バイクの免許証は自主返納いたし、自転車を利用していますが、いつまで乗れるか不安になりつつ、日常生活においては、買物その他で、自転車は雨降りの時は使用しておりません。筋肉を鍛えられるようにウォーキングにも心がけておりますが…。せめて鷺宮地区と久喜市内をつなぐバス路線があれば、行動範囲も広がり、講演会や好きな絵画教室へも道中、安心して通えるのと思う。デマンド交通も利用していますが、途中で繋がらなく途切れてしまいます。不便です。健やかに老いと向き合い、学びの精神を持ち続けたく、交通の手段の整備を希望します。又、鷺宮地区に道の駅の店舗があればいいですね。
272	70代 未記入	久喜地区	久喜駅東口にファミリーレストランがほしいです。お客様が自宅に見えた時、揃って行ける所がほしい。青葉までバスで行くのもよろしくないの、行きでも帰りでも使えるようなお店がほしいと、40年来思っています。駅前の元サリアビルも食べられる所がほしいですね。地元商店街も優先的に元サリアビルで経営したら、賑やかになると思います。もっともっと人の歩いている駅になるといいですね！
273	未記入 女性	菖蒲地区	・菖蒲地区は、車がないと買物に行けなくて不便。デマンドも行きたい所までは行けず、使いづらい。土曜日だけでなく、日曜も行けるお店が増えると助かります。 ・地産地消というのなら、市内の幼・保(私立も含む)、小・中学校の給食になるべく地元の米や野菜を取り入れるようにすれば、地産地消と食育にもなると思います。

No	年代	居住地区	自由意見
			<p>・たくさんの人に来てもらうには、各所の整備やアピール、その周辺の利便性をよくしないとリピートはないと思います。新市長の新しい発想に期待します。</p>